4-250-108-**03**(2)

マイクロハイファイ コンポーネントシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DVD VIDEO
COMPACT disc DIGITAL VIDEO
COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT
Mini Disc
MDLP

XR-MJ3DVD

© 2003 Sony Corporation

目次

MD – 録音

MD – 編集

テープ – 録音

音の調整

コントロールメニューを使う

DVDの設定をする

その他の機能

別売りの機器を使う

その他

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- システムステレオやミニディスクなどを使用中、万一これらの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
  （お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会
  Tel. 03-5353-0336）

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。
窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書の使いかた

- 「接続と準備」（10ページ）をご覧になって接続などの準備を済ませてください。
- 基本的な使いかたは、「ここだけ読んでも使えます」（19ページ）をご覧ください。
- さらに進んだ使いかたについては、41ページ以降をご覧ください。
- この取扱説明書では、主にリモコンによる操作を説明していますが、本体の類似した名前のボタンを使っても同様の操作ができます。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD	DVDで使える機能です。
VIDEO CD	ビデオCDで使える機能です。
CD	音楽用CDで使える機能です。
MP3	MP3*音声で使える機能です。
JPEG	JPEG画像で使える機能です。

* MPEG 1 Audio Layer 3：MPEGによって規定された音声のデジタル圧縮規格のひとつ。

再生できるディスクについて

本機では次のディスクを再生できます。次のディスク以外は再生できません。

再生できるディスクの一覧

ディスクの種類	DVD	**ビデオ**CD	**音楽用**CD	MD	CD-R/CD-RW **（音楽データ・**MP3**ファイル）**	CD-R/CD-RW （JPEG**ファイル）**
ディスクに付いているマーク（ロゴ）	DVD VIDEO	COMPACT disc DIGITAL VIDEO VIDEO CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	Mini Disc MDLP	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable COMPACT disc Recordable COMPACT disc ReWritable	COMPACT disc Recordable COMPACT disc ReWritable
再生できるもの	音声＋映像	音声＋映像	音声	音声	音声	映像
ディスクの大きさ	12cm 8cm	12cm 8cm	12cm 8cm （CDシングル）	6.4cm	12cm	12cm

“ DVD VIDEO ”ロゴは商標です。

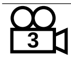
本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスクは再生できません。

再生可能なDVDの地域番号（リージョンコード）について

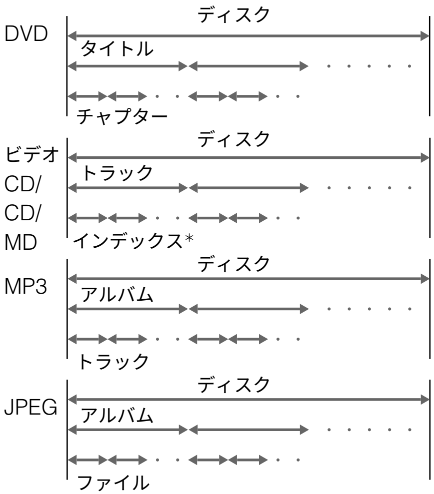
DVDには 2 のように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表わしています。この表示に「2」が含まれていない、または ALL の表示のないDVDは、本機で再生できません。このようなDVDを再生しようとしたときは、「このディスクは地域制限により再生を禁止されています」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。

DVDに表示されているマークの説明

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。それぞれのマークはそのディスクに記録されている内容や、使える機能を表しています。
ただし、それらの機能が使えても、以下のマークが表示されていないDVDもあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比を表します。
	再生可能な地域番号を表します。

ディスクに関する用語の説明



* MDにインデックスはありません。

- **タイトル**
  DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位です。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（あるいは1曲）にあたります。タイトルに順に付けられた番号をタイトル番号といいます。

- **チャプター**
  DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されます。チャプターに順に付けられた番号をチャプター番号といいます。ディスクによってはチャプターが記録されていないものもあります。

- **アルバム**
  MP3音声やJPEG画像を記録しているデータCDの中の単位の1つです。

- **トラック**
  ビデオCDやCD、MP3、MDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）をトラックといいます。トラックに順に付けられた番号をトラック番号といいます。

- **インデックス（CD）／ビデオインデックス（ビデオCD）**
  ビデオCDおよびCDで、再生したい部分を見つけやすいように1つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたものです。ディスクによってはインデックスが記録されていないものもあります。

次のページへ続く

- **シーン**
  PBC対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのことをシーンと言います。シーンごとに順に付けられた番号をシーン番号と言います。

- **ファイル**
  JPEG画像を記録しているデータCDの中の単位の1つです。

PBC*について（ビデオCD）

本機は、PBC対応ビデオCD（バージョン2.0）にも対応しています。
ディスクのタイプによって、次の2種類の再生を楽しめます。

ディスクのタイプ	楽しみかた
PBC対応でないビデオCD（バージョン1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。
PBC対応ビデオCD（バージョン2.0）	上記（PBC対応でない場合）の楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニュー画面（選択画面）を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（PBC再生、51ページ）。また、高精細の静止画も再生できます。

* Playback Control（プレイバック コントロール）の略。

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生することはできません。

- CD-ROM（拡張子「.MP3」、「.JPG」または「.JPEG」が付いたファイルを除く）
- CD-R/CD-RW
  ただし、以下のフォーマットで記録したCD-R/CD-RWは再生できます。
  －音楽用フォーマット
  －ビデオCDフォーマット
  －ISO9660*レベル1／レベル2／Joliet準拠のMP3またはJPEG
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVD-RW（VRモード）
- DVD-ROM
- DVDオーディオ
- スーパーオーディオCD

* 国際標準化機構（ISO）が制定したCD-ROMの論理フォーマット。

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVD
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク
  （本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスク

CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW（ビデオモード）再生時のご注意

CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW（ビデオモード）ドライブで記録されたディスクには、傷や汚れ、また記録状態が原因で再生できないものがあります。すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。
詳しくは、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
パケットライト方式で作成されたディスクは再生できません。

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

DTS*音声再生時のご注意

DVDやCDのDTS Digital Surroundの再生を5.1チャンネルでお楽しみいただくには、本機のデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surroundデコーダーを接続する必要があります。

* Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS 2.0 + Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

DVD、ビデオCD再生操作について

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

著作権について

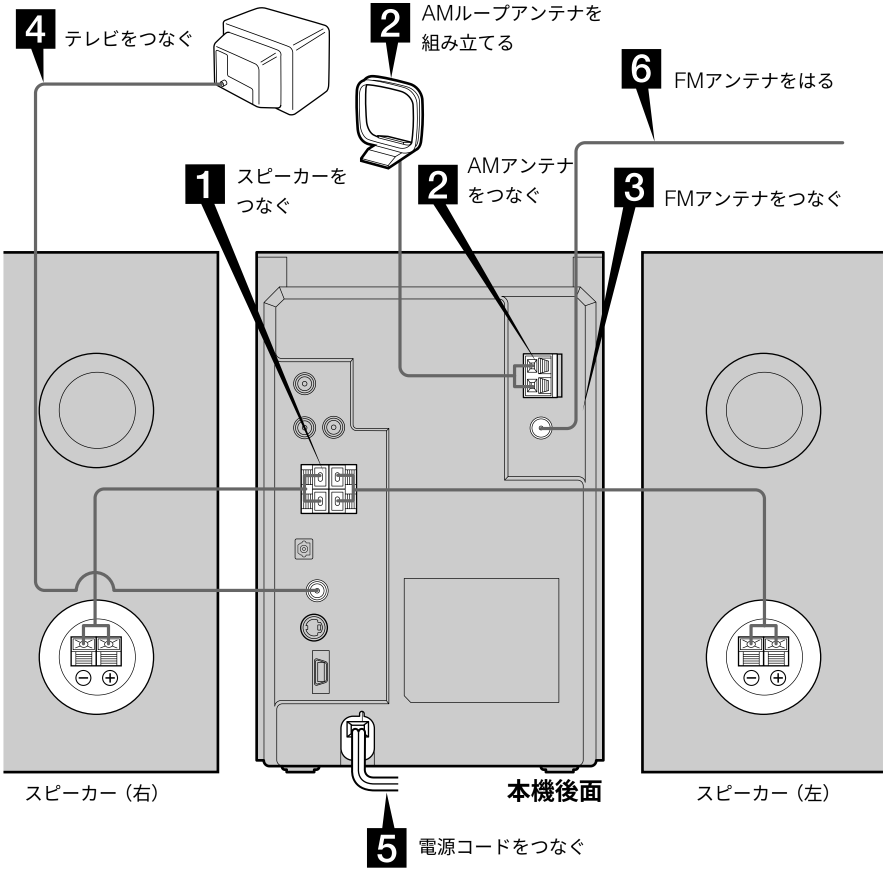
本機は、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

準備1：本機をつなぐ

付属のアンテナやコードを1～6の順につなぎます。

付属のアンテナは室内用です。安定した受信のためには市販の外部アンテナの接続をお勧めします。

外部アンテナを含め、別売り機器の接続については、141ページをご覧ください。

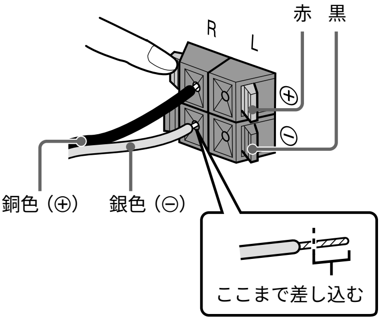


1 スピーカーをつなぐ

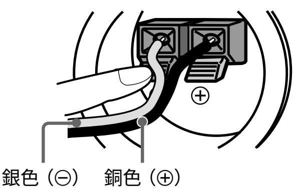
「R」と書かれたスピーカー端子には右用（R）スピーカー、「L」と書かれたスピーカー端子には左用（L）スピーカーをつなぎます。

1 本機とスピーカーのスピーカー端子に、スピーカーコードをつなぐ。

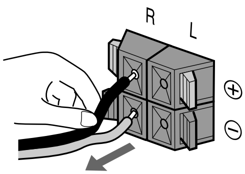
本機



スピーカー

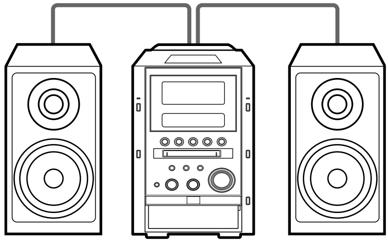


2 スピーカーコードを軽く引いてみて、正しく接続されたことを確認する。
スピーカーコードが端子から抜けてしまったときは、もう一度つなぎ直してください。また、差し込みすぎてビニール部分がはさまると音がでません。



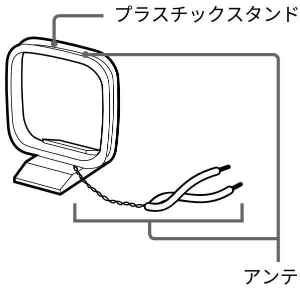
ご注意

- スピーカーコードはアンテナから離してください。ラジオ局受信時の雑音の原因になります。
- 「R」と書かれたスピーカー端子につないだスピーカーを向かって右へ、「L」につないだスピーカーを左へ置いてください。



2 AMアンテナをつなぐ

付属のAMアンテナの構造



AMの電波を受信しやすい形状、長さになっている。はずしたり、丸めたりしない。

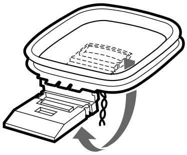
次のページへ続く

AMアンテナを組み立てる

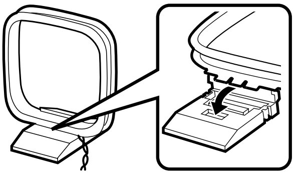
1 ループ（）になっている部分のみをプラスチックスタンドからはずす。

2 スタンド状に組み立てる。

台を起こし、

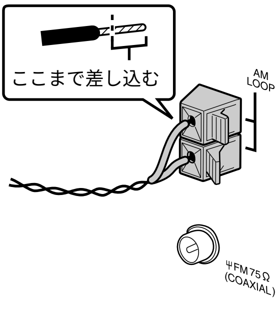


溝にはめます



AMアンテナをつなぐ

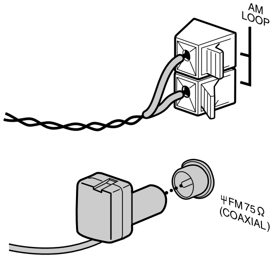
1 AMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。



2 アンテナコードを軽く引いてみて、正しく接続されたことを確認する。
アンテナコードが端子から抜けてしまったときは、もう一度つなぎ直してください。

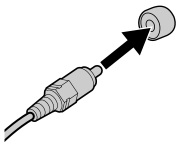
3 FMアンテナをつなぐ

FMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。



4 テレビとつなぐ（DVD・ビデオCD・JPEG用）

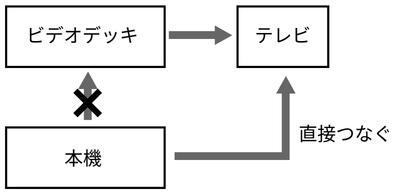
付属の映像接続ケーブルを、本機モニター出力の黄（VIDEO OUT）端子とテレビの黄（映像）入力端子につなぐ。
プラグは奥までしっかりと差し込んでください。



ちょっと一言

- S映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、黄色の映像接続ケーブルの代わりにS映像コード（別売り）を使ってつなぐと、さらに鮮明な画像が楽しめます。
- D映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、D端子ケーブル（別売り）を使ってつなぐと、簡単にコンポーネント映像で接続でき、映像本来の色が楽しめます。プログレッシブ方式に対応したテレビとこの接続をしたときは「画像に関する設定（画面設定）」（127ページ）で「コンポーネント出力」を「プログレッシブ」に設定してください。

ご注意
- 本機の上にテレビを置かないでください。
- 下記のようにビデオデッキを経由して本機の映像を見ようとすると、画像が乱れることがあります。ビデオデッキを経由して本機とテレビを接続しないでください。



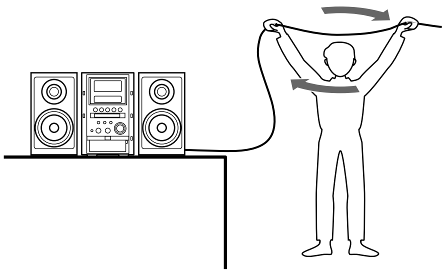
5 電源コードをつなぐ

すべての接続を終えたら、壁のコンセントへ電源プラグを差し込みます。

6 FMアンテナをはる

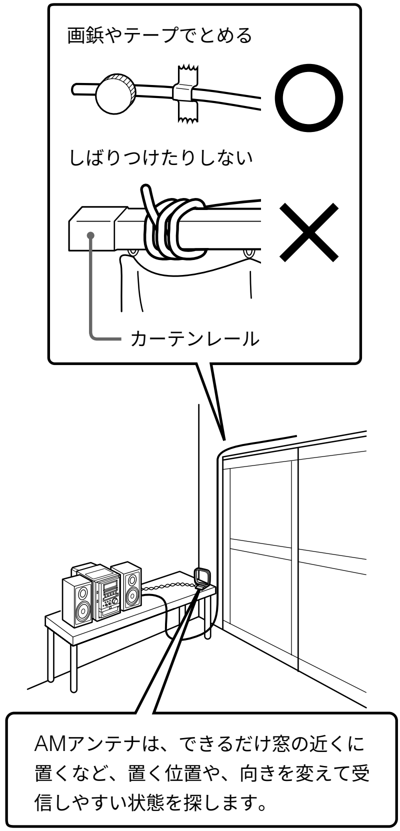
「準備3：ラジオ局を本機に記憶させる」の「手動でプリセットする」（17ページ）の手順4でFM局を選んで受信したあと、次のようにアンテナを壁や天井にはってください。

1 両手でアンテナの先を持ち、体の向きを変えながら受信状態のよい向きを探す。



壁にはるときは、受信状態のよい面を探してください。

2 方向が決まったら、画鋲やテープではりつける。

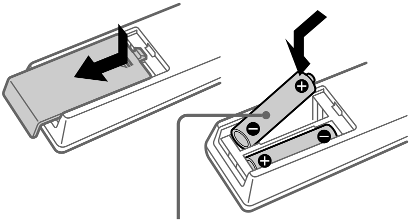


設置時のご注意
- 付属のアンテナは全体で受信しています。まっすぐに伸ばした状態が最も良い受信状態となりますので、余分に感じる部分も巻き取ったりせず、そのまま垂らしてお使いください。
- アンテナはできるだけスピーカーコードから離してください。ラジオ受信時の雑音の原因になります。
- 付属のアンテナは簡易アンテナです。窓の近くや窓の外に置くなどして、できるだけ受信状態のよい場所に設置してください。また、鉄骨造りのマンションなどの場合、付属のアンテナでは十分に受信できないことがあります。置き場所を変えても受信状態がよくならないときは、市販の外部アンテナの使用をお勧めします（146ページ）。

次のページへ続く

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池（付属）2個を入れる。必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。

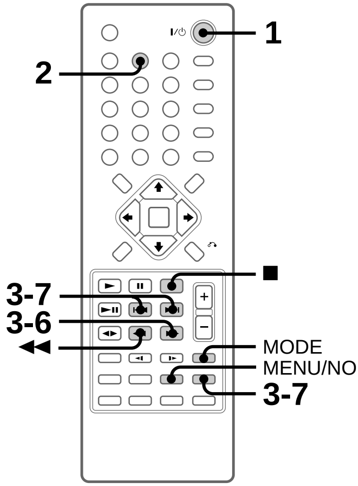


ちょっと一言
電池の交換時期は約6か月です。リモコンで操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

ご注意
- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
  - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
  - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部Rに直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

準備2：時計を合わせる

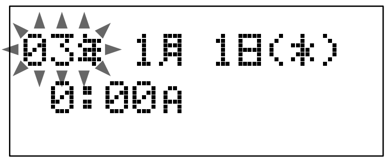
タイマー録音などのタイマー機能を使うためにも、あらかじめ時計を合わせておきます。



1 電源を入れる

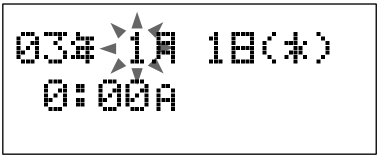
2 CLOCK（クロック）を押す

時計が表示され、「年」（03）が点滅します。



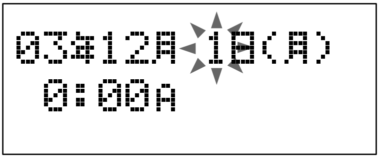
3 |◀◀または▶▶|を押して、「年」を合わせ、ENTER/YESまたは▶▶を押す

「月」が点滅します。



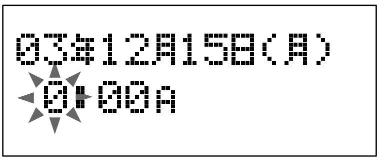
4 |◀◀または▶▶|を押して、「月」を合わせ、ENTER/YESまたは▶▶を押す

「日」が点滅します。



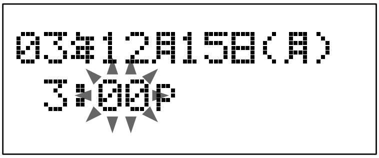
5 |◀◀または▶▶|を押して、「日」を合わせ、ENTER/YESまたは▶▶を押す

「時」が点滅します。
（正午は0:00P、真夜中は0:00Aです。）



6 |◀◀または▶▶|を押して、「時」を合わせ、ENTER/YESまたは▶▶を押す

「分」が点滅します。



7 |◀◀または▶▶|を押して、「分」を合わせ、ENTER/YESを押す

時計が動き始めます。

設定を途中でやめる

MENU/NOまたは■を押す。

設定の途中で間違えたときは

◀◀または▶▶を押して変更したいところ（年、月、日、時、分）を点滅させ、合わせ直す。

設定した時刻を変更する

1 CLOCKを押す。
2 ENTER/YESを押す。
3「時計を合わせる」の手順3～7を行う。
電源が入っていないときも時刻を変更できます。その場合は、MODEをくり返し押して「ClockSetting?」を表示させ、ENTER/YESを押してから「時計を合わせる」の手順3～7を行います。

ちょっと一言
本体のMULTI JOGを上下に回しても、年、月、日、時、分を選べます。

次のページへ続く

低消費電力待機モードに切り換える

電源を切った状態でも、本機は時計表示やタイマー動作、リモコン受信のために電力を消費しています。この消費電力を最低限におさえ、電力を節約することができます（**低消費電力待機モード**）。
低消費電力待機モードに切り換えると、表示窓の表示が消えます。時計として使用したいときは、低消費電力待機モードを解除してお使いください。

1 電源が切れている状態で、MODE（モード）をくり返し押して、「ECO（エコ） MODE（モード）」を表示させる

2 ⏮ または⏭をくり返し押して、「ON（オン）」を表示させる

3 ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

低消費電力待機モードに切り換わり、表示窓の表示が消えます。

低消費電力待機モードを解除する

手順2で「OFF」を表示させる。

ちょっと一言

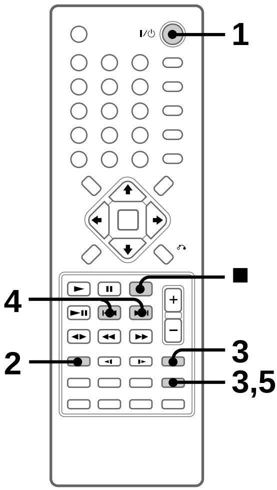
- 低消費電力待機モード時も、タイマーは働きます。
- 本体のMULTI JOGを上下に回しても、「ECO MODE」の「ON」と「OFF」を切り換えることができます。

準備3：ラジオ局を本機に記憶させる
（プリセット）

FM放送とAM放送を合わせて32局まで記憶（プリセット）させることができます。

自動でプリセットする

お住まいの地域のラジオ局を自動的に記憶させます。
すでにプリセットされているラジオ局は、すべて取り消されます。

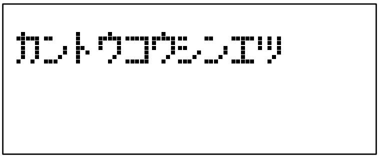


1 電源を入れる

2 TUNER（チューナー）/BAND（バンド）をくり返し押して、「FM」か「AM」を選ぶ

3 MODEをくり返し押して、「AutoPreset?」を表示させ、ENTER/YESを押す

地域名が表示されます。



4 ⏮または⏭を押して、お住まいの地域名を選ぶ

押すたびに次のように変わります。
「カントウコウシンエツ」
（関東甲信越）→
「トウホク」（東北）→
「ホッカイドウ」（北海道）→
「キュウシュウ」（九州）→
「シコク」（四国）→
「チュウゴク」（中国）→
「キンキ」（近畿）→
「チュウブ」（中部）

5 ENTER/YESを押す

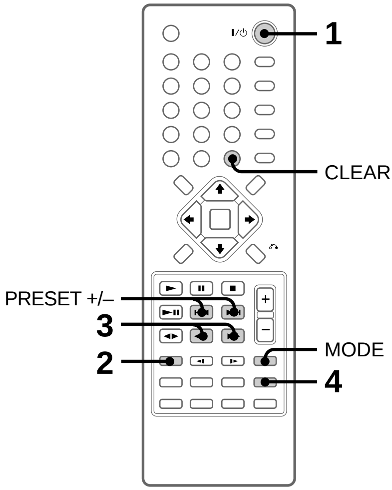
周波数表示が変わっていきます。ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「Auto Set」とプリセット番号が表示され、ラジオ局が記憶されます。プリセットが終了すると、「Complete!」が表示され、最初にプリセットしたラジオ局を受信します。
本機にあらかじめ登録されているラジオ局名（169ページ）と受信周波数が一致した場合は、そのラジオ局名も記憶されます。
自動受信を途中でやめるには、■を押します。

6 手順2〜5をくり返して、登録していないほうのバンドのラジオ局をプリセットする

ちょっと一言

- 停電になったり電源コードを抜いても、記憶させたラジオ局は約1日保持されます。
- FMステレオ放送受信中に雑音が多いときは、モノラル受信に切り換えると雑音が少なくなります。
  1 MODEをくり返し押して、「FM MODE?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
  2 ⏮または⏭をくり返し押して、「TUNER MONO」を表示させ、ENTER/YESを押す。
- 手順4で本体のMULTI JOGを上下に回しても、地域名を選べます。

手動でプリセットする



1 電源を入れる

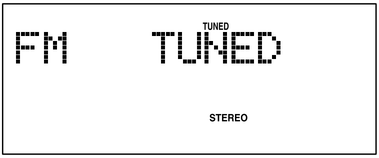
2 TUNER/BANDをくり返し押して、「FM」か「AM」を選ぶ

次のページへ続く

準備3：ラジオ局を本機に記憶させる（つづき）

3 TUNING ＋または－を長く押す

周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「TUNED」と「STEREO」（ステレオ放送のときのみ）が表示されます。



「TUNED」が出ずに止まらないときは

TUNING ＋または－をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

4 ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

プリセット番号が点灯して、ラジオ局が記憶されます。

5 手順2～4をくり返し、ラジオ局を記憶させていく

電波の弱いラジオ局を受信する

手順3でTUNING ＋または－をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせる。

プリセットしたラジオ局を消す

1 PRESET ＋または－をくり返し押して、消したいプリセット番号を選び、CLEARを押す。
プリセット番号が点滅し、「CLEAR?」が表示されます。
本体の■を押しても、「CLEAR?」が表示されます。

2 ENTER/YESを押す。

ちょっと一言

- 停電になったり電源コードを抜いても、記憶させたラジオ局は約1日保持されます。
- 記憶させたラジオ局に名前を付けることができます（132ページ）。
- FMステレオ放送受信中に雑音が多いときは、モノラル受信に切り換えると雑音が少なくなります。
  1 MODEをくり返し押して、「FM MODE?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
  2 ⏮または⏭をくり返し押して、「TUNER MONO」を表示させ、ENTER/YESを押す。
- プリセットしたラジオ局を消すと、プリセット番号は順にくり上がります。
- 本体のMULTI JOGを上下に回しても、プリセット番号を選べます。
- FM放送でテレビの音（1～3チャンネル）をプリセットすることもできます。放送局をFMにして、プリセットしたいテレビチャンネルの周波数に合わせます。ステレオ放送はモノラル音声を、2ヵ国語放送は主音声を受信します。

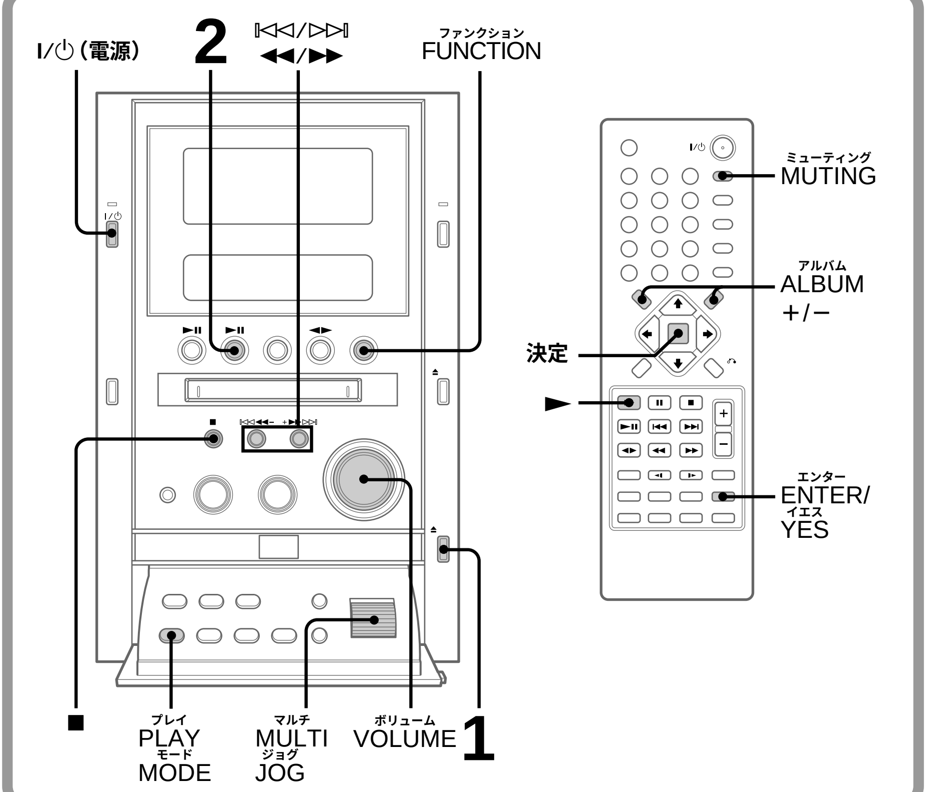
チャンネル	周波数（MHz）
1チャンネル	95.75
2チャンネル	101.75
3チャンネル	107.75

DVD・CD・MP3・JPEG を再生する DVD CD VIDEO CD MP3 JPEG

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。

DVDやビデオCD、JPEGを再生する場合は、あらかじめテレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでディスクの映像が映るようにしてください。

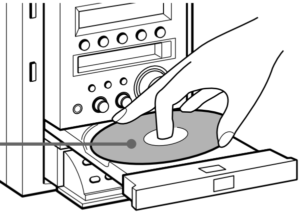
DVDによっては、途中で停止したり好きなところから再生できなかったり、ディスクにより異なる操作や禁止されている操作があります。ディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。



次のページへ続く

1 ≜DVDを押して、ディスクを入れる

ディスクトレイが出てきます。



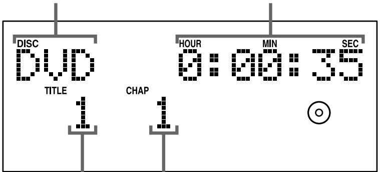
文字の書いてある面を上に、シングルCDは中央のくぼみに入れる

もう一度≜DVDを押すとトレイは閉まります。

2 DVD►❚❚を押す

ディスクトレイが自動的に閉じて再生が始まります。

ディスクの種類　再生時間



タイトル／アルバムまたはビデオCDのトラック番号　チャプターまたはトラック番号

DVDやビデオCDを再生しているときは

ディスクによっては、テレビ画面にメニューが表示される場合があります。そのときは、表示されたメニュー画面（選択画面）の操作にしたがって再生します。ただし、メニュー画面が表示されているときは、本体のDVD►❚❚で再生できない場合があります。そのときは、リモコンのDVDの►または決定を押してください。操作のしかたについて詳しくは、DVD（50ページ）、ビデオCD（51ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- ディスクがトレイに入っているときは、DVD►❚❚を押すだけで自動的に電源が入り、再生が始まります（**ワンタッチプレイ**）。
- 他の音源（ラジオなど）を聞いていても、ディスクがトレイに入っているときにDVD►❚❚を押すと、DVDに切り換わって再生が始まります（**オートファンクション**）。
- ディスクが入っていないときは、表示窓に「No Disc」と表示されます。
- 再生しているときは手順2で、トラック番号を選んでから再生することもできます。
  1 ⧏◁◁または▷▷⧐をくり返し押して再生したいトラック番号を表示させる。
  2 DVD►❚❚を押す。
  または、リモコンの数字ボタンを押してから、ENTER/YESを押します。
  押したトラック番号の再生が自動的に始まります。10以降を選ぶには、数字ボタンを順に押します。0を選ぶには、10/0を押します。
  MULTI JOGを上下に回しても、トラック番号（MP3またはJPEGのときはアルバム番号）を選べます。
- ディスクの再生開始までに時間がかかるときは、パワーマネージ機能で「DVD POWER ON」に設定してください（35ページ）。

中古ディスク／レンタルディスクをお使いのときは

シールなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスクはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機の故障の原因になることがあります。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■を押す。
一時停止する*1	DVD►IIを押す。 もう一度押すと、つづきが再生されます。
再生中にチャプターや映像、トラックを選ぶ	I◁◁または▷▷Iをくり返し押す。
MP3またはJPEGのアルバム内に限って再生する	手順1のあと、PLAY MODEをくり返し押して、「ALBM」を表示させ、DVD►IIを押す。
MP3またはJPEGのアルバムを選ぶ	手順1のあと、MULTI JOGを上下に回す（または、リモコンのALBUM +または－をくり返し押す)。
速度をかえて再生したい部分を探す*2	再生中に◄◄または►►を長く押す。 くり返し長く押すと早送り／早戻しの速度が変わります。再生したい部分でDVD►IIを押すと、通常の再生に戻ります。
消音する	リモコンのMUTINGを押す。 もう一度MUTINGを押すかVOLUMEを右に回すと、音が出ます。
ディスクを取り出す	⏏DVDを押す。
音量を調節する	VOLUMEを回す。

*1 JPEG再生時は一時停止できません。
*2 MP3再生中は再生したい部分を探せません。

次のページへ続く

ご注意

- ディスクトレイを指で強く押して閉めると故障の原因になります。必ずトレイは⏏DVDを押して閉めてください。
- ファンクションがTUNERで、パワーマネージ機能が「DVD POWER OFF」のときに、⏏DVDを押してディスクトレイを開閉すると、自動的にファンクションがDVDに切り換わります。
- DVD再生中に、一時停止または停止したままで1時間経つと、自動的に電源が切れます。
- 他の音源を聞いているときに⏏DVDを押してディスクトレイを開閉すると、トレイにディスクが入っていてもディスクアイコンが点灯しません。FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをDVDに切り換えたあと、しばらくするとディスクアイコンが点灯します。
- VBR（可変ビットレート）のMP3を再生した場合、表示されるMP3の再生経過時間が実際と異なることがあります。

MP3音声について

本機は、データCD（CD-ROM、CD-R、CD-RW）に記録されているMP3（MPEG 1 Audio Layer 3）音声を再生できます。
ディスクはISO9660のレベル1／レベル2／Joliet準拠で記録されたものが再生可能です。本機ではマルチセッションで記録したディスクも再生できます。
記録方式について詳しくはCD-R/CD-RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

マルチセッションディスク再生時のご注意

MP3音声がディスクの最初のセッションに記録されているときは、その他のセッションのMP3音声も再生します。
音楽用CDフォーマットまたはビデオCDフォーマットの音声や画像が最初のセッションに記録されているときは、最初のセッションだけを再生します。

JPEG画像について

本機は、データCD（CD-ROM、CD-R、CD-RW）に記録されているJPEG画像ファイルを再生できます。
ディスクはISO9660のレベル1／レベル2／Joliet準拠で記録されたものが再生可能です。本機ではマルチセッションで記録したディスクも再生できます。
記録方式について詳しくはCD-R/CD-RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

マルチセッションディスク再生時のご注意

JPEG画像がディスクの最初のセッションに記録されているときは、その他のセッションのJPEG画像も再生します。
音楽用CDフォーマットまたはビデオCDフォーマットの音声や画像が最初のセッションに記録されているときは、最初のセッションだけを再生します。

ご注意

- 本機は「.MP3」または「.JPG」、「.JPEG」の拡張子のついたデータのみ対応しています。
- MP3形式以外のデータに「.MP3」の拡張子をつけたり、JPEG形式以外のデータに「.JPG」または「.JPEG」の拡張子をつけると、本機はそれらを再生してしまい、雑音や故障の原因となります。
- 多くの階層や複雑な構成で記録したディスクは再生開始までに時間がかかることがあります。
- サポートされるディレクトリの深さはROOTディレクトリを含めて8までです。
- 本機はビットレート128kbps、サンプリング周波数44.1kHzで作成されたMP3音声に対応しています。それ以外の数値で作成されたMP3音声をご使用になると大きな雑音や音途切れがしたり、スピーカーを損傷する恐れもあります。
- 本機はMP3PROで記録された音声には対応していません。
- アルバムの最大数は99です。（MP3のアルバムに記録されるトラック数の最大数は250です。）
- MP3音声がアルバムに記録されていないときはスキップします。
- MP3音声が再生できないときは、ディスクを取り出して、設定画面の「視聴設定」を選びます。「視聴設定」の「データCD優先モード」を「MP3」に変更し、もう一度ディスクを入れてください（129ページ）。
- CD-RまたはCD-RWのフォーマット形式によって、本機で再生できないディスクがあります。
- ディスクによって再生までに時間がかかることがあります。

ディスクをMDやテープにそのまま録音する CD VIDEO CD MP3

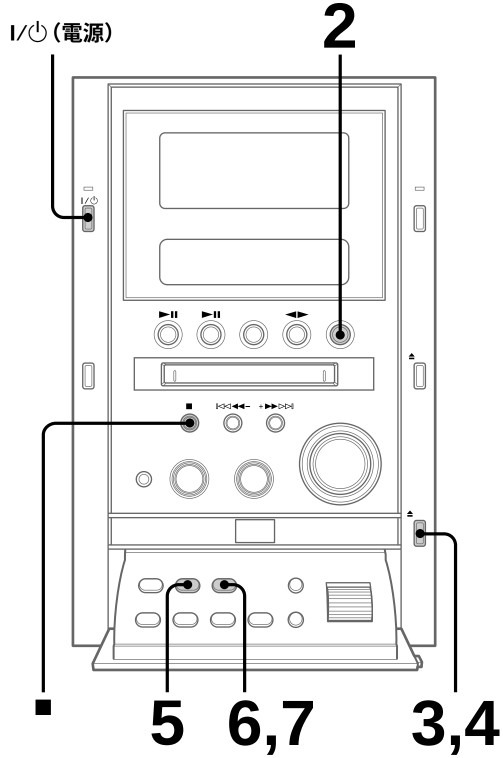
1枚のディスクをそのままMD（ミニディスク）に録音したり、テープにアナログ録音したりできます。また、MDとテープに同時に録音することもできます。

MDに録音する

途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは、「曲を消す」（86ページ）をご覧ください。

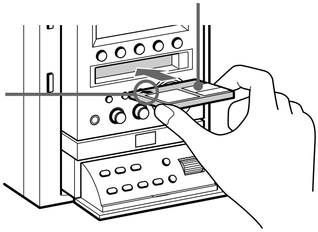
ディスクをそのまま録音する他に、ディスクの好きな曲だけを録音することもできます（65ページ）。

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。



次のページへ続く

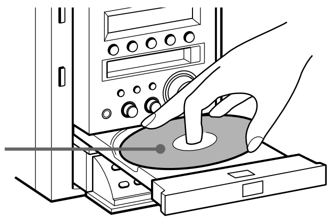
1 録音用のMDを入れる



2 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをDVDに切り換える

3 ≜DVDを押して、ディスクを入れる

ディスクトレイが出てきます。



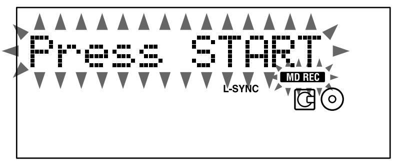
4 ≜DVDを押して、ディスクトレイを閉める

5 CD SYNC REC SEL（シンクロ レコーディング セレクト）をくり返し押して、「CD▶MD x1」を表示させる

6 REC START/REC PAUSE（レコーディング スタート レコーディング ポーズ）を押す

「Sync REC」が表示されたあと、「Press START」と「MD REC」が点滅します。

MDが録音一時停止に、ディスクは再生一時停止になります。



ちょっと一言

- CDの場合、高速で録音することもできます。詳しくは「CDを高速で録音する」（68ページ）をご覧ください。
- 長時間で録音することもできます。詳しくは「長時間録音する」（73ページ）をご覧ください。
- ディスクによってはCDテキストの情報も記録されます。

ご注意

- **CDはデジタル録音に、ビデオCDやMP3はアナログ録音になります。**
- 録音を一時停止することはできません。
- 再生モードがリピートやシャッフルになっているときは、手順5で自動的にふつうの再生に切り換わります。
- ビデオCDの場合、PBC再生は自動的に解除されます。
- DVDでは、この録音はできません。マニュアル録音（71ページ）と1トラックシンクロ録音（70ページ）のみできます。
- 「C11」と「Protected」が交互に表示されるか、または「No Disc」が表示されたら、ディスクが入っていないか、またはそのMDには録音できません（163、167ページ）。

録音途中でMDが終わってしまったときは

ディスク、MDとも自動的に停止します。

7 「Press（プレス） START（スタート）」が点滅しているのを確認してからREC（レコーディング） START（スタート）/REC（レコーディング） PAUSE（ポーズ）を押す

録音が始まります。
録音が終わると、ディスク、MDとも自動的に停止します。

電源コンセントを抜く前に
MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

録音を止める

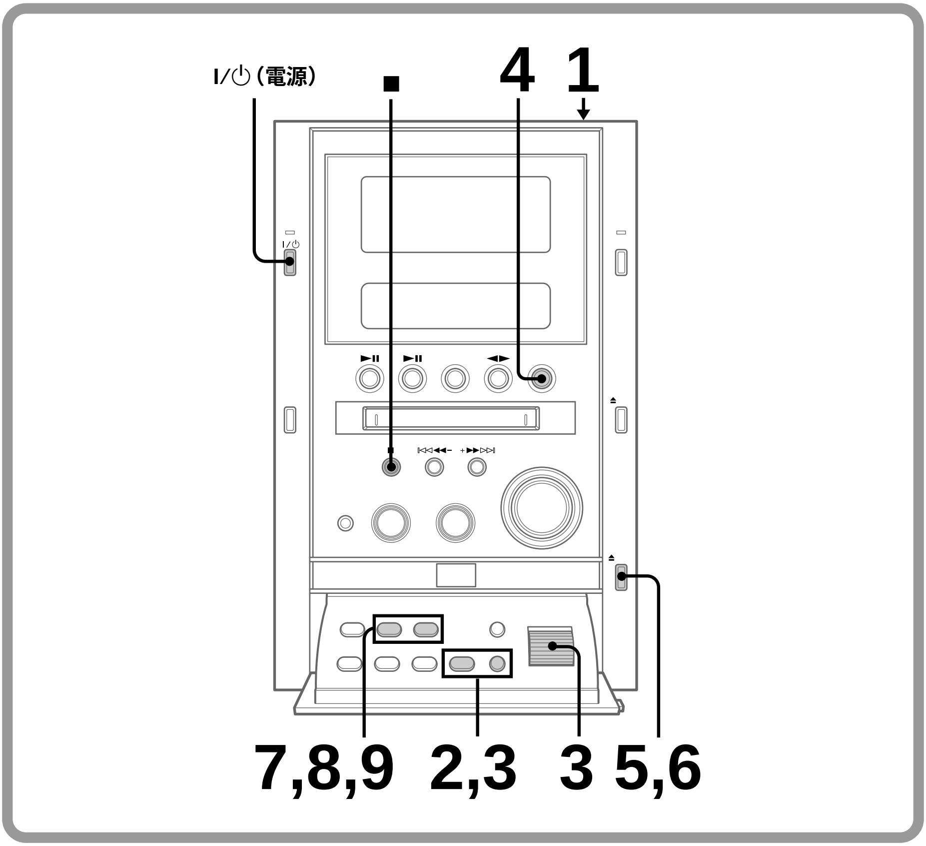
■を押す。

テープに録音する

TYPE I（ノーマル）のテープが使えます。

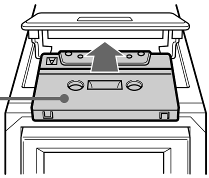
1枚のディスクをそのまま録音する他に、ディスクの好きな曲だけを録音することもできます（97ページ）。

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。



次のページへ続く

1 ≜PUSH EJECTを押して、録音用のテープを入れ、ふたを閉める



2 MODEをくり返し押して、「REV MODE?」を表示させ、ENTER/YESを押す

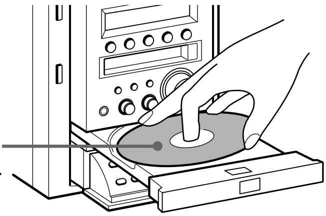
3 MULTI JOGを上下に回して、録音する面を選び、ENTER/YESを押す

片面録音するときは「REV MODE ⊐」を、両面録音するときは「REV MODE ⊐⊃」（または「REV MODE ⊂⊐⊃」）を選びます。

4 FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをDVDに切り換える

5 ≜DVDを押して、ディスクを入れる

ディスクトレイが出てきます。



6 ≜DVDを押して、ディスクトレイを閉める

7 CD SYNC REC SELをくり返し押して、「CD▶TAPE」を表示させる

ちょっと一言

⊐⊃または⊂⊐⊃を選んで録音すると、曲の途中で上の面が終わっても、反対面にその曲の頭から録音し直します。

ご注意

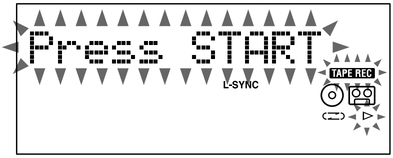
- 再生モードがリピートやシャッフルになっているときは、手順7で自動的にふつうの再生に切り換わります。
- ビデオCDの場合、PBC再生は自動的に解除されます。
- サラウンド機能が「SURROUND ON」のとき（103ページ）は、サラウンドの効果が録音されます。
- 「TAPE No Tape」または「TAPE No Tab」が表示されたら、テープが入っていないか、またはそのテープには録音できません（168ページ）。

録音途中でテープが終わってしまったときは

ディスク、テープとも自動的に停止します。

8 REC START/REC PAUSEを押す

「Sync REC」が表示されたあと、「Press START」と「TAPE REC」が点滅します。
テープが録音一時停止に、ディスクは再生一時停止になります。



9 「Press START」が点滅しているのを確認してからREC START/REC PAUSEを押す

「REC MUTING」が点滅し、何も録音されないまま10秒間テープが走行したあと、録音が始まります。
録音が終わると、ディスク、テープとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

MDとテープに同時に録音する

1枚のディスクをそのままMDとテープに同時に録音できます。

1 「MDに録音する」（23ページ）の手順1と「テープに録音する」（25ページ）の手順1〜6を行う

2 CD SYNC REC SELをくり返し押して、「CD▶MD/TAPE」を表示させる

3 「テープに録音する」（25ページ）の手順8と9を行う

録音を止める

■を押す。

ちょっと一言

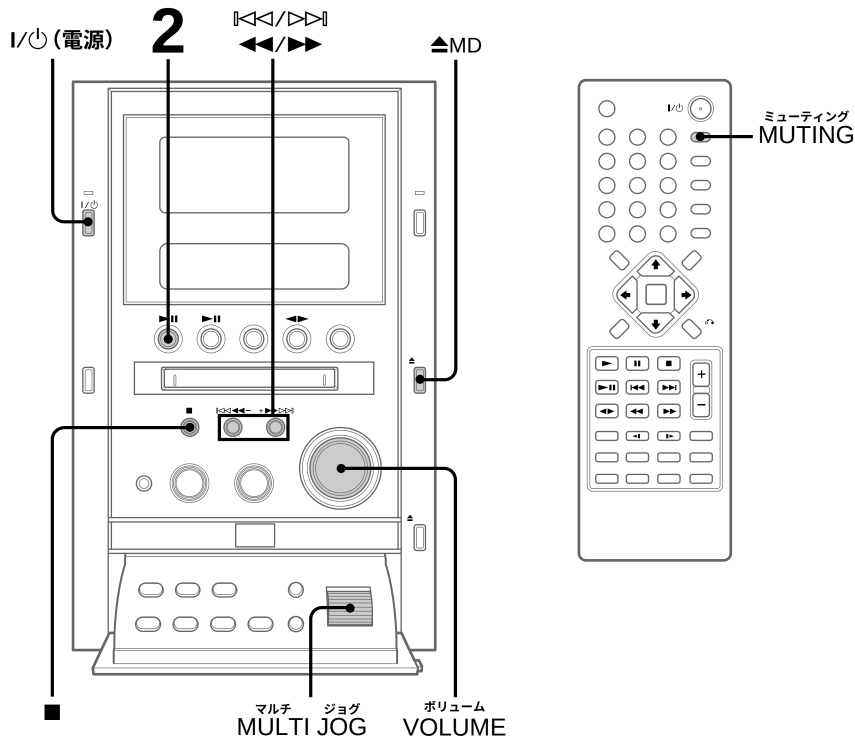
- 録音途中でMD、テープのどちらかが終わってしまっても、もう一方は録音を続けます。
- ⊏⊐または(⊏⊐)を選んで録音すると、曲の途中で上の面が終わっても、反対面にその曲の頭から録音し直します。

ご注意

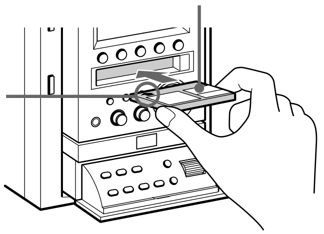
- MDとテープに同時に録音する場合、CDテキストの情報はMDに記録されません。
- 「C11」または「Protected」、「No Disc」、「TAPE No Tape」、「TAPE No Tab」が表示されたら、ディスクやテープが入っていないか、またはそのMDやテープには録音できません（163、167、168ページ）。

MDを再生する

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。

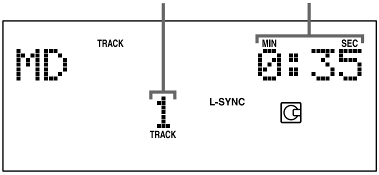


1　MDを入れる



2　MD►❙❙を押す

再生が始まります。



その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■を押す。
一時停止する	MD►❙❙を押す。 もう一度押すと、つづきが再生されます。
曲を選ぶ	⧏◁◁または▷▷⧐をくり返し押す。
曲中の聞きたい部分を探す	再生中に◀◀または▶▶を押し続け、聞きたいところで指を離す。
消音する	リモコンのMUTINGを押す。 もう一度MUTINGを押すかVOLUMEを右に回すと、音が出ます。
MDを取り出す	⏏MDを押す。
音量を調節する	VOLUMEを回す。

次のページへ続く

ちょっと一言

- MDが中に入っているときは、MD►❙❙を押すだけで自動的に電源が入り、再生が始まります（**ワンタッチプレイ**）。
- 他の音源（ラジオなど）を聞いていても、MDが中に入っているときにMD►❙❙を押すと、MDに切り換わって再生が始まります（**オートファンクション**）。
- 手順2で、曲番を選んでから聞くこともできます。
  1 ⧏◁◁または▷▷⧐をくり返し押して聞きたい曲番を表示させる。
  2 MD►❙❙を押す。
  または、リモコンの数字ボタンを押します。
  押した曲番の再生が自動的に始まります。10以降を選ぶには、>10を押してから曲番を押します。0を選ぶには、10/0を押します。
  MULTI JOGを上下に回しても、曲を選べます。

ご注意

ラベルがはみ出したり、正しい位置にラベルを貼っていないMDはお使いにならないでください。本機の故障の原因となることがあります。

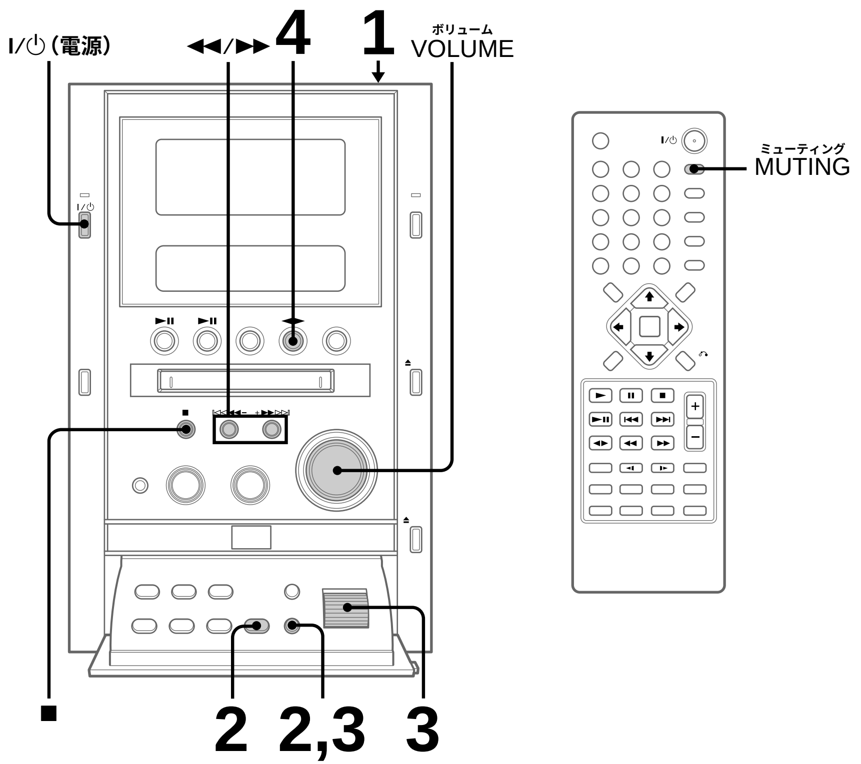
MDを入れる前に

電源が入っているときは、表示窓からMDアイコンが消えていることを確認してください。MDアイコンが点灯している場合は、別のMDが入っています。
⏏MDを押して、取り出してください。

テープを再生する

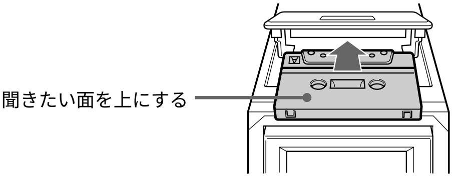
TYPE I（ノーマル）のテープが使えます。

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。



次のページへ続く

1 **⏏PUSH（プッシュ） EJECT（イジェクト）を押して、テープを入れ、ふたを閉める**



2 **MODE（モード）をくり返し押して、「REV（リバース） MODE（モード）?」を表示させ、ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す**

3 **MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）を上下に回して、再生する面を選び、ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す**

片面だけ聞くときは「REV MODE ⇄」を、両面を聞くときは「REV MODE ⇄⊃」を選びます。両面をくり返し聞くときは「REV MODE ⊂⇄⊃」*を選びます。

＊ 5回くり返して自動的に止まります。

4 **TAPE（テープ）◄►を押す**

▷が表示され、上の面から再生が始まります。反対面を聞くには、TAPE◄►をもう一度押します。
◁が表示され、反対面の再生が始まります。

ちょっと一言

- テープがすでに入っているときは、TAPE◄►を押すだけで自動的に電源が入り、再生が始まります（**ワンタッチプレイ**）。
- 他の音源（ラジオなど）を聞いていても、テープがすでに入っているときは、TAPE◄►を押すとテープに切り換わり、再生が始まります（**オートファンクション**）。

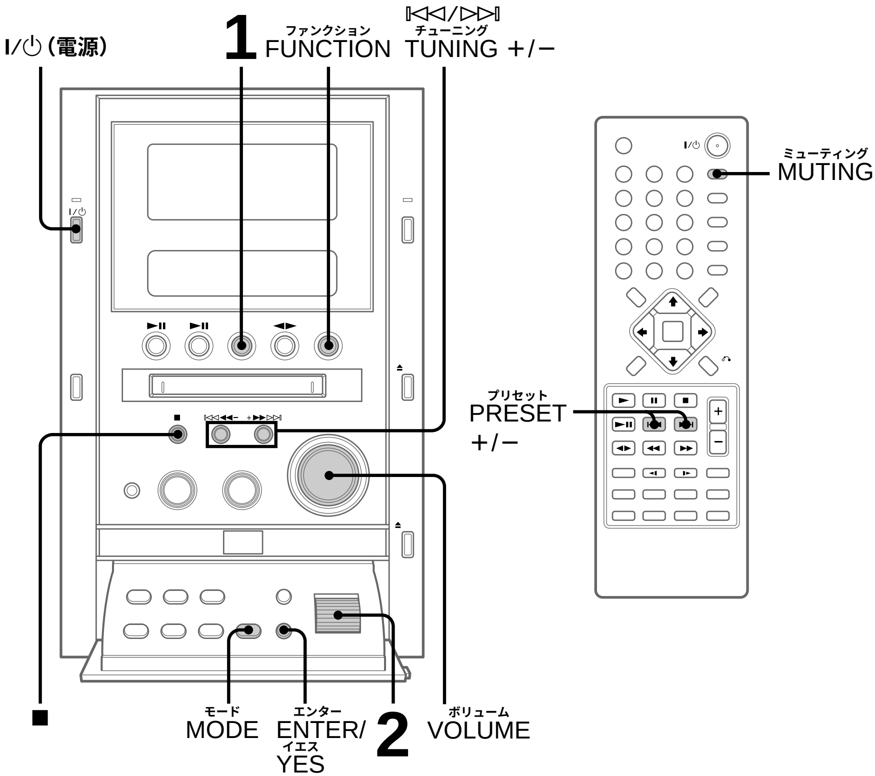
その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■を押す。
早送りまたは 巻き戻しする	◄◄または►►を押す。
消音する	リモコンのMUTINGを押す。 もう一度MUTINGを押すかVOLUMEを右に回すと、音が出ます。
テープを取り出す	停止中に⏏PUSH EJECTを押す。
音量を調節する	VOLUMEを回す。

ラジオを聞く（プリセット受信）

ここでは、あらかじめ本機に記憶させた（プリセット、16ページ）ラジオ局を聞くプリセット受信の方法をおもに説明しています。聞きたいラジオ局に周波数を合わせながら聞く方法（記憶させていないラジオ局を聞く）については説明の最後に紹介しています。

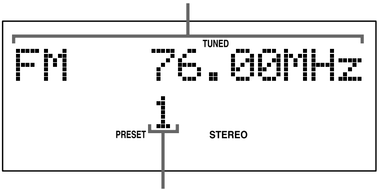
電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。



次のページへ続く

1 TUNER BAND（チューナー バンド）をくり返し押して、「FM」か「AM」を選ぶ

2 MULTI JOG（マルチ ジョグ）を上下に回して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ



＊ 記憶させたラジオ局に名前が付いている（16、132ページ）ときのみ表示されます。

リモコンのPRESET ＋または－や数字ボタンでもプリセット番号が選べます。

ちょっと一言

- TUNER BANDを押すだけで自動的に電源が入り、前に聞いていたラジオ放送が聞けます（**ワンタッチプレイ**）。
- 他の音源（CDなど）を再生していても、TUNER BANDを押すとラジオに切り換わり、ラジオ放送が聞けます（**オートファンクション**）。
- 受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、向きや置き場所、はる位置を変えてみてください。それでも受信状態が悪いときは、市販の外部アンテナの使用をお勧めします（146ページ）。
- FMステレオ放送受信中に雑音が多いときは、モノラル受信に切り換えると雑音が少なくなります。
  1 MODEをくり返し押して、「FM MODE?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
  2 ⏮または⏭をくり返し押して、「TUNER MONO」を表示させ、ENTER/YESを押す。

その他の操作

こんなときは	操作
ラジオを消す	I/⏻を押して、電源を切る。
消音する	リモコンのMUTINGを押す。 もう一度MUTINGを押すかVOLUMEを右に回すと、音が出ます。
音量を調節する	VOLUMEを回す。

リモコンを使ってプリセット番号を選ぶ

手順2でPRESET ＋または－を押す。

または、リモコンの数字ボタンを押す。

10以降を選ぶには、>10を押してからプリセット番号を押します。0を選ぶには、10/0を押します。

記憶させていないラジオ局を聞く

- 手順2でTUNING ＋または－をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせる（**マニュアル受信**）。
- 手順2でTUNING ＋または－を長く押す。
  周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まります（**オート受信**）。

ラジオの受信状態をよくする

ラジオの受信状態が悪いときは、TUNERファンクションでDVDプレーヤーの電源を切り換える機能（パワーマネージ機能）で「DVD POWER OFF」に設定すると、受信状態がよくなることがあります。お買い上げ時はパワーマネージ機能が「DVD POWER ON」に設定されています。

1 I/⏻（電源）を押して、電源を切る。

2 ■を押しながらI/⏻（電源）をしばらく押す。
「DVD POWER OFF」が表示されます。
TUNERファンクションでDVDプレーヤーの電源を入れるには、この手順をくり返し、「DVD POWER ON」を表示させます。

ちょっと一言
FM放送でテレビの音（1～3チャンネル）を聞くことができます。各チャンネルの周波数は、18ページをご覧ください。

オート受信を途中でやめたいときは
■を押します。

ちょっと一言
ファンクションがTUNERで、パワーマネージ機能が「DVD POWER OFF」のときにDVD►❚❚を押すと、ファンクションが切り換わるまでに時間がかかる場合があります。

ご注意
「DVD POWER OFF」に設定すると、ディスクの再生開始までに時間がかかります。

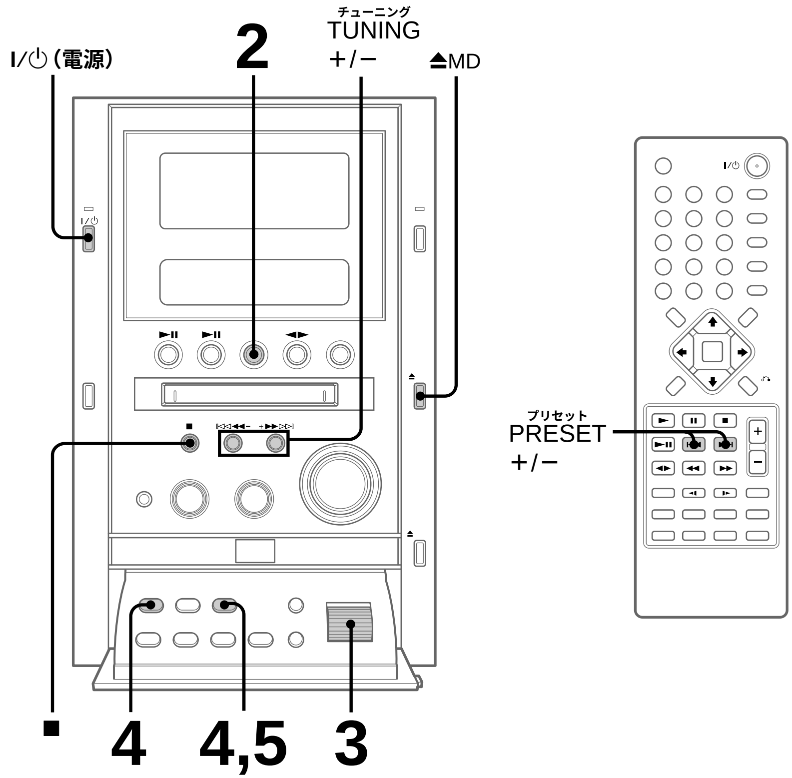
ラジオを録音する（マニュアル録音）

MDやテープにアナログ録音します。

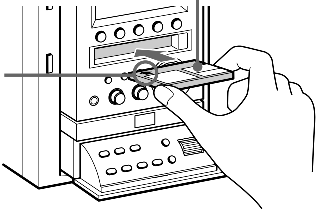
MDに録音する

途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは「曲を消す」（86ページ）をご覧ください。

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。

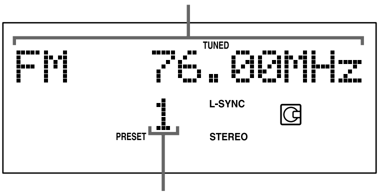


1　録音用のMDを入れる



2　TUNER BAND（チューナー バンド）をくり返し押して、「FM」か「AM」を選ぶ

3　MULTI JOG（マルチ ジョグ）を上下に回して、録音したいラジオ局のプリセット番号を選ぶ



＊ 記憶させたラジオ局に名前が付いている（16、132ページ）ときのみ表示されます。

リモコンのPRESET ＋または－や数字ボタンでもプリセット番号が選べます（34ページ）。

4　REC SEL（レコーディング セレクト）をくり返し押して、「REC MD（レコーディング）」を表示させ、REC START/REC PAUSE（レコーディング スタート レコーディング ポーズ）を押す

「MD REC」が点滅し、MDが録音一時停止になります。

5　REC START/REC PAUSE（レコーディング スタート レコーディング ポーズ）を押す

録音が始まります。

録音を止める

■を押す。

次のページへ続く

ちょっと一言

- AM放送を録音中に雑音が出るときは、付属のAMループアンテナを雑音の消える位置に動かすか、ビニール電線（146ページ）をつないでください。
- 長時間で録音することもできます。詳しくは「長時間録音する」（73ページ）をご覧ください。
- 記憶させていないラジオ／テレビ局を録音するには、手順3でTUNING ＋または－をくり返し押して、録音したいラジオ局の周波数に合わせます。
- 記憶させたラジオ局に名前が付いているときは、録音中に、ラジオ局名が曲名として自動的に記録されます。
- ラジオを録音中に雑音が出るときは、パワーマネージ機能で「DVD POWER OFF」に設定してください（35ページ）。

ご注意

MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください（59ページ）。

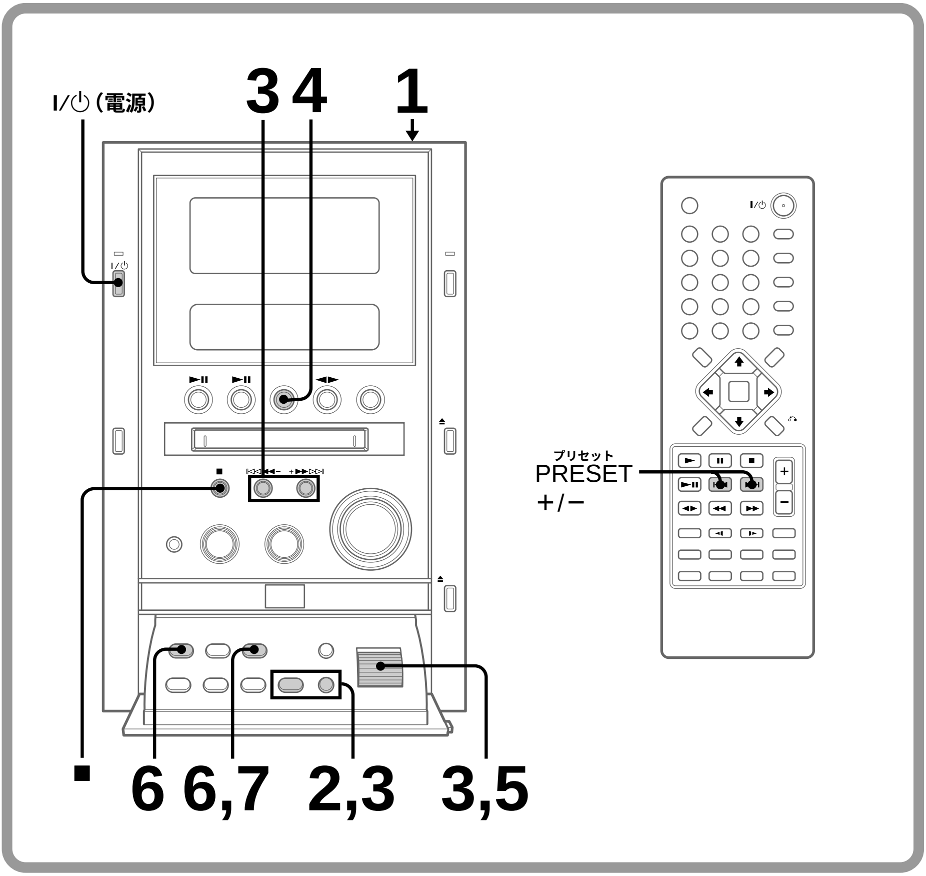
電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

テープに録音する

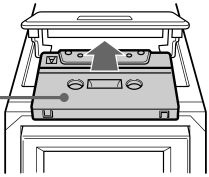
TYPE I（ノーマル）のテープが使えます。

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。



1 ⏏PUSH EJECTを押して、録音用のテープを入れ、ふたを閉める

録音したい面を上にする



2 MODEをくり返し押して、「REV MODE?」を表示させ、ENTER/YESを押す

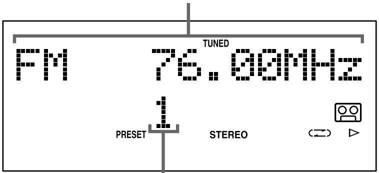
3 MULTI JOGを上下に回して、録音する面を選び、ENTER/YESを押す

片面録音するときは「REV MODE ⇌」を、両面録音するときは「REV MODE ⇌⊃」（または「REV MODE ⊂⇌⊃」）を選びます。

4 TUNER BANDをくり返し押して、「FM」か「AM」を選ぶ

5 MULTI JOGを上下に回して、録音したいラジオ局のプリセット番号を選ぶ

バンドと周波数またはラジオ局名*



プリセット番号

* 記憶させたラジオ局に名前が付いている（16、132ページ）ときのみ表示されます。

リモコンのPRESET ＋または－や数字ボタンでもプリセット番号が選べます（34ページ）。

次のページへ続く

ちょっと一言

- AM放送を録音中に雑音が出るときは、付属のAMループアンテナを雑音の消える位置に動かすか、ビニール電線（146ページ）をつないでください。
- 記憶させていないラジオ局を録音するには、手順5でTUNING ＋または－をくり返し押して、録音したいラジオ局の周波数に合わせます。

ご注意

「TAPE No Tape」または「TAPE No Tab」が表示されたら、テープが入っていないか、またはそのテープには録音できません（168ページ）。

6 REC SEL（レコーディング セレクト）**をくり返し押して、「**REC TAPE（レコーディング テープ）**」を表示させ、**REC START/REC PAUSE（レコーディング スタート レコーディング ポーズ）**を押す**

「TAPE REC」が点滅し、テープが録音一時停止になります。

7 REC START/REC PAUSE（レコーディング スタート レコーディング ポーズ）**を押す**

録音が始まります。

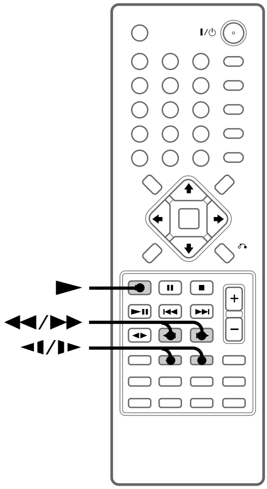
録音を止める

■を押す。

速さを変えて再生する（早送り／早戻し／スロー再生）

DVD　CD　VIDEO CD

再生しながら早送りや早戻しをして、見たいところや聞きたいところをさがしたり、
スロー再生をすることができます。



ご注意
DVD、ビデオCDによっては操作が禁止されている場合があります。

早送り再生／早戻し再生をして見たいところ、聞きたいところをさがす（サーチ）

再生中に早送りするには►►を、早戻しをするには◄◄を押します。DVDの►を押すと通常の再生に戻ります。
DVDまたはビデオCDの再生中は、◄◄または►►をくり返し押すと、再生の速さが変わります。2種類の速さを選ぶことができます。
ボタンを押すたびに、次のように変わります。

再生方向
早送り1►► ←→ 早送り2►►

逆方向
早戻し1◄◄ ←→ 早戻し2◄◄

早戻し1◄◄/早送り1►►より、早戻し2◄◄/早送り2►►のほうが、高速で再生します。

スロー再生をする

この機能はDVDまたはビデオCDのみで使えます。
一時停止中にスロー◄▮または▮►を押します。
DVDの►を押すと通常の再生に戻ります。
スロー再生中、スロー◄▮または▮►をくり返し押すと、再生の速さが変わります。2種類の速さを選ぶことができます。
ボタンを押すたびに、次のように変わります。

再生方向
スロー2▮► ←→ スロー1▮►

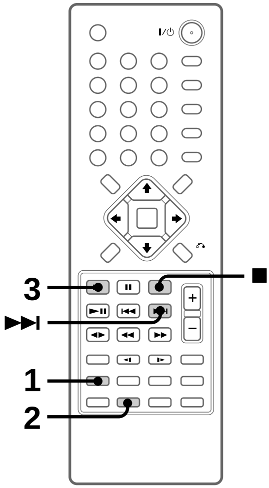
逆方向（DVDのみ）
スロー2◄▮ ←→ スロー 1◄▮

スロー1◄▮/スロー1▮►よりスロー2◄▮/スロー2▮►のほうが、低速で再生します。

順不同に再生する

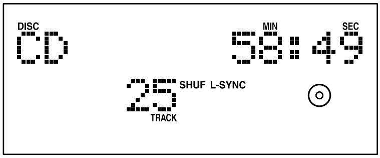
（シャッフル再生／アルバムシャッフル再生） CD VIDEO CD MP3

本機が自動的にトラックの順番を選んで、ひと通り再生します。再生する順番は、シャッフル再生をするたびに変わります。



1 FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをDVDに切り換える

2 停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」または「ALBM SHUF」を表示させる



SHUF（シャッフル再生）：トラック順を変えて再生します。
ALBM SHUF（アルバムシャッフル再生）：MP3のアルバム内でトラック順を変えて再生します。MP3以外のディスクではシャッフル再生になります。

3 DVDの▶を押す

シャッフル再生が始まります。

ふつうの再生に戻す

■を押して再生を止めてから、PLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」や「ALBM SHUF」を消す。

ちょっと一言

再生したくないトラックをとばすときは、▶▶Iを押します。

ご注意

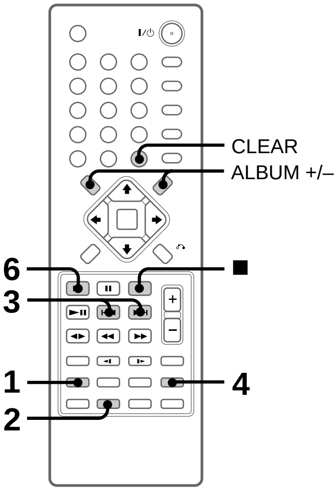
シャッフル再生（アルバムシャッフル再生）とプログラム再生を組み合わせて使うことはできません。

好きな順に再生する
（プログラム再生）

CD VIDEO CD MP3

最大25個のトラック（曲）を選んでプログラムできます。プログラムした曲はMDにシンクロ録音できます（65ページ）。

本体の表示窓を使ってプログラムする

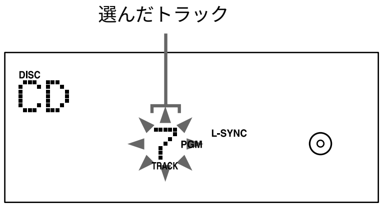


1 **FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをDVDに切り換える**

2 **停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「PGM」を表示させる**

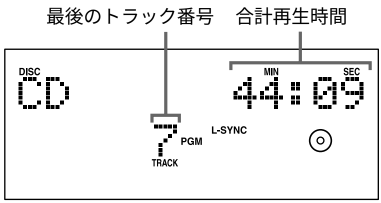
3 **⏮または⏭をくり返し押して、プログラムしたいトラックを選ぶ**

MP3をプログラムするときは、ALBUM ＋または－をくり返し押してアルバムを選んだあと、⏮または⏭をくり返し押してトラックを選びます。



4 **ENTER/YESを押す**

トラックが選んだ順にプログラムされます。
何トラック目にプログラムされたか（STEP数）が表示されたあと、最後にプログラムしたトラック番号とプログラムの合計再生時間が表示されます。
間違えてプログラムしたときは、CLEARを押すと、押すたびに最後にプログラムしたトラックを消すことができます。



5 **手順3と4をくり返す**

6 **DVDの▶を押す**

プログラムした順に再生が始まります。

次のページへ続く

その他の操作

こんなときは	操作
ふつうの再生に戻す	■を押して再生を止めてから、PLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」や「PGM」を消す。
プログラムした順番を確認する	DVDの►を押して再生を始め、再生中に⏮または⏭を押す。
プログラムの最後にトラックを追加する	停止中に手順3と4を行う。
プログラムを消す	停止中にCLEARを押す。 押すたびに最後にプログラムした曲が消えます。

数字ボタンを使ってトラック番号を選ぶ

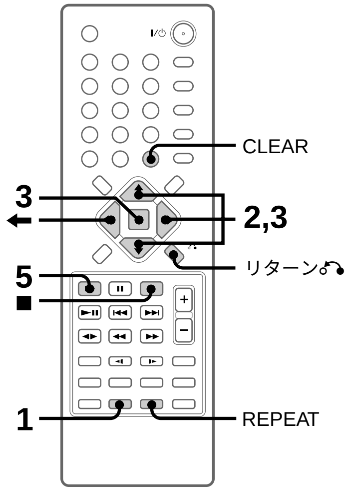
手順3のかわりに数字ボタンを押す。10以降を選ぶには、数字ボタンを順に押します。0を選ぶには、10/0を押します。

ちょっと一言

- プログラム再生が終わっても、プログラムは残っています。DVDの►を押すと、同じプログラムを再生できます。ただし、ディスクトレイを開閉するとプログラムは消えます。
- 26トラック（STEP）以上プログラムしようとしたときは「Step Full!」が表示されます。
- MP3のときは、合計再生時間が「－－:－－」と表示されます。
- 再生モードが⮎ 1になっているときは、手順2で自動的に解除されます。
- 本体のMULTI JOGを上下に回しても、プログラムしたいトラック（MP3のときはアルバム）を選べます。

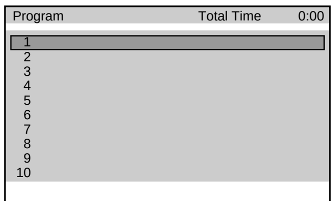
テレビの画面を使ってプログラムする

あらかじめテレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでディスクの映像が映るようにしておくと、テレビ画面で操作することができます。



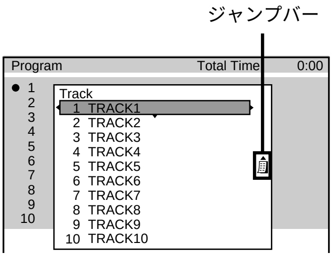
1 PLAY（プレイ） MODE（モード）をくり返し押して、本体の表示窓に「PGM（プログラム）」を表示させる

プログラム設定画面が表示されます。



2 ➡を押す。

アルバムまたはトラックのリストが表示されます。



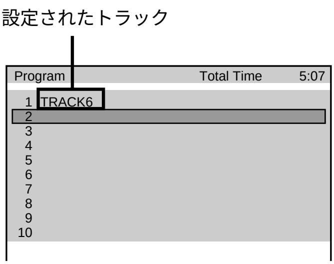
アルバムまたはトラックのリストが一度に表示できない場合は、ジャンプバーが表示されます。➡を押してジャンプバーを選び、⬆/⬇でジャンプバーをスクロールして、残りのリストを表示できます。⬅またはリターン↶を押すと、アルバムまたはトラックのリストに戻ります。

3 プログラムしたいアルバムまたはトラックを選ぶ。

CD、ビデオCDのとき

例）「トラック6」を設定する。

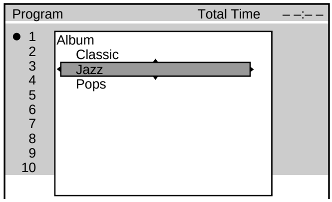
⬆/⬇または数字ボタンで「トラック6」を選び、決定を押す。



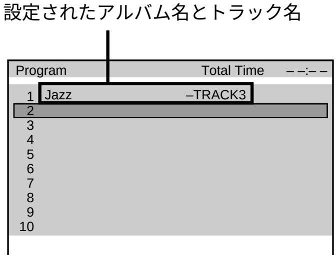
MP3のとき

例）アルバム「2」のトラック「3」を設定する。

1 ⬆/⬇でアルバム「2」を選び、➡を押す。



2 ⬆/⬇でまたは数字ボタンでトラック「3」を選び、決定を押す。



設定したプログラムを消すには

CLEARを押す。

押すたびに最後にプログラムしたトラックが消えます。

4 続けて再生するトラックを設定したいときは、手順2と3をくり返す

トラックが選んだ順に表示されます。

5 DVDの►を押す

プログラムした順に再生が始まります。

プログラム再生が終わっても、もう一度DVDの►を押すと同じプログラムを再生できます。

次のページへ続く

ふつうの再生に戻す

■を押して再生を止めてから、PLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」や「PGM」を消す。

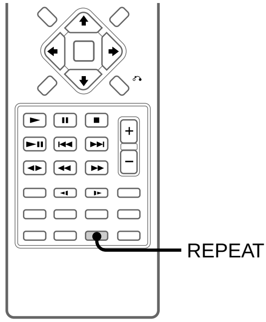
ちょっと一言

設定したプログラムでリピート再生もできます。プログラムを再生中に、REPEATを押します。またはプログラム再生中に、コントロールメニュー画面（111ページ）で「リピート」を「全部」にします。

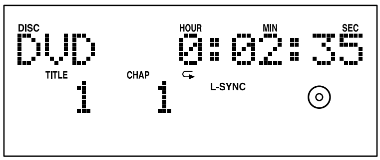
くり返し再生する
（リピート再生）

DVD　CD　VIDEO CD　MP3　JPEG

ディスク全体または1つのタイトルやチャプター、アルバム、トラックをくり返し再生します。シャッフル再生やプログラム再生をくり返すこともできます。



➡ 再生中にREPEAT（リピート）を押して、「↪」または「↪ 1」を表示させる



↪：再生中のディスク全体または再生中のアルバム*全体を5回くり返します。

↪ 1：CDまたはビデオCD、MP3のときは、再生中の1曲だけをくり返します。DVDのときは、再生中の1つのタイトルまたはチャプターだけをくり返します。

＊ MP3またはJPEGで再生モードがアルバムまたはアルバムシャッフルのときのみ

リピート再生をやめる

REPEATを押して、「↻」または「↻ 1」を消す。

ご注意

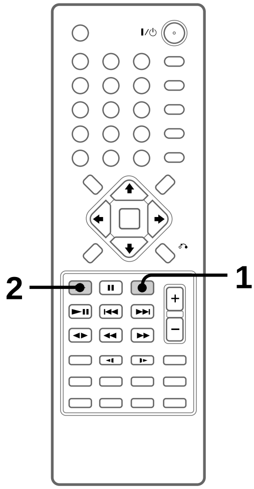
- DVDによってはリピート再生できない場合があります。
- ビデオCDのPBC再生では、リピート再生できません。
- プログラム再生中は、「↻ 1」は選べません。

再生を止めたところから再生する

（リジューム再生）

DVD　CD　VIDEO CD　MP3

再生を止めたあと、そのつづきから再生できます。ディスクトレイを開けない限り、本機がスタンバイモード（待機状態）になってもリジューム再生が働きます。



1　ディスクの再生中、■を押して、再生を止める

表示窓に「RESUME」と表示されます。「RESUME」が表示されないときはリジューム再生はできません。

2　DVDの►を押す

手順1で再生を止めたところから、再生が始まります。

次のページへ続く

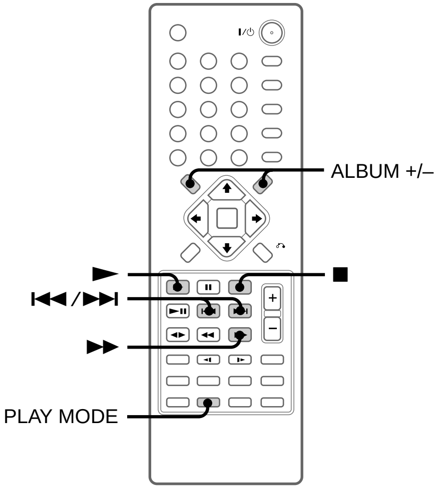
再生を止めたところから再生する（つづき）

ちょっと一言
ディスクを最初から再生したいときは、■を2回押してから、DVDの►を押します。

ご注意
- シャッフル再生中やプログラム再生中はリジューム再生は働きません。
- 再生を止めたところによっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、再生を止めたところの記録は消え、リジューム再生できません。
  ー停止中に■を押したとき
  ー電源コードを抜いたとき
  ーディスクトレイを開閉したとき
  ー再生モードを変えたとき
  ー設定画面で設定を変更したとき

スライドショーを楽しむ JPEG

静止画を次々に自動的に切り換えて見ることができます。この機能をスライドショーと言います。



➡ 静止画の再生中に►►を押す。

その他の操作

こんなときは	操作
止める	■を押す。
一時停止する	DVDの►を押す。 ►►を押すと、停止した場所から再生が始まります。
表示間隔を変える	►►をくり返し押す。
静止画を選ぶ	I◄◄または►►Iを押す。
アルバム内に限って再生する	PLAY MODEをくり返し押して、「ALBM」を表示させてから、►►を押す。
アルバムを選ぶ	ALBUM ＋または－をくり返し押す。

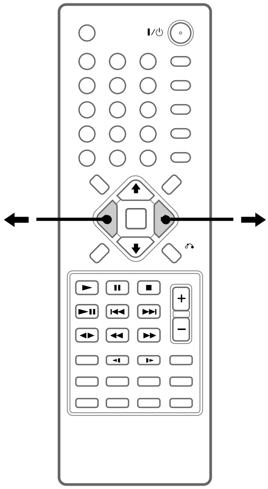
ちょっと一言

スライドショーは順方向のみ可能です。

静止画を回転させる

JPEG

静止画を回転して向きを変えられます。



➡ 静止画再生中、⬅または➡をくり返し押す

➡を押すたびに静止画が右回りに90度回転します。

⬅を押すたびに静止画が左回りに90度回転します。

ご注意

次の場合、静止画を回転させることはできません。

ースライドショーの表示中

ーコントロールメニュー画面の表示中

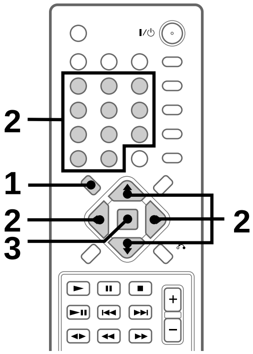
ー設定画面の表示中

DVDのメニューを使う DVD

DVDには、DVD独自のメニューが記録されているものがあります。テレビ画面に表示されるメニューを使って再生できます。

DVDトップメニューを使う

複数のタイトル（映像や曲）が記録されているDVDを再生するときは、好きなタイトルを選べます。



1 DVD**トップメニューを押す**
メニューが表示されます。
メニューの内容はディスクによって異なります。

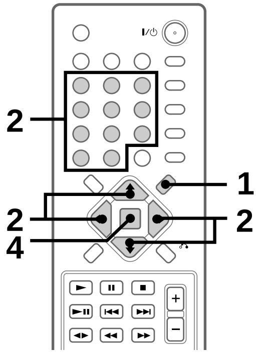
2 再生したいタイトルを↑/↓/←/→または数字ボタンで選ぶ

3 決定を押す
選んだタイトルの再生が始まります。

ご注意
DVD再生中にメニューを表示したままで1時間経つと、自動的に電源が切れます。

DVDメニューを使う

ディスクの内容をメニューで選択できるDVDを再生するときは、再生したい項目や字幕の言語、音声の言語などをDVDメニューで選べます。



1 DVD**メニューを押す**
DVDメニューが表示されます。DVDメニューはDVDにより異なります。

2 選びたい項目を↑/↓/←/→または数字ボタンで選ぶ

3 別の項目に変更したいときは、手順2をくり返す

4 決定を押す

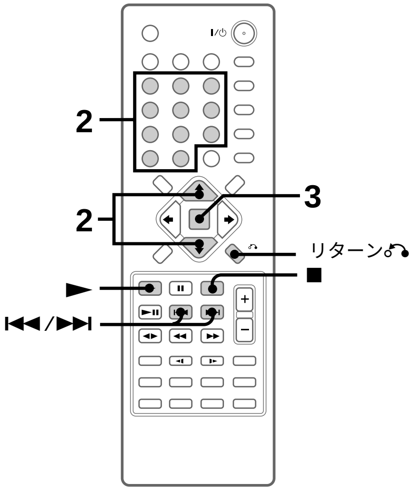
ご注意
DVD再生中にDVDメニューを表示したままで1時間経つと、自動的に電源が切れます。

プレイバックコントロール機能を使う

（PBC再生） VIDEO CD ***（バージョン2.0）***

PBC*機能を使って、対話型の操作や検索などができます。
PBC再生とは、テレビ画面に表示されるメニューを使って再生することです。

＊ PBCはPlayback Controlの略です。



1 PBC対応ビデオCDを再生する

選択用のメニュー画面が表示されます。

2 メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を↑/↓または数字ボタンで選ぶ

3 決定を押す

4 テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する

操作の方法はディスクによって異なることがありますので、ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

選択用のメニュー画面に戻る

リターン↶を押す。

ちょっと一言

PBC機能を使わないで再生することもできます。

1 停止中に⏮/⏭または数字ボタンを押して再生したいトラックを選ぶ。
2 DVDの►または決定を押す。
画面上に「PBCを切って再生します」が表示され、ふつうの再生（トラック番号順に再生）が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。
PBC再生に戻すには、■を押して再生を止めたあと、もう一度■を押してからDVDの►を押して再生を始めます。

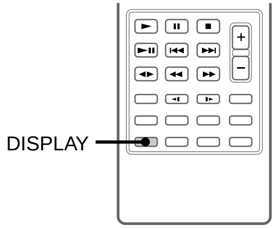
ご注意

ディスクによっては手順3で決定を押すことを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは、DVDの►を押してください。

表示窓の使いかた

DVD CD VIDEO CD MP3 JPEG

ディスク全体または1つのタイトルやチャプター、トラック（曲）の残り時間を調べたり、ディスク名やトラック名を調べたりできます。



残り時間や名前を調べる

➡ **再生中に、DISPLAY（ディスプレイ）を押す**

押すたびに次のように変わります。

DVD再生中

→ 再生中のタイトル番号と経過時間
↓
再生中のタイトル番号と残り時間
↓
再生中のチャプター番号と経過時間
↓
再生中のチャプター番号と残り時間
↓
タイトル名*1

CDまたはビデオCD（PBC再生中以外）再生中

→ 再生中のトラック番号と経過時間
↓
再生中のトラック番号と残り時間
↓
ディスク全体の経過時間*2
↓
ディスク全体の残り時間*2
↓
トラック名*1

ビデオCDのPBC再生中

再生中のトラック番号と経過時間*3

MP3再生中

→ 再生中のトラック番号と経過時間
↓
再生中のトラック番号と残り時間
↓
トラック名*1
↓
アルバム名*1

ご注意

- ID3タグはバージョン1にのみ対応しています。
- 再生中のMP3ファイルにID3タグが記録されている場合は、トラック（ファイル）名の代わりにID3タグ情報が表示されます。
- ID3タグの文字コードはASCIIおよびISO9660に準拠しています。JolietフォーマットのディスクはASCIIでのみ表示されます。上記に対応していない文字は正しく表示されません。
- MP3のビットレートがVBR（VariableBit Rate）の場合は、MP3の経過時間と残り時間が正確に表示されないことがあります。

JPEG再生中

→ ファイル番号
↓
ファイル名*1
↓
アルバム名*1

*1 表示できる文字はアルファベットと数字のみです。また、DVD/CDテキストが付いていないディスクの場合は、表示されません。
*2 シャッフル再生中やプログラム再生中は表示されません。
*3 静止画像のときは表示されない場合があります。

総再生時間や名前を調べる

➡ **停止中に、DISPLAY（ディスプレイ）を押す**

押すたびに次のように変わります。

DVDまたはビデオCD、CD、MP3、JPEGでふつうの再生モードのとき

→ ディスク全体の総再生時間*1
↓
ディスク名*2*3

ビデオCDまたはCD、MP3でプログラム再生モードのとき

→ 最後にプログラムしたトラック番号
↓
ディスク名*2*4

*1 DVDのときは総タイトル数が表示されます。MP3またはJPEGでふつうの再生モードまたはシャッフル再生モードのときはディスクの総アルバム数が、アルバム再生モードまたはアルバムシャッフル再生モードのときはアルバムの総トラック数（JPEGでは総ファイル数）が表示されます。
*2 表示できる文字はアルファベットと数字のみです。また、DVD/CDテキストが付いていないディスクの場合は、表示されません。
*3 MP3またはJPEGのときはボリュームラベルまたはアルバム名が表示されます。再生モードによっては表示されない場合があります。
*4 MP3のときはボリュームラベルが表示されます。

ちょっと一言

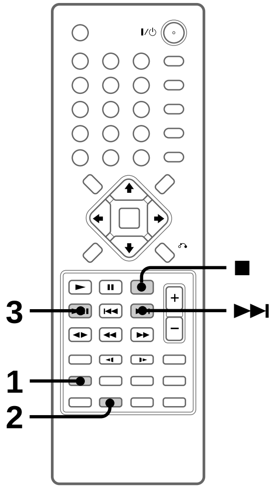
テレビのメニュー画面でディスク全体の経過時間を見ることができます。詳しくは、121ページをご覧ください。

ご注意

- DVDによってはチャプター番号や時間が表示されない場合や、表示を変えられない場合があります。
- ディスクによっては、DVD/CDテキストの情報が全て表示されない場合があります。

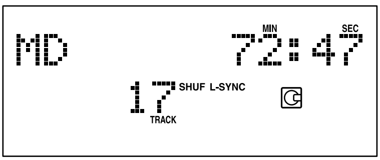
順不同に再生する
(シャッフル再生)

本機が自動的に曲順を選んで、ひと通り再生します。再生する順番は、シャッフル再生をするたびに変わります。



1 ファンクション FUNCTION**をくり返し押して、ファンクションを**MD**に切り換える**

2 **停止中に**プレイ PLAY モード MODE**をくり返し押して、「**シャッフル SHUF**」を表示させる**



3 MD**►II を押す**

シャッフル再生が始まります。

ふつうの再生に戻す

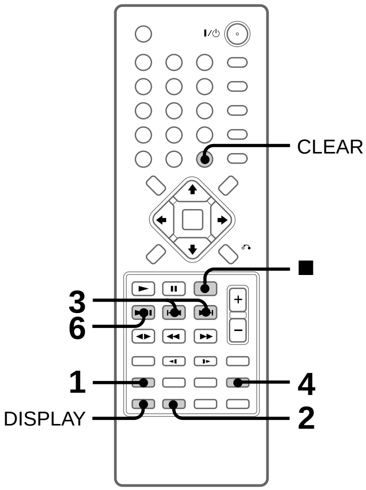
■を押して再生を止めてから、PLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」や「PGM」を消す。

ちょっと一言

再生したくない曲をとばすときは、▶▶Iを押します。

好きな順に再生する
（プログラム再生）

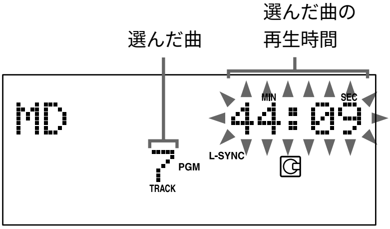
最大25曲まで選んでプログラムできます。



1 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

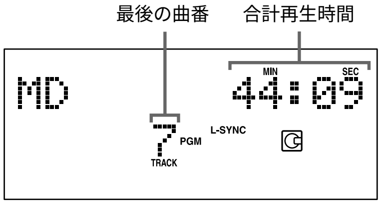
2 停止中にPLAY MODE（プレイ モード）をくり返し押して、「PGM（プログラム）」を表示させる

3 ⏮または⏭をくり返し押して、プログラムしたい曲を選ぶ



4 ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

選んだ曲がプログラムされます。
何曲目にプログラムされたか（STEP数）が表示されたあと、最後にプログラムした曲番とプログラムした曲の合計再生時間が表示されます。
間違えてプログラムしたときは、CLEARを押すと最後にプログラムした曲を消すことができます。



5 手順3と4をくり返す

6 MD►IIを押す

プログラムした順に再生が始まります。

その他の操作

こんなときは	操作
ふつうの再生に戻す	■を押して再生を止めてから、PLAY MODEをくり返し押して、「PGM」や「SHUF」を消す。
プログラムした曲の総数を調べる	停止中にDISPLAYボタンを押す。 プログラムした曲の合計数（STEP数）が表示されます。
プログラムした順番を確認する	MD►IIを押して再生を始め、再生中に⏮または⏭を押す。
プログラムの最後に曲を追加する	停止中に手順3と4を行う。
プログラムを消す	停止中にCLEARを押す。 押すたびに最後にプログラムした曲が消えます。

次のページへ続く

数字ボタンを使って曲番を選ぶ

手順3と4のかわりに数字ボタンを押す。
10以降を選ぶには、>10を押してから曲番を押します。0を選ぶには、10/0を押します。

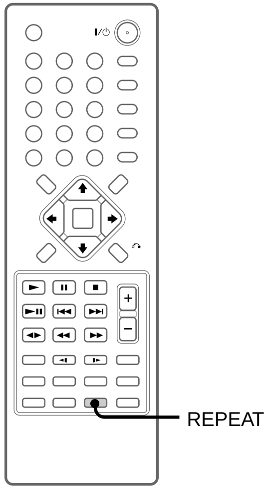
ちょっと一言

- プログラム再生が終わっても、プログラムは残っています。MD►IIを押すと、同じプログラムを聞けます。ただし、MDを取り出したり、グループ機能のOn/Offを切り換えたりすると、プログラムは消えます。
- 26曲（STEP）以上プログラムしようとしたときは「Step Full!」が表示されます。
- MDの合計再生時間が、1,000分を超えたときは、「－－－:－－」と表示されます。
- 本体のMULTI JOGを上下に回しても、プログラムしたい曲を選べます。

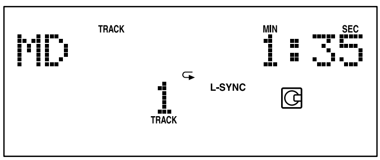
くり返し再生する

（リピート再生）

全曲または1曲をくり返し再生します。
シャッフル再生やプログラム再生をくり返すこともできます。



➡ **再生中にREPEAT（リピート）を押して、「」または「 1」を表示させる**



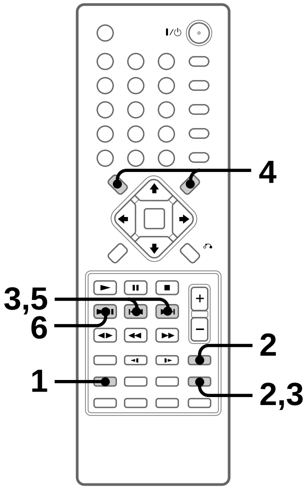
：再生中のMDの全曲を5回くり返します。
1：再生中の1曲だけをくり返します。

リピート再生をやめる

REPEATを押して、「」または「 1」を消す。

グループ内の曲を再生する

グループに登録したお気に入りの曲だけを聞くことができます。
グループ機能について詳しくは、61ページをご覧ください。



1 **FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MD停止中にMODE（モード）をくり返し押して、「GROUP?（グループ）」を表示させ、ENTER/YES（エンター／イエス）を押す**

3 **I◀◀ または▶▶Iを押して、「GROUP ON（グループ　オン）」を表示させ、ENTER/YES（エンター／イエス）を押す**

4 **GROUP（グループ） ＋または－をくり返し押して、聞きたい曲があるグループを選ぶ**

5 **グループ内の途中の曲から聞きたいときは、I◀◀ または▶▶Iをくり返し押して曲を選ぶ**

グループ内の1曲目から再生を始めるときは、手順6に進んでください。

6 **MD▶IIを押す**

再生が始まります。
グループ内の最後の曲の再生が終わると、MDは自動的に停止します。

ちょっと一言

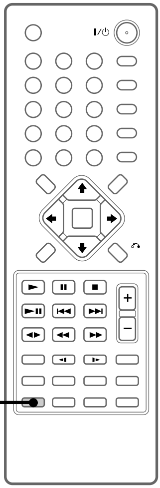
- 54〜56ページの操作についても、グループ内の曲に限って同様にできます。
- 本体のMULTI JOGを上下に回しても、聞きたい曲があるグループを選べます。

ご注意

- 曲を登録していないグループを選んでMD▶IIを押すと、MD内の最初のグループの1曲目から再生が始まります。
- 手順4でグループを選ばずにMD▶IIを押すと、MD内の最初のグループの1曲目（シャッフル再生のときは最初のグループ内の曲を本機が自動的に選択）から再生が始まります。

表示窓の使いかた

MDの総曲数や総演奏時間、1曲またはMD全体の残り時間を調べたり、MDのディスク名、曲名、グループ名を調べたりできます。



➡ 再生中または停止中に、DISPLAY（ディスプレイ）を押す

押すたびに次のように変わります。

再生中

→ 再生中の曲番と再生経過時間*1
↓
再生中の曲番と曲の残り時間*1
↓
MD全体の残り時間*2
↓
曲名*3

停止中

→ 総曲数と総再生時間*4
↓
MDの録音可能な残り時間
（録音用MDのときのみ）
↓
ディスク名*5

*1 グループ機能が働いているときは、グループ番号が表示されます。

*2 グループ機能が働いているときは、グループ内の全曲の残り時間が表示されます。

*3 曲名が付いていないときは、表示されません。

*4 グループ機能が働いているときは、総グループ数（グループ未選択時）またはグループ番号と、グループ内の総曲数および総再生時間（グループ選択時）が表示されます。MDの合計再生時間が1,000分を超えたときは、「−−−:−−」と表示されます。

*5 ディスク名が付いていないときは、表示されません。グループ機能が働いていて、グループが選択されているときは、グループ名が表示されます。

ちょっと一言

ディスク名、曲名を付けるには、「MDにディスク名や曲名を付ける」（79ページ）、グループ名を付けるには、「グループ名を付ける」（82ページ）をご覧ください。

録音の前にお読みください

MD（ミニディスク）は、音質劣化の少ない「デジタル方式」で録音、再生を行います。また、CDにあるような曲番（トラック番号）を付けることで、すばやい曲の頭出しや、録音した曲の編集を実現しています。
本機では音源によって、次のように録音を行い、曲番を付けます。

本機に入れたCDから録音するとき

- デジタル録音をします。*1
- 曲番は自動的にCDと同じように付きます。ただし、曲によっては付かないことがあります（149ページ）。

本機に入れたDVDやビデオCD、MP3から録音するとき

- アナログ録音をします。
- 曲番は録音開始点にしか付きませんが、レベルシンクロ録音（74ページ）で「T.Mark LSync」にすると、録音レベルを検出して自動的に付きます。

本機のラジオや、AUX IN入力端子につないだ別売りの機器から録音するとき

- アナログ録音をします。*2
- 曲番は録音開始点にしか付きませんが、レベルシンクロ録音（74ページ）で「T.Mark LSync」にすると、録音レベルを検出して自動的に付きます。

MDの曲番について（TOC）

MDでは、曲番（曲順）や曲の開始／終了点などの情報を「TOC*3」と呼ばれる領域で、音楽とは別に管理しています。「TOC」の情報を書き換えるだけで曲の編集がすばやくできます。

*1 デジタル録音には制約があります（149ページ）。

*2 デジタル機器をつないでいても、アナログ録音されます。

*3 Table of Contents（テーブル オブ コンテンツ）の略（目次の意味）。

録音をした後は

➡ **⏏MDを押してMDを取り出す、またはI/⏻（電源）を押して電源を切る**

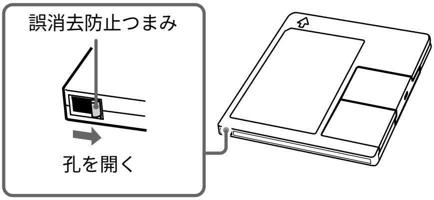
「TOC」または「TOC Writing」が点滅し始め、録音の情報がMDへ書き込まれ、録音が完了します。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

MDの録音内容を消したくないときは

- 誤消去防止つまみをずらして孔を開きます。再び録音するときは、つまみを元の位置に戻します。



- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。誤消去防止つまみを元の位置に戻して、孔をふさいでください。

次のページへ続く

シンクロ録音について

シンクロ録音と長時間録音を組み合わせて使うこともできます。
組み合わせて録音したときは、以下のようになります。

録音モード	CD-MD SYNC	
	NORMAL	HIGH
ステレオ	• 録音を中断した曲は：そのまま記録されます。 • S.F EDIT機能：使えます。 • 録音中のスピーカー、PHONES出力：音源の音声が出ます。	• 4倍速で録音します。 • 録音を中断した曲は：記録されません。 • S.F EDIT機能：使えます。 • 録音中のスピーカー、PHONES出力：音は出ません。
LP2／LP4	• 録音を中断した曲は：そのまま記録されます。 • S.F EDIT機能：使えません。 • 録音中のスピーカー、PHONES出力：音源の音声が出ます。	• 4倍速で録音します。 • 録音を中断した曲は：記録されません。 • S.F EDIT機能：使えません。 • 録音中のスピーカー、PHONES出力：音は出ません。
MONO	• 録音を中断した曲は：そのまま記録されます。 • S.F EDIT機能：使えます。 • 録音中のスピーカー、PHONES出力：音源の音声が出ます。	• 4倍速で録音します。 • 録音を中断した曲は：記録されません。 • S.F EDIT機能：使えます。 • 録音中のスピーカー、PHONES出力：音は出ません。

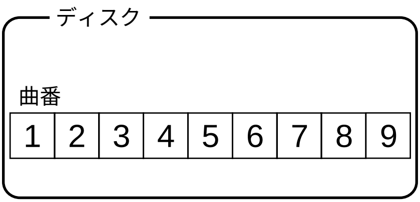
曲をグループに分けて録音する（グループ機能）

グループ機能とは？

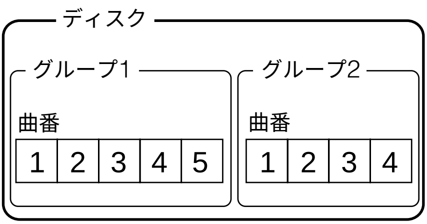
1枚のMDの中の曲をグループに分けて再生、録音、編集できる機能です。何枚かのCDアルバムをMDLP録音して、1枚のMDで管理するときなどに便利です。
次のようにグループ機能のOn/Offを切り換えます。

1 MODEをくり返し押して、「GROUP?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
2 MULTI JOGを上下に回して、「GROUP ON」または「GROUP OFF」を表示させ、ENTER/YESを押す。

グループ機能Off（オフ）時



グループ機能On（オン）時



グループ機能を使った操作

- グループ内の曲を再生する（57ページ）。
- グループ名を付ける（82ページ）。
- 新しいグループを作って録音した曲を登録する（83ページ）。
- グループ登録を解除する（85ページ）。

ご注意
本機のグループ機能を使って録音したMDは、他のグループ機能対応機器でもお使いいただけます。ただし、機器によってはグループ機能の動作が本機とは異なる場合があります。

グループ情報はどのように記録されているの？

グループ機能を使って録音すると、グループ管理情報は、「ディスク名」として自動的にMDに記録されます。具体的には以下のような文字列がディスク名の記録領域に書き込まれています。

ディスク名の記録領域

0 ; Favorites // 1 – 5 ; Rock // 6 – 9 ; Pops // ...
①　②　③

① ディスク名を「Favorites」にする。
② 1曲目から5曲目を「Rock」という名のグループに入れる。
③ 6曲目から9曲目を「Pops」という名のグループに入れる。

そのため、グループ機能を使って録音したMDを、グループ機能未対応機器や、グループ機能を働かせていないときの本機で読み込むと、上の文字列がそのまま「ディスク名」として表示されます。

次のページへ続く

曲をグループに分けて録音する（つづき）

もしNAME機能を使ってこの文字列を誤って書き換えてしまうと、そのMDではグループ機能が使えなくなる*場合がありますのでご注意ください。

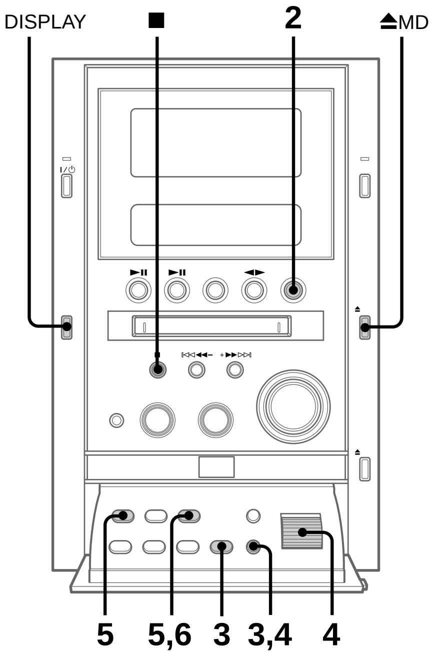
* 「GROUP」が点滅します。再びグループ機能を使うには、「すべてのグループを一度に解除する」（86ページ）を行って、すべてのグループ登録を解除してください。

ご注意

- グループ機能の設定は、MDを取り出したり、本機の電源を切ったりしても記憶されています。
- グループ機能が働いているときは、グループに登録されていない曲は表示、再生できません。
- グループの順番を変えることはできません。
- グループ管理情報が正しいフォーマットで記述されていないMDを挿入すると、「GROUP」が点滅します。この場合、グループ機能を使うことはできません。

新しいグループを作って録音する

CDアルバム別やアーティスト別など、好みにあわせてグループを作ることができます。



1 録音用のMDを入れる

2 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、「DVD」など録音したい音源を表示させる

- DVD：本機のディスクの音を録音する
- TAPE：本機のテープの音を録音する
- FMまたはAM：本機のラジオの音を録音する
- AUX（VIDEOまたはTV）：別売りの機器の音を録音する

3 MODE（モード）をくり返し押して、「GROUP?（グループ）」を表示させ、ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

4 MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）を上下に回して、「GROUP（グループ） ON（オン）」を表示させ、ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

5 REC（レコーディング） SEL（セレクト）をくり返し押して、「REC（レコーディング） MD」を表示させ、REC（レコーディング） START（スタート）/REC（レコーディング） PAUSE（ポーズ）を押す

「New Group」が点滅し、MDが録音一時停止になります。

6 REC（レコーディング） START（スタート）/REC（レコーディング） PAUSE（ポーズ）を押してから録音したい音源の再生を始める

続けて別の新しいグループを作って録音するときは、録音後にファンクションをMDに切り換えてから■をくり返し押して、総グループ数を表示させたあと、手順2〜6を行ってください。
本機のCDから録音するときは、曲番が自動的に付きます。録音中にENTER/YESを押すと、押したところに曲番が付きます（**トラックマーク機能**）。
ラジオからの録音中に自動で曲番を付けたいときは「曲番を付ける」（74ページ）をご覧ください。

手順5でREC START/REC PAUSEを押したときに「Group Full!」と表示されるときは

グループ管理に必要な文字数が不足しているため、録音ができません。
不要な文字（ディスク名または曲名）を消す（81ページ）ことによって、グループに録音できるようになります。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ちょっと一言

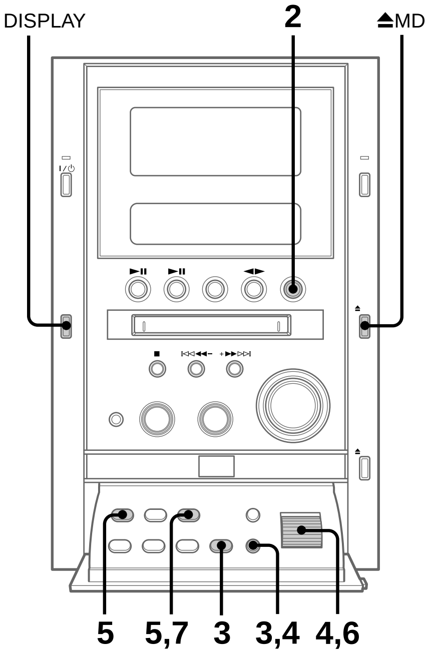
録音中にDISPLAYを押すと、MDの残り時間を見ることができます。

ご注意

- すでに曲が記録されている別のグループがある場合、新しいグループはその後ろに追加されます。
- 1枚のMDの中には99グループまで登録できます。
- 録音中に「Group Full!」と表示されたときは、曲番は付きません。
- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください（59ページ）。

既存のグループの中に録音する

既存のグループに、曲を追加することができます。



1　録音用のMDを入れる

2　FUNCTIONをくり返し押して、「DVD」など録音したい音源を表示させる

- DVD：本機のディスクの音を録音する
- TAPE：本機のテープの音を録音する
- FMまたはAM：本機のラジオの音を録音する
- AUX（VIDEOまたはTV）：別売りの機器の音を録音する

次のページへ続く

3 **MODEをくり返し押して、「GROUP?」を表示させ、ENTER/YESを押す**

4 **MULTI JOGを上下に回して、「GROUP ON」を表示させ、ENTER/YESを押す**

5 **REC SELをくり返し押して「REC MD」を表示させ、REC START/REC PAUSEを押す**

「New Group」が点滅し、MDが録音一時停止になります。

6 **MULTI JOGを上下に回して、曲を録音したいグループを選ぶ**

7 **REC START/REC PAUSEを押してから録音したい音源の再生を始める**

本機のCDから録音するときは、曲番が自動的に付きます。録音中にENTER/YESを押すと、押したところに曲番が付きます（**トラックマーク機能**）。
ラジオからの録音中に自動で曲番を付けたいときは「曲番を付ける」（74ページ）をご覧ください。

手順5でREC START/REC PAUSEを押したときに「Group Full!」と表示されるときは

グループ管理に必要な文字数が不足しているため、録音ができません。
不要な文字（ディスク名または曲名）を消す（81ページ）ことによって、グループに録音できるようになります。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ちょっと一言

- リモコンのGROUP ＋または－をくり返し押しても、曲を録音したいグループを選ぶことができます。
- 録音中にDISPLAYを押すと、MDの残り時間を見ることができます。

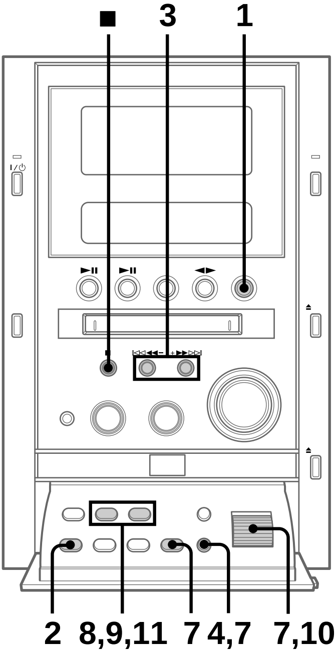
ご注意

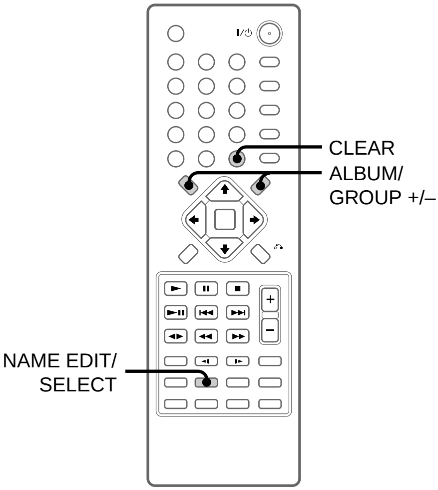
- 録音した曲は、グループ内の最後の曲の後ろに追加されます。
- 既存のグループに曲を追加録音すると、グループ機能を解除したときに、追加録音した曲以降の曲番が変わることがあります。
- 録音中に「Group Full!」と表示されたときは、曲番は付きません。
- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください（59ページ）。

ディスクの好きなトラックだけを録音する（CD-MDシンクロ録音）

CD　VIDEO CD　MP3

ディスクのプログラム再生機能で好きな曲を選んでから、ディスクとのシンクロ録音機能を使って選んだ曲を録音します。
途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。





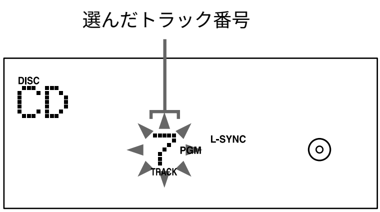
好きな曲を選ぶ

1 **FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをDVDに切り換える**

2 **停止中にPLAY MODE（プレイ モード）をくり返し押して、「PGM（プログラム）」を表示させる**

3 **⏮または⏭をくり返し押して、録音したいトラックを選ぶ**

MP3を録音するときは、リモコンのALBUM ＋または－をくり返し押してアルバムを選んだあと、⏮または⏭をくり返し押してトラックを選びます。

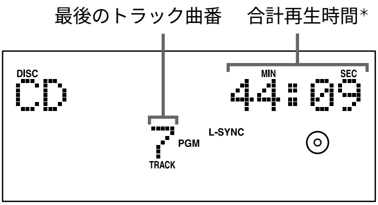


次のページへ続く

MD－録音

4 ENTER/YESを押す

トラックが選んだ順にプログラムされます。
何トラック目にプログラムされたか（STEP数）が表示されたあと、最後にプログラムしたトラック番号とプログラムの合計再生時間が表示されます。
間違えてプログラムしたときは、リモコンのCLEARを押すと、押すたびに最後にプログラムしたトラックを消すことができます。



＊ MP3のときは、「−−:−−」と表示されます。

5 手順3と4をくり返す

録音したいトラックを選んだら、続けてMDに録音します。

MDに録音する

6 録音用のMDを入れる

7 グループ機能を切り換える

グループ機能を使ってシンクロ録音するには

1 MODEをくり返し押して、「GROUP?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
2 MULTI JOGを上下に回して、「GROUP ON」を表示させ、ENTER/YESを押す。

グループ機能を使わないでシンクロ録音するには

手順8に進む。

8 CD SYNC REC SELをくり返し押して、「CD▶MD x1」を表示させる

9 REC START/REC PAUSEを押す

「Sync REC」が表示されたあと、「Press START」と「MD REC」が点滅します。
MDが録音一時停止に、ディスクは再生一時停止になります。

10 グループ機能を使ってシンクロ録音するときは、録音先（新しいグループまたは既存のグループ）によって、以下のように操作する

新しいグループを作ってシンクロ録音するには

手順11に進む。

既存のグループの中にシンクロ録音するには

MULTI JOGを上下に回して、曲を録音したいグループを選ぶ。
グループ機能を使わないでシンクロ録音するときは、手順11に進んでください。

11 「Press START」が点滅しているのを確認してからREC START/REC PAUSEを押す

録音が始まります。
選んだ曲すべての録音が終わると、ディスク、MDとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

録音途中でMDが終わってしまったときは

ディスク、MDとも自動的に停止します。

同時にテープにも録音するには

録音用のテープを入れ、「MDに録音する」(66ページ)の手順8で「CD▶MD/TAPE」を表示させます。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中(「TOC」または「TOC Writing」が点滅)は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ちょっと一言

- MULTI JOGを上下に回しても、録音したいトラックを選べます。
- リモコンのGROUP ＋または－をくり返し押しても、録音先のグループを選べます。

ご注意

- **CDはデジタル録音に、ビデオCDやMP3はアナログ録音になります。**
- 録音済みの曲を消しながら録音することはできません。録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは、「曲を消す」(86ページ)をご覧ください。
- ディスクの全曲を録音するときは、ディスクの再生時間よりも残り時間が長い録音用MDを使用してください。
- 録音を一時停止することはできません。
- 再生モードがリピートやシャッフルになっているときは、手順8で自動的にふつうの再生に切り換わります。
- CDからMDへのシンクロ録音中は、以下の機能が働きません。
  －レベルシンクロ録音機能
  －トラックマーク機能
  －オートカット機能
- 次のようなディスクを使用すると、読み取りエラーが起こり、ノイズなどが混入して正しく録音されない場合があります。
  －シールなどが貼られている
  －円形以外の形をしている(ハート形など)
  －レーベルの印刷が一方向にかたよっている
  －傷がついている
  －汚れている
  －反っている
- 本機の状態が次のようなときも、読み取りエラーが起こって正しく録音されない場合があります。
  －ディスクトレイや本体を叩いた
  －水平でないところや、柔らかいものの上に設置されている
  －スピーカーやドアなど、振動源の近くに設置されている
- 上記の読み取りエラーが起こったときに、無音の曲が余分に作られることがあります。余分に作られた曲は、MD編集のERASE機能(86ページ)を使って消すことができます。
- ビデオCDの場合、PBC再生は自動的に解除されます。
- 「C11」と「Protected」が交互に表示されるか、または「No Disc」が表示されたら、ディスクが入っていないか、またはそのMDには録音できません(163、167ページ)。

録音中に曲名を付ける

ディスクにCDテキストが付いているときは、次の方法でCDテキストの情報がMDに記録できます。

- **録音中に自動的に記録する**
  すべての曲名が自動的に記録されます。
- **録音中に記録する**
  リモコンのNAME EDIT/SELECTを押したあとENTER/YESを押すと、録音している曲の曲名が記録できます。

ご注意

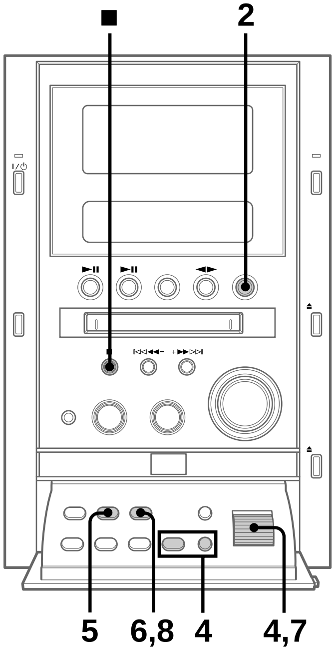
- CDテキストの情報は、ディスクによっては自動的に記録できないことがあります。
- 録音中に曲名を付ける場合、名前を付けている途中でその曲の録音が終わると、途中まで付けた名前は記録されません。
- MDとテープに同時に録音する場合、CDテキストの情報はMDに記録されません。

CDを高速で録音する

（高速CD-MDシンクロ録音）

CD

CDをそのまま録音するときに、通常よりも高速（約4倍）で録音することができます。



1 録音用のMDを入れる

2 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをDVDに切り換える

3 CDを入れる

4 グループ機能を切り換える

グループ機能を使ってシンクロ録音するには

1 MODEをくり返し押して、「GROUP?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
2 MULTI JOGを上下に回して、「GROUP ON」を表示させ、ENTER/YESを押す。

グループ機能を使わないでシンクロ録音するには

手順5に進む。

5 CD SYNC REC SEL（シンクロ レコーディング セレクト）をくり返し押して、「CD▶MD x4」を表示させる

6 REC START/REC PAUSE（レコーディング スタート レコーディング ポーズ）を押す

「Sync REC」が表示されたあと、「Press START」と「MD REC」が点滅します。
MDが録音一時停止に、CDは再生一時停止になります。

7 グループ機能を使ってシンクロ録音するときは、録音先（新しいグループまたは既存のグループ）によって、以下のように操作する

新しいグループを作ってシンクロ録音するには

手順8に進む。

既存のグループの中にシンクロ録音するには

MULTI JOGを上下に回して、曲を録音したいグループを選ぶ。
グループ機能を使わないでシンクロ録音するときは、手順8に進んでください。

8 「Press START」が点滅しているのを確認してからREC START/REC PAUSEを押す

録音が始まります。
録音中は、録音されている音を聞くことはできません。録音が終わると、CD、MDとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

曲の途中で録音を止めたり、録音途中でMDが終わってしまったときは

途中まで録音された曲はMDに記録されません。もう一度録音し直してください。

手順6でREC START/REC PAUSEを押したあとで「Retry」と表示されたときは

CDの読み取りエラーが起こり、本機はCDのデータを再度読み取っています。

- 読み取りに成功すると、高速シンクロ録音のままで録音を続けます。
- CDや本機の状態が悪く、再読み込みができないときは、高速シンクロ録音ができなくなります。この場合は、「Retry」が点滅し、自動的に通常速度のシンクロ録音に切り換わります。なお、このとき、録音されている音を聞くことはできません。

高速CD-MDシンクロ録音の制限事項について

CDの同じ曲を、続けて高速シンクロ録音することはできません（HCMS：ハイスピードコピーマネージメントシステム、150ページ）。このとき、「Retry [HCMS]」が点滅し、自動的に通常速度のシンクロ録音に切り換わります。
ただし、録音を始めた時点から74分が経過すると、再び高速録音が可能になります。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ちょっと一言

リモコンのGROUP ＋または－をくり返し押しても、録音先のグループを選べます。

ご注意

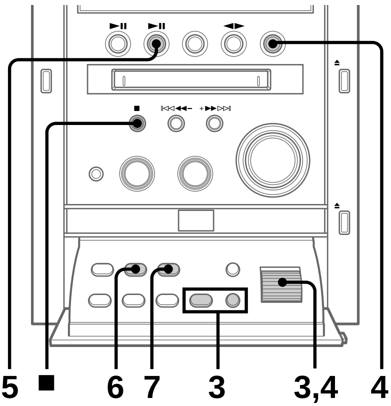
- 次の場合、自動的に通常速度のシンクロ録音に切り換わります。なお、このとき、録音されている音を聞くことはできません。
  – ビデオCDやMP3のディスクのとき
  – 再生モードがプログラムになっているとき
- 録音済みの曲を消しながら録音することはできません。録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは、「曲を消す」（86ページ）をご覧ください。
- CDの全曲を録音するときは、CDの再生時間よりも残り時間が長い録音用MDを使用してください。
- 録音を一時停止することはできません。
- 再生モードがリピートやシャッフルになっているときは、手順5で自動的にふつうの再生に切り換わります。
- CD-MDシンクロ録音中は、オートカット機能が働きません。
- 次のようなCDを使用すると、読み取りエラーが起こり、ノイズなどが混入して正しく録音されない場合があります。
  －シールなどが貼られている
  －円形以外の形をしている（ハート形など）
  －レーベルの印刷が一方向にかたよっている
  －傷がついている
  －汚れている
  －反っている
- 本機の状態が次のようなときも、読み取りエラーが起こって正しく録音されない場合があります。
  －ディスクトレイや本体を叩いた
  －水平でないところや、柔らかいものの上に設置されている
  －スピーカーやドアなど、振動源の近くに設置されている
- 上記の読み取りエラーが起こったときに、無音の曲が余分に作られることがあります。余分に作られた曲は、MD編集のERASE機能（86ページ）を使って消すことができます。
- 「C11」と「Protected」が交互に表示されるか、または「No Disc」が表示されたら、ディスクが入っていないか、またはそのMDには録音できません（163、167ページ）。

再生中のトラックを録音する

（1トラックシンクロ録音）

DVD　CD　VIDEO CD　MP3

DVDやCDを聞きながら、気に入ったタイトル／チャプターまたはトラックをその場でMDに録音できます。
途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。
DVDによっては録音できない場合があります。



1　録音用のMDを入れる

2　ディスクを入れる

3　グループ機能を切り換える

グループ機能を使ってシンクロ録音するには

1 MODEをくり返し押して、「GROUP?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
2 MULTI JOGを上下に回して、「GROUP ON」を表示させ、ENTER/YESを押す。

グループ機能を使わないでシンクロ録音するには

手順5に進む。

4　グループ機能を使ってシンクロ録音するときは、録音先（新しいグループまたは既存のグループ）によって、以下のように操作する

新しいグループを作ってシンクロ録音するには

手順5に進む。

既存のグループの中にシンクロ録音するには

1 FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える。
2 MULTI JOGを上下に回して、曲を録音したいグループを選ぶ。

グループ機能を使わないでシンクロ録音するときは、手順5に進んでください。

5　DVD►❚❚を押す

ディスクの再生が始まります。

6　録音したいチャプターまたはトラックを聞きながら、CD SYNC（シンクロ）REC SEL（レコーディング セレクト）をくり返し押して、「CD►MD x1」を表示させる

7　REC START/REC PAUSE（レコーディング スタート レコーディング ポーズ）を押す

DVDの場合、現在再生中のチャプター（チャプターがない場合はタイトル）、CDまたはビデオCD、MP3の場合は現在再生中のトラックの頭に戻り、録音が始まります。
DVDの場合はタイトル、CDまたはビデオCD、MP3の場合は録音中のトラックが終了すると、MDは自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

同時にテープにも録音するには

録音用のテープを入れ、手順6で「CD►MD/TAPE」を表示させます。

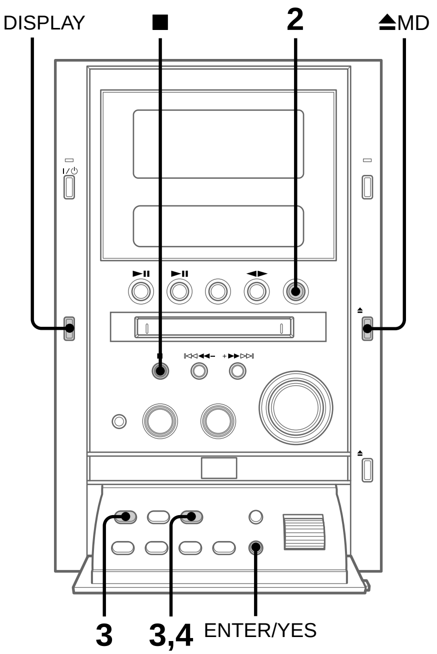
電源コンセントを抜く前に
MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ちょっと一言
録音後にグループを選ばずにもう一度録音を開始すると、最後に録音したグループに録音されます。続けて別の新しいグループを作って録音するときは、録音後にファンクションをMDに切り換えてから■をくり返し押して、総グループ数を表示させたあと、手順5～7を行ってください。

ご注意
- **CDはデジタル録音に、DVDやビデオCD、MP3はアナログ録音になります。**
- DVDによっては、チャプター（またはタイトル）の頭に戻らないことがあります。その場合は警告表示が出ます。
- ビデオCDのPBC再生中は、1トラックシンクロ録音できないことがあります。
- レベルシンクロ録音機能やオートカット機能が働いているとき、チャプターやトラックの途中に曲番が付くことがあります。
- CDの場合、1トラックシンクロ録音中は、次の機能が働きません。
  －レベルシンクロ録音機能
  －トラックマーク機能
  －オートカット機能
- 「C11」と「Protected」が交互に表示されるか、または「No Disc」が表示されたら、ディスクが入っていないか、またはそのMDには録音できません（163、167ページ）。

好きなところから録音する（マニュアル録音）

DVDやCD、ビデオCD、MP3、テープ、ラジオ、またはつないでいる別売りの機器からお好みに応じて録音ができます。例えば、CDやテープの好きな部分だけを録音することができます。
途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは、「曲を消す」（86ページ）をご覧ください。



1 録音用のMDを入れる

次のページへ続く

MD－録音

2 FUNCTIONをくり返し押して、録音したい音源を表示させる

- DVD：本機のディスクの音を録音する
- TAPE：本機のテープの音を録音する
- FMまたはAM：本機のラジオの音を録音する
- AUX（VIDEOまたはTV）：別売りの機器の音を録音する

3 REC SELをくり返し押して、「REC MD」を表示させ、REC START/REC PAUSEを押す

「MD REC」が点滅し、MDが録音一時停止になります。

4 REC START/REC PAUSEを押してから録音したい音源の再生ボタンを押す（179ページ）

本機のCDから録音するときは、曲番が自動的に付きます。録音中にENTER/YESを押すと、押したところに曲番が付きます（**トラックマーク機能**）。
ラジオからの録音中に自動で曲番を付けたいときは「曲番を付ける」（74ページ）をご覧ください。

その他の操作

こんなときは	操作
録音を止める	■を押す。
録音を一時停止する	REC START/REC PAUSEを押す。 もう一度押すと録音が再開されます。

同時にテープにも録音するには

録音用のテープを入れ、手順3で「REC MD/TAPE」を表示させます。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ちょっと一言

録音中にDISPLAYを押すと、MDの残り時間を見ることができます。

ご注意

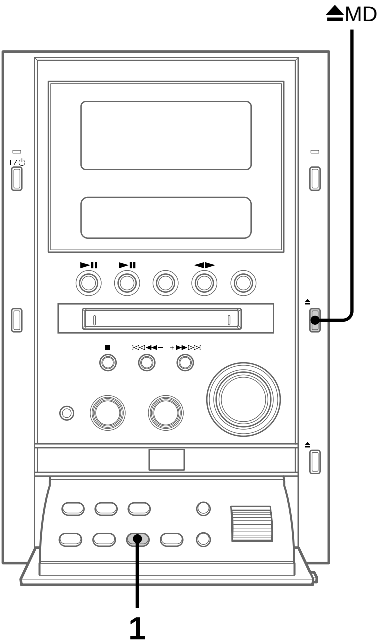
- CD**はデジタル録音に、**DVD**やビデオ**CD、MP3**はアナログ録音になります。**
- 録音するときに録音を一時停止すると、「New Track」が点滅して、そこに曲番が付きます。また、同じディスクの同じタイトルまたはトラックを続けて録音すると、曲番が1つしか付かないことがあります。
- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください（59ページ）。

長時間録音する

DVD　CD　VIDEO CD　MP3

MDLP録音した曲は、MDLP未対応機器で再生することができません。また、S.F EDITなど、使用できないMD編集機能が一部あります。

録音時間を2倍長または4倍長（60分のMDなら120分または240分）にしてステレオ録音できます（MDLP録音）。またモノラル録音では、ステレオ信号をモノラルに変換して録音します。録音時間は通常のステレオ録音の約2倍になります。
LP4モード（4倍長時間録音モード）は特殊な圧縮方式によって長時間ステレオ録音を実現しています。音質を重視される場合はSP（ステレオ録音）またはLP2ステレオ録音（2倍長時間録音）を推奨いたします。



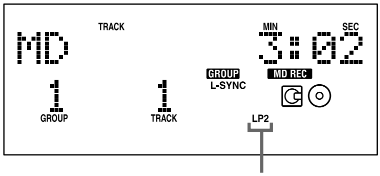
1　CD-MDシンクロ録音など、それぞれの録音を開始する前に、REC MODE（レコーディング モード）をくり返し押して、録音モードを選ぶ

押すたびに次のように変わります。

→ STEREO REC（ステレオ録音）
↓
LP2 REC（LP2ステレオ録音）
↓
LP4 REC（LP4ステレオ録音）
↓
MONO REC（モノラル録音）

2　録音を始める

選んだ録音モードで録音されます。



選ばれている録音モード
（表示なしのときはステレオ録音）

録音モードを変更する

選んだ録音モードは、録音が終了しても保持されます。録音の前には必ず録音モードを確認してください。変更する場合は、REC MODEをくり返し押して、録音モードを切り換えてください。

次のページへ続く

MD－録音

電源コンセントを抜く前に
MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ご注意
- MDLP録音したMDを再生するときは、MDLP対応機器を使ってください。MDLP未対応機器で再生することはできません。
- 録音中に録音モードを変えることはできません。
- 録音モードを「MONO」にしても、スピーカーからは音源のままの音声（ステレオ信号録音時はステレオ音声）が聞こえます。
- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください（59ページ）。
- MDLP録音したMDをMDLP未対応機器で再生しようとしたときに、「LP:」と表示して再生できないことがわかるように編集されたMDがあります。それらのMDを再生すると、本機はMDLPに対応しているため、「LP:」は表示されません。

曲番を付ける

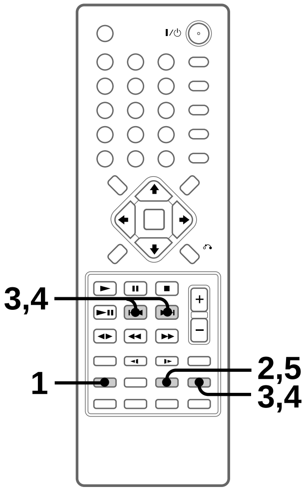
DVD　CD　VIDEO CD　MP3

曲番は次の方法で付けることができます。

- **録音中に自動的に付ける**
  本機のCDからの録音時は、音源にしたがって自動的に付きます。
  本機のDVDまたはビデオCD、MP3、ラジオおよびAUX IN入力端子につないだ機器からの音源を録音しているときは、レベルシンクロ録音を使うと、自動的に付けることができます。ただし、テープやラジオを録音するときは、雑音などにより自動的に付かないことがあります。
- **録音中に好きなところに付ける**
  マニュアル録音中、どの音源からでも付けることができます。
- **録音後に付ける**
  MD編集のDIVIDE機能（90ページ）を使います。

録音中に自動的に付ける
—レベルシンクロ録音

お買い上げ時はレベルシンクロ録音機能が働くよう設定されていますので、自動的に曲番が付きます。録音時に表示窓に「L-SYNC」と表示されないときは、以下の手順でレベルシンクロ録音機能が働くよう設定してください。曲番は、音源からの入力信号が約2秒以上続けて一定レベル以下になり、再び、そのレベルを越えたときに付きます。



1 **FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MENU/NOをくり返し押して、「Setup Menu」を表示させる**

3 **⏮またはをくり返し押して、「T.Mark Off（または T.Mark LSync）」を表示させ、ENTER/YESを押す**

4 **⏮または⏭をくり返し押して、「T.Mark LSync」を表示させ、ENTER/YESを押す**

「L-SYNC」が点灯します。

5 **MENU/NOを押す**

続けて録音するときは、それぞれの録音のページにある手順にしたがって操作します。

自動的に曲番を付けるのをやめる

手順4で「T.Mark Off」を表示させ、ENTER/YESを押す。

「L-SYNC」が消えます。「L-SYNC」が消えているときは、録音開始点にのみ曲番が付きます。

入力信号の検出レベルを変更する

レベルシンクロ録音機能が働くように設定すると、ここで設定したレベル以下の信号入力が約2秒以上続いたあとで、再び設定レベル以上の信号が入力されたときに新しい曲番が付きます。お買い上げ時は－50dBに設定されています。

テープやラジオなど、雑音が多く曲番が付きにくいときは、設定レベルを上げる（⏭を押す）と曲番が付きやすくなります。

1. 録音一時停止中にMENU/NOをくり返し押して、「Setup Menu」を表示させる。
2. ⏮または⏭をくり返し押して、「LS (T)」を表示させ、ENTER/YESを押す。
3. ⏮または⏭をくり返し押して、入力信号のレベルを－72dBから0dB（2dB単位）の範囲で選び、ENTER/YESを押す。
4. MENU/NOを押す。

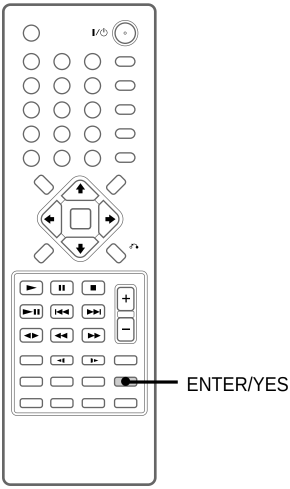
ご注意

DVDの映画やライブなどのソフトを録音しているときには、レベルシンクロ録音機能は働かない場合があります。

次のページへ続く

録音中に好きなところに付ける —トラックマーク

マニュアル録音中は、音源や接続方法にかかわらず、好きなところに曲番を付けられます。



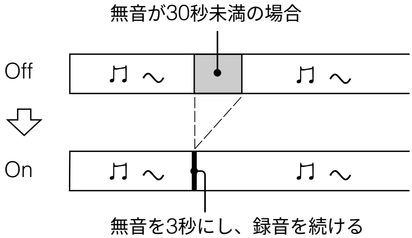
➡ **マニュアル録音中に、曲番を付けたいところでENTER/YES（エンター/イエス）を押す**

押したところに曲番が付きます。

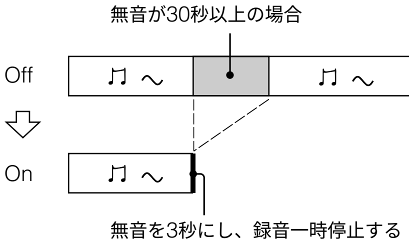
曲間をそろえて録音する（スマートスペース）

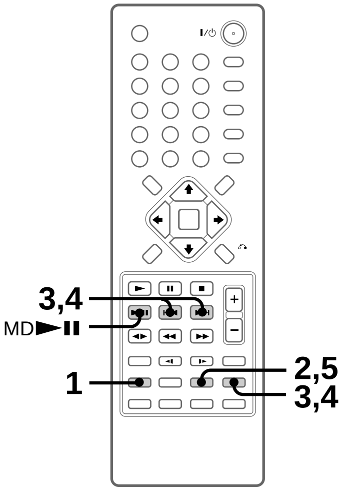
CD

CDのデジタル録音中は、自動的に曲間がそろいます。その他の録音をしているときは、スマートスペースをOnに設定すると、録音中に約3秒以上（30秒未満）の無音状態が続いたときに、無音部分を約3秒に短縮して録音します。



オートカット：スマートスペースをOnに設定すると、録音中に30秒以上の無音状態が続いたときに、無音部分を約3秒に短縮して、録音一時停止になります。





1 **FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MENU/NOをくり返し押して、「Setup Menu」を表示させる**

3 **I◄◄ または►►Iをくり返し押して、「S.Space On（または S.Space Off）」を表示させ、ENTER/YESを押す**

4 **I◄◄ または►►Iをくり返し押して、「S.Space On」を表示させ、ENTER/YESを押す**

5 **MENU/NOを押す**

続けて録音するときは、それぞれの録音のページにある手順にしたがって操作します。

録音中、約30秒未満の無音状態が続くと「Smart Space」と表示され、無音部分が約3秒に短縮され、そのまま録音を続けます。

録音中、約30秒以上の無音状態が続くと「Auto Cut」と表示され、無音部分が約3秒に短縮されたあと、録音一時停止状態になります。録音を続けたいときは、MD►IIを押します。

自動的に曲間をそろえるのをやめる

手順4で「S.Space Off」を表示させ、ENTER/YESを押す。

ちょっと一言

お買い上げ時はスマートスペースが設定されています。電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いても、最後に設定した状態（S.Space OnまたはOff）は記憶されています。

編集の前にお読みください

録音済みの1枚のMD上で、曲の移動や削除などの編集作業が行えます。編集を行うことで、MD間でのダビングをせずに、オリジナルMDアルバムの作成をお楽しみいただけます。

編集機能

- Name（ネーム） — **名前を付ける**（79、82ページ）
  ディスク名、曲名、グループ名を記録できます。
  入力できる文字はカタカナ、アルファベット（大文字、小文字）、数字、記号の一部です。
- Create（クリエイト） — **グループを作る**（83ページ）
  新しいグループを作って、録音済みの曲を登録することができます。
  曲を登録せずに、グループだけを作ることもできます。
- Release（リリース） — **グループ登録を解除する**（85ページ）
  グループ登録を簡単に解除することができます。すべてのグループの登録を一度に解除することもできます。
- Erase（イレース） — **曲を削除する**（86ページ）
  不要な曲を削除できます。
- Move（ムーブ） — **曲順を変える**（89ページ）
  曲順の入れ替えが自由にできます。
- Divide（ディバイド） — **曲番を付ける**（90ページ）
  1つの曲を2つに分ける（Divide）と、分けたところに曲番が付きます。
  この機能を使って、曲の途中—例えば好きなフレーズのはじめに曲番を付けると、好きなフレーズの頭出しもできます。
- Combine（コンバイン） — **曲をつなぐ**（92ページ）
  この機能を使うと2つの曲が1曲につながります。
  1曲目と4曲目のように離れている曲でもつなぐことができます。
- Undo（アンドゥー） — **編集作業を取り消す**（93ページ）
  誤って違う曲を消してしまったり、順番を間違えて入れ替えたときなど、その操作を取り消して、消してしまった曲や、曲順を元に戻すことができます。
- S.F EDIT（スケールファクターエディット） — **録音レベルを変更する**（94ページ）
  録音後に1曲全体の録音レベルを変更したり、フェードイン・フェードアウトする曲を作ることができます。

編集をはじめる前に

MDの編集をするには、
- MDが書き込み可能な状態になっている
- MDの再生モードがふつうの再生になっている

ことが必要です。編集をはじめる前に、必ず次の確認操作を行ってください。

1 MDが誤消去防止状態になっていないか確認する

誤消去防止状態になっているときは、つまみを動かして孔をふさぎます。
MDが誤消去防止状態になっているときは、編集作業はできません。

2 停止中にPLAY（プレイ） MODE（モード）をくり返し押して、「SHUF（シャッフル）」または「PGM（プログラム）」を消して、ふつうの再生にする

編集作業はふつうの再生のときのみ行えます。シャッフル再生またはプログラム再生中は、編集作業はできません。

編集をした後は

➡ **本体の⏏MDを押してMDを取り出す、またはI/⏻（電源）を押して電源を切る**

「TOC」または「TOC Writing」が点滅し始めます。編集の情報がMDへ書き込まれ、編集が完了します。

電源コンセントを抜く前に

MDの編集は編集情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。編集情報が正しく記録されません。

MDにディスク名や曲名を付ける *(NAME)*

録音後のMDにディスク名や曲名を付けることができます。

録音中に付ける：ディスクにCDテキストが付いているときは、曲名が自動的に記録されます（67ページ）。

録音後に付ける：MD編集のNAME機能（このページ）を使います。

1枚のMDに、ディスク名、曲名、グループ名を計約1,700文字、カナ文字のみで約800文字まで入力できます。

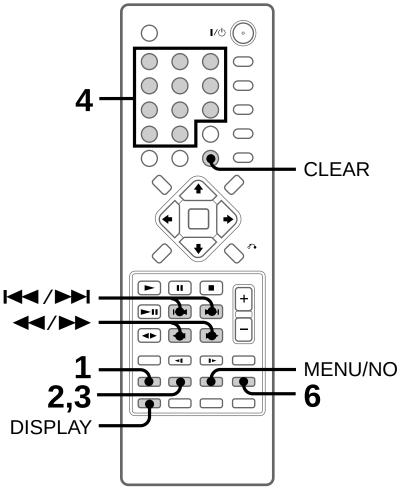
以下はグループ機能が働いていないときの手順です。グループに名前を付けたいときは、「グループ名を付ける」（82ページ）をご覧ください。

ただし、グループ機能を使って録音したMDにディスク名を付けるときは、グループ管理情報を誤って書き換えてしまわないように、グループ機能を働かせた状態でディスク名を付けてください。

グループ管理情報について詳しくは、61ページをご覧ください。

次のページへ続く

MDにディスク名や曲名を付ける（つづき）

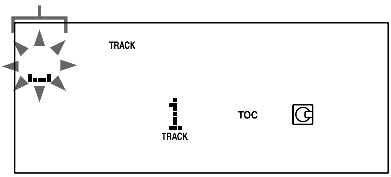


1 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

曲名を付けるときは、I◀◀または▶▶Iをくり返し押して、名前を付けたい曲番を表示させます。
ディスク名を付けるときは、総曲数（グループ機能が働いているときは、総グループ数）を表示させます。

2 NAME（ネーム） EDIT（エディット）/SELECT（セレクト）を押す

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。



3 NAME（ネーム） EDIT（エディット）/SELECT（セレクト）を押して、文字の種類を選ぶ

押すたびに次のように変わります。
「Selected AB」（アルファベット大文字）＊
→「Selected ab」（アルファベット小文字）＊
→「Selected ア」（カタカナ）＊＊
→「Selected 12」（数字）
→「Selected AB」（アルファベット大文字）＊

＊　数字ボタンの1をくり返し押すと、以下の記号を表示できます。
´ –/,. ():!?
また、記号が表示されているときにI◀◀またはI▶▶Iをくり返し押すと、さらに以下の記号を表示できます。
&+<>_=“;#$%@＊`

＊＊ 通常の五十音に加え、小文字のアイウエオヤユヨツを表示できます。また、>10ボタンをくり返し押すと、濁点や半濁点など（゛ ゜ –,.）を表示できます。ただし、濁点（゛）は「ウ」、「カ／サ／タ／ハ行」、半濁点（゜）は「ハ行」の文字のあとにのみ入力できます。

4 入力したい文字に対応するアルファベット／数字／カタカナ入力ボタンを押す

アルファベット／カタカナを選んだとき

1 入力したい文字があるボタン（ABC、DEFまたはア（行）、カ（行）など）をくり返し押して、希望の文字を表示させる。
I◀◀または▶▶Iをくり返し押しても、文字を切り換えることができます。

2 ▶▶を押す。
入力した文字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

数字を選んだとき
押したボタンの数字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。
スペース（空き）を入力するには
1 NAME EDIT/SELECTを押して、「Select AB」または「Select ab」を選ぶ。
2 10/0を押す。
スペース（空き）が入力され、カーソルが次の位置で点滅します。

5 手順3と4をくり返して、名前を付ける

文字を変更するには
◀◀または▶▶をくり返し押して、変更したい文字を点滅させ、CLEARを押して文字を消してから手順3と4をくり返す。

6 ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

「Complete!」が表示されたあと、ディスク名または曲名が表示され、しばらくすると手順1の表示に戻ります。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

付けた名前を確認する

ディスク名は停止中に、曲名は再生中にDISPLAYを押すと、表示窓に名前が表示されます。

付けた名前を消す

1 停止中にMENU/NOを押す。
2 ⏮または⏭をくり返し押して、「Nm Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
3 ⏮または⏭をくり返し押して、ディスク名や曲名を消したい曲の曲番を選び、ENTER/YESを押す。
「Complete!」が数秒間表示されて、付けた名前が消えます。

名前を消すのをやめる

MENU/NOを押す。

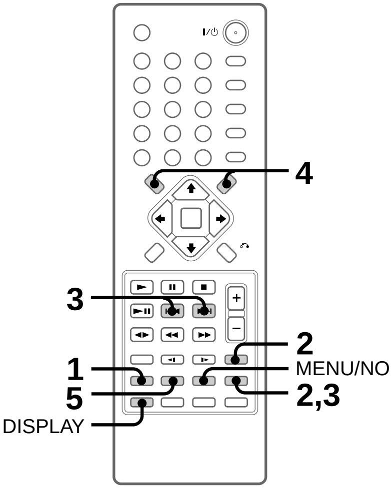
名前を付ける／消す前の状態に戻す

名前を付けたり、消したりしたすぐあとなら、元の状態に戻せます（93ページ）。

ご注意
- MDが誤消去防止状態になっているときは、ディスク名や曲名が付けられません。本体の⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして孔をふさいでください（59ページ）。
- ディスク名に、「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

グループ名を付ける
（NAME）

1枚のMDに、ディスク名、曲名、グループ名を計約1,700文字、カナ文字のみで約800文字まで入力できます。



1 **FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

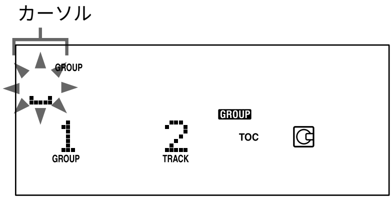
2 **MODE（モード）をくり返し押して、「GROUP?（グループ）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す**

3 **I◀◀ または▶▶Iを押して、「GROUP ON（グループ オン）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す**

4 **GROUP（グループ） ＋またはーをくり返し押して、名前を付けたいグループを選ぶ**

5 **名前を付けたいグループの総曲数が表示されているときに、NAME EDIT/SELECT（ネーム エディット/セレクト）を押す**

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。



6 **「MDにディスク名や曲名を付ける」（79ページ）の手順3〜6を行う**

途中でやめる

MENU/NOを押す。

付けた名前を確認する

1 停止中にMODEをくり返し押して、「GROUP?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
2 I◀◀ または▶▶Iを押して、「GROUP ON」を表示させ、ENTER/YESを押す。
3 GROUP ＋またはーをくり返し押して、名前を確認したいグループを選び、DISPLAYを押す。
表示窓に名前が表示されます。

付けた名前を消す

1 停止中にMODEをくり返し押して、「GROUP?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
2 ⏮または⏭を押して、「GROUP ON」を表示させ、ENTER/YESを押す。
3 MENU/NOを押す。
4 ⏮または⏭をくり返し押して、「Nm Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
5 GROUP ＋または－をくり返し押して、名前を消したいグループ番号を選び、ENTER/YESを押す。
「Complete!」が数秒間表示されて、付けた名前が消えます。

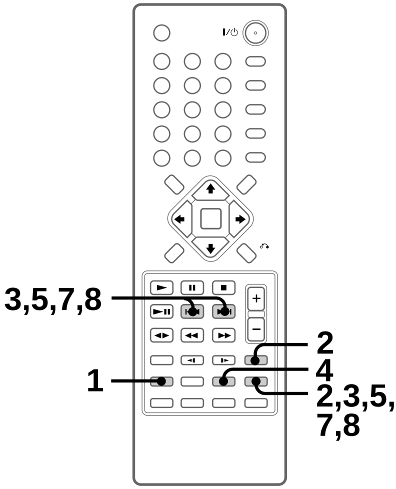
名前を消すのをやめる
MENU/NOを押す。

名前を付ける／消す前の状態に戻す
名前を付けたり、消したりしたすぐあとなら、元の状態に戻せます（93ページ）。

ご注意
- MDが誤消去防止状態になっているときは、ディスク名や曲名が付けられません。本体の⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして孔をふさいでください（59ページ）。
- ディスク名に、「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 曲が登録されていないグループの名前は消すことができません。

新しいグループを作って録音した曲を登録する *(CREATE)*

曲の入っていないグループを作ったり、新しいグループを作って、録音済みの曲を登録したりすることができます。グループ登録されていない、連続した曲のみで登録できます。



1 **FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MODEをくり返し押して、「GROUP?」を表示させ、ENTER/YESを押す**

3 **⏮または⏭を押して、「GROUP ON」を表示させ、ENTER/YESを押す**

次のページへ続く

新しいグループを作って録音した曲を登録する（つづき）

4 MENU/NOを押す

5 ⏮または⏭をくり返し押して、「Gp Create?」を表示させ、ENTER/YESを押す

6 「MDにディスク名や曲名を付ける」（79ページ）の手順3〜6を行う

7 ⏮または⏭をくり返し押して、登録したい最初の曲を選び、ENTER/YESを押す

8 ⏮または⏭をくり返し押して、登録したい最後の曲を選び、ENTER/YESを押す
（1曲のみ登録するときは、そのままもう一度ENTER/YESを押す）

「Complete!」が表示され、新しいグループに曲が登録されます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

新しいグループを作る前の状態に戻す

新しいグループを作ったすぐあとなら、元の状態に戻せます（93ページ）。

曲を登録せずにグループだけを作る

手順7で⏮または⏭をくり返し押して「None」を表示させ、ENTER/YESを押す。「Complete!」が数秒間表示されて、グループが作られます。

ちょっと一言

グループ機能のない機器で録音した曲でもグループ登録することができます。

ご注意

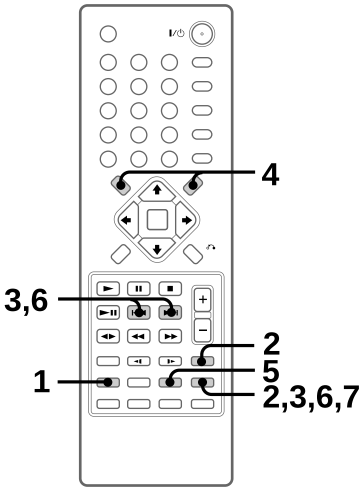
- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。
- すべての曲がグループ登録されているときは、手順6の後で「Assign None」と表示され、登録できません。
- 手順6でグループ名を入力しないと、グループ名は「Group＊＊（グループ番号）」と表示されます。ただし、曲の登録をしないでグループを作るときは、必ずグループ名が必要です。

グループ登録を解除する *(RELEASE)*

登録を解除したいグループを指定するだけで、グループ登録を簡単に解除することができます。また、すべてのグループの登録を一度に解除することもできます。

1グループずつ解除する

指定したグループ登録を解除し、グループを消すことができます（曲そのものは消せません）。



1 FUNCTION（ファンクション）**をくり返し押して、ファンクションを**MD**に切り換える**

2 MODE（モード）**をくり返し押して、「**GROUP?（グループ）**」を表示させ、**ENTER/YES（エンター/イエス）**を押す**

3 **I◀◀または▶▶Iを押して、「**GROUP ON（グループ オン）**」を表示させ、**ENTER/YES（エンター/イエス）**を押す**

4 GROUP（グループ） **＋または－をくり返し押して、登録を解除したいグループを選ぶ**

5 MENU/NO（メニュー/ノー）**を押す**

6 **I◀◀または▶▶Iをくり返し押して、「**Gp Release?（グループリリース）**」を表示させ、**ENTER/YES（エンター/イエス）**を押す**

「REL Gp＊＊（グループ番号）??」が表示されます。

7 ENTER/YES（エンター/イエス）**を押す**

「Complete!」が数秒間表示されて、グループが削除されます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

グループ登録を解除する前の状態に戻す

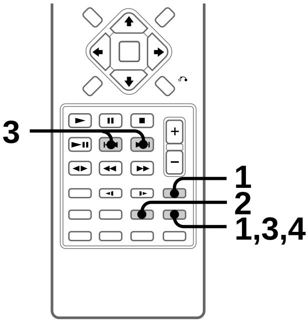
グループ登録を解除したすぐあとなら、元の状態に戻せます（93ページ）。

次のページへ続く

グループ登録を解除する（つづき）

すべてのグループを一度に解除する

MD内のすべてのグループ登録を一度に解除することができます。



1 停止中にMODE（モード）をくり返し押して、「GROUP?（グループ）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

2 MENU/NO（メニュー/ノー）を押す

3 ⏮または⏭をくり返し押して、「Gp All REL?（グループオールリリース）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

「All REL??」が表示されます。

4 ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

「Complete!」が数秒間表示されて、MD内のすべてのグループ登録が解除されます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

グループ登録を解除する前の状態に戻す

グループ登録を解除したすぐあとなら、元の状態に戻せます（93ページ）。

曲を消す *(ERASE)*

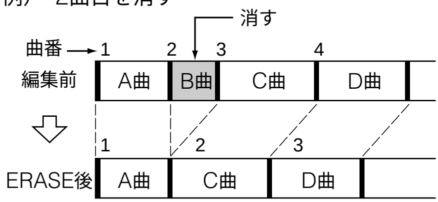
「Erase」は「消す」という意味です。
消したい曲番を選ぶだけで、録音した曲を簡単に消せます。消したすぐあとならUNDO機能を使ってもとに戻せますが、他の編集作業などをしたあとでは元に戻せないので、よく確認してから消してください。
消すには、次の3種類の方法があります。

- 1曲を消す（Track Erase）
- 全曲を消す（All Erase）
- 曲の一部分を消す（A-B Erase）

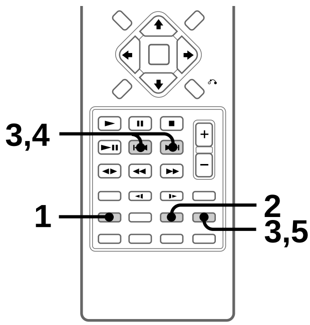
1曲を消す（Track Erase）

1曲消すと、曲番は順にくり上がります。例えば、曲番2を消すと、元の曲番3が2にくり上がります。

例） 2曲目を消す



このように曲番がくり上がっていきますので、2曲以上消すときは、途中の曲番が変わらないように、後ろの曲から消すことをお勧めします。



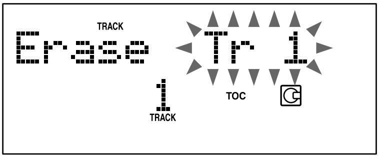
1 FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

2 MENU/NOを押す

3 ⏮または⏭をくり返し押して、「Tr Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す

表示されている曲の再生が始まります。

4 ⏮または⏭をくり返し押して、消したい曲を選ぶ



5 ENTER/YESを押す

「Complete!」が数秒間表示されて、手順4で選んだ曲が消え、次の曲の再生が始まります（最後の曲を消したときは、消した前の曲の再生が始まります）。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

曲を消す前の状態に戻す

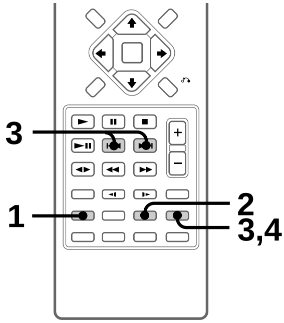
曲を消したすぐあとなら、元の状態に戻せます（93ページ）。

ご注意

グループ内の全曲を消すと、グループ内のすべての曲と同時に、グループも消えます。

全曲を消す（All Erase）

一度に、MDの全曲と全曲名、ディスク名、グループ名（MDに記録しているすべての内容）を消せます。



1 FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

2 MENU/NOを押す

3 ⏮または⏭をくり返し押して、「All Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す

「All Erase??」が表示されます。

4 ENTER/YESを押す

「Complete!」が数秒間表示されて、MDの全曲と全曲名、ディスク名、グループ名が消えます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

次のページへ続く

曲を消す（つづき）

曲を消す前の状態に戻す

曲を消したすぐあとなら、元の状態に戻せます（93ページ）。

ご注意

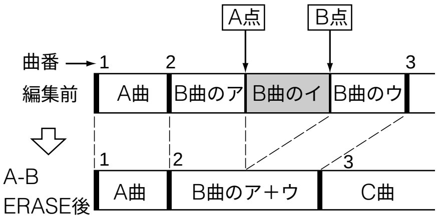
グループ機能が働いているときに上の操作を行うと、グループ内の曲だけでなくMDのすべての曲が消えますのでご注意ください。

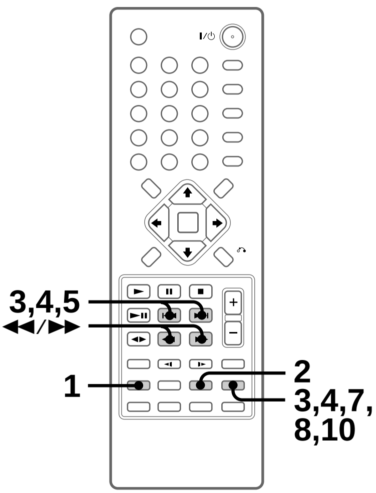
曲の一部分を消す（A-B Erase）

1曲中の消したい範囲を指定して、簡単にその部分を消すことができます。フレーム*、秒、分単位で消す位置をずらすことができます。衛星放送やFM放送などを録音したMDの不要な部分を消すのに便利です。

* 1フレームは1/86秒です。

例） B曲の一部を消すとき





1 **FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MENU/NOを押す**

3 **⏮ または⏭をくり返し押して、「A-B Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す**

4 **⏮ または⏭をくり返し押して、一部を消したい曲を選び、ENTER/YESを押す**

「—Rehearsal—」と「Point A ok?」が交互に表示され、A点までの数秒間をくり返し再生します。

5 **くり返し再生される音を聞きながら、⏮ または⏭をくり返し押して、消したい部分の始点（A点）を選ぶ**

1/86秒（1f）*ずつ位置がずらせます。秒、分単位でずらしたいときは、◀◀または▶▶を押して、秒または分を点滅させてから、⏮ または⏭を押します。

* モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置をずらせます。

6 **A点を正しく再生していないときは、手順5をくり返す**

7 **A点を正しく再生しているときは、ENTER/YESを押す**

「Point B set」が表示され、B点を設定するための再生が始まります。

8 **再生を続けて、消したい部分の終点（B点）まで行き、ENTER/YESを押す**

「A-B Ers」と「Point B ok?」が交互に表示され、A-B間を消したつなぎ目の部分（A点までの数秒間とB点からの数秒間）をくり返し再生します。

9 **B点を正しく再生するまで、手順5をくり返す**

10 **ENTER/YESを押す**

「Complete!」が数秒間表示されて、A-B部分が消えます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

曲を消す前の状態に戻す

曲を消したすぐあとなら、元の状態に戻せます（93ページ）。

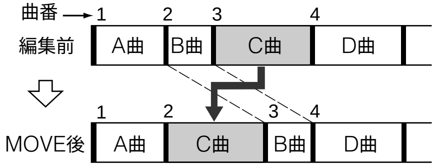
ご注意

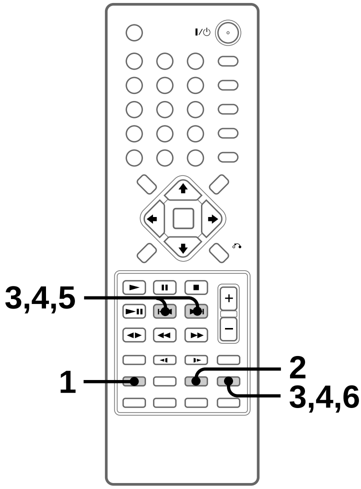
何度も編集をくり返すと、「Impossible」が表示され、曲の一部分を消すことができなくなる場合があります。これはMDのシステム上の制約で、故障ではありません。

曲順を変える *(MOVE)*

「Move」は、「動かす」という意味です。
曲を好きな位置に移動させて、曲順を変えられます。曲順を変えると、曲番も頭から順に付け直されます。

例）　3曲目を2曲目に移動する





1 **FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

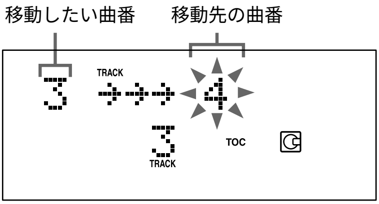
2 **MENU/NOを押す**

3 **⏮または⏭をくり返し押して、「Move?」を表示させ、ENTER/YESを押す**

次のページへ続く

4　|◀◀ または ▶▶| をくり返し押して、移動したい曲を選び、ENTER/YESを押す

5　|◀◀ または ▶▶| をくり返し押して、移動先の曲を選ぶ



6　ENTER/YESを押す

「Complete!」が数秒間表示されて、曲が移動します。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

曲順を変える前の状態に戻す

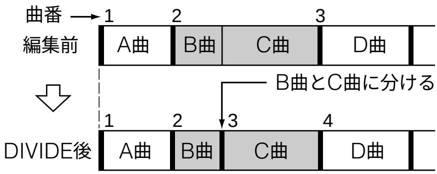
曲順を変えたすぐあとなら、元の状態に戻せます（93ページ）。

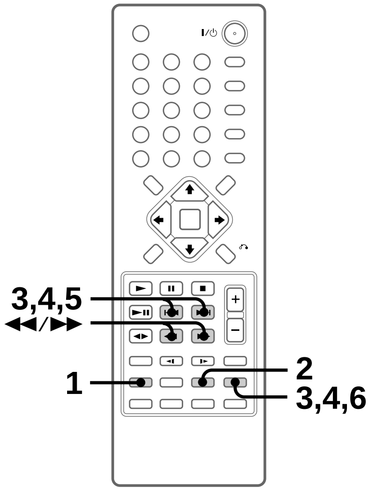
ご注意

移動先の曲番がグループに属する場合、移動先のグループに登録され直します。また、グループ登録された曲の移動先の曲番がグループ登録されていなかった場合、移動した曲のグループ登録は解除されます。ただし、グループ機能が働いているときは、グループ内でしか曲の移動は行えません。

1つの曲を2つに分ける *（DIVIDE）*

「Divide」は「分ける」という意味です。
録音したあとで曲番を付けるときに使います。分けた曲以降の曲番は、頭から順に付け直されます。
例）　2曲目を2つに分ける





1　FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

2　MENU/NOを押す

3 ⏮または⏭をくり返し押して、「Divide?」を表示させ、ENTER/YESを押す

4 ⏮または⏭をくり返し押して、分けたい曲を選び、ENTER/YESを押す

「—Rehearsal—」が表示され、分ける部分がくり返し再生されます。

5 くり返し再生される音を聞きながら、⏮または⏭をくり返し押して、曲を分ける位置を調節する

1/86秒（1f）*ずつ位置がずらせます。
秒、分単位でずらしたいときは、◀◀または▶▶を押して、秒または分を点滅させてから、⏮または⏭を押します。

* モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置がずらせます。

6 分けるところを正しく再生していたら、ENTER/YESを押す

「Complete!」が数秒間表示されて、曲が分かれ、分かれたところから再生が始まります。

途中でやめる

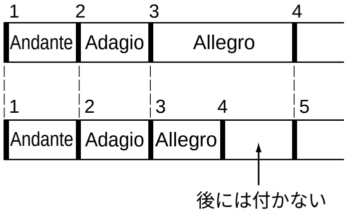
MENU/NOを押す。

曲を2つに分ける前の状態に戻す

曲を分けたすぐあとなら、元の状態に戻せます（93ページ）。
また、COMBINE機能を使って元に戻すこともできます（92ページ）。

ご注意

- 曲名を付けた（79ページ）曲をDivideして2つの曲に分けると、前の方の曲にのみ、その曲名が付きます。
  例）



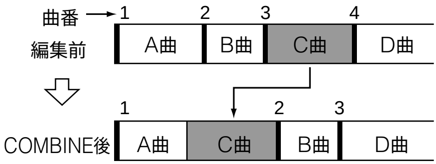
- 曲の先頭または最後では曲を分けることはできません。
- 曲を分ける位置（ポジション）に曲の先頭または最後が指定されたときは「Impossible」と表示されます。⏮または⏭を押して、位置を変更してください。

MD－編集

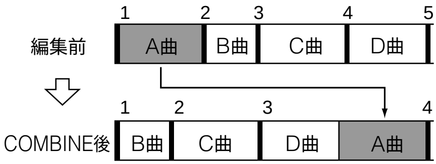
2つの曲を1つにする
（COMBINE）

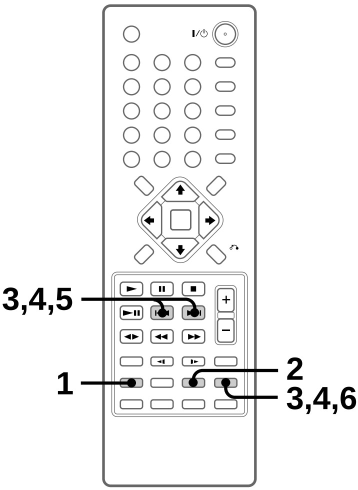
「Combine」は、「つなぐ」という意味です。2曲をつないで1曲にします。曲番は、頭から順に付け直されます。
不要な曲番を消すときにもCOMBINE機能を使います。

例）1曲目に3曲目を合わせる



例）4曲目に1曲目を合わせる





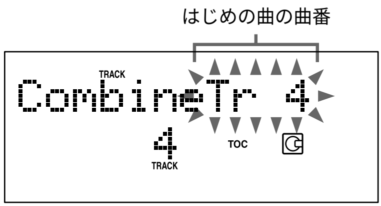
1 **FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MENU/NOを押す**

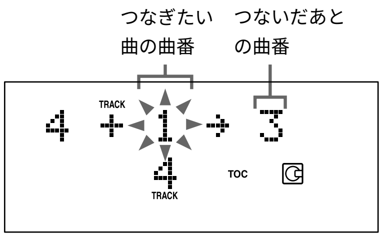
3 **⏮ または⏭をくり返し押して、「Combine?」を表示させ、ENTER/YESを押す**

4 **⏮ または⏭をくり返し押して、 つなぎたい曲のはじめの曲を選び、ENTER/YESを押す**

例）曲番4に1をつなぐときは、4を選びます。



5 **⏮ または⏭をくり返し押して、つなぎたい曲を選ぶ**



6 **ENTER/YESを押す**

「Complete!」が数秒間表示されて、曲がつながり、つながった曲の再生が始まります。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

2つの曲を1つにする前の状態に戻す

曲をつないだすぐあとなら、元の状態に戻せます（このページ）。
また、DIVIDE機能を使って元に戻すこともできます（90ページ）。

ご注意

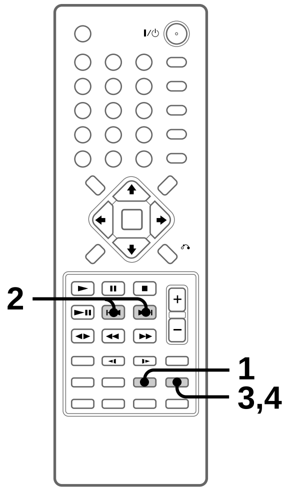
- 別々のグループに登録された2つの曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲が属するグループに登録され直します。また、グループ登録された曲とされていない曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲の属性と同じになります。ただし、グループ機能が働いているときは、グループ内でしか曲をつなぐことはできません。
- 録音モード（ステレオ、LP2ステレオ、LP4ステレオ、モノラル）が同じ曲としかつなぐことができません。
- つないだ2曲の両方に曲名が付いているときは、後ろの曲名が消えます。
- 何度も編集をくり返すと、「Impossible」が表示され、曲をつなぐことができなくなる場合があります。これはMDのシステム上の制約で、故障ではありません。

ひとつ前の操作を取り消す *(UNDO)*

最後に行った編集操作を取り消し、その前のMDの内容に戻します。
ただし、編集後に次のいずれかの操作をすると取り消せません。

- 他の編集作業をする。
- 録音または録音一時停止にする。
- 電源を切ったり、MDを取り出したりして、編集した内容を記録する。
- 電源プラグをコンセントから抜く。

また、S.F EDIT機能を使った編集は、UNDO機能を使っても元の状態に戻すことはできません。



1　停止中にMENU/NOを押す

2　⏮または⏭を押して、「Undo?」を表示させる

取り消せる編集操作がないときは、「Undo?」は表示されません。

次のページへ続く

3 ENTER/YESを押す

最後に行った編集操作に応じて、次のメッセージが表示されます。

編集操作	メッセージ
ディスク名や曲名を付ける	「Name Undo?」
付けた名前を消す	
新しいグループを作る	「Group Undo?」
1グループずつ解除する	
すべてのグループを一度に解除する	
曲の一部分を消す	「Erase Undo?」
1曲を消す	
全曲を消す	
曲順を変える	「Move Undo?」
1つの曲を2つに分ける	「Divide Undo?」
2つの曲を1つにする	「Combine Undo?」

4 ENTER/YESを押す

「Complete!」が数秒間表示されて、編集前のMDの内容に戻ります。

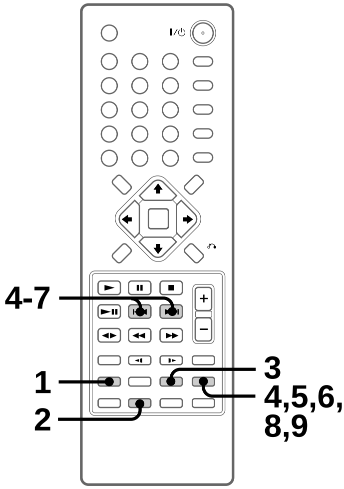
途中でやめる

MENU/NOを押す。

録音後に録音レベルを変更する *(S.F EDIT)*

録音済みの曲の音声レベルを変更することができます。もとの曲は新しい録音レベルで上書きされます。また、フェードイン・フェードアウトを使うと、曲の頭が次第に大きく再生される曲や、曲の最後が次第に小さく再生される曲を作ることができます。

MDLP録音した曲の録音レベルを変更することはできません。



1曲全体の録音レベルを変更する

1 **FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **PLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」または「PGM」の表示を消す**

3 MENU/NOを押す

4 ⏮または⏭をくり返し押して、「S.F Edit?」を表示させ、ENTER/YESを押す

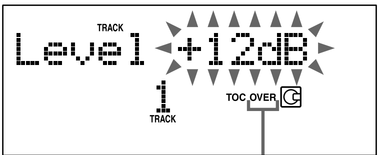
5 ⏮または⏭をくり返し押して、「Tr Level?」を表示させ、ENTER/YESを押す

6 ⏮または⏭をくり返し押して、録音レベルを変更したい曲を選び、ENTER/YESを押す

「Level 0dB」が表示されます。

7 再生される音を聞きながら、⏮または⏭をくり返し押して、録音レベルを変更する

–12dBから＋12dBの範囲内（2dB単位）で変更できます。一番大きい音のとき、表示窓に「OVER」が点灯しないようにします。



「OVER」が点灯しないように調節する

8 ENTER/YESを押す

「S.F Edit OK?」が表示されます。

9 ENTER/YESを押す

曲の書き換えが始まります。
書き換え中は、「S.F Edit: ＊＊%」が表示されます。
曲の書き換えには、その曲の再生時間とほぼ同じかそれ以上の時間がかかります。書き換えが終わると、「Complete!」が数秒間表示されます。

フェードイン・フェードアウトする曲を作る

1 FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

2 PLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」または「PGM」の表示を消す

3 MENU/NOを押す

4 ⏮または⏭をくり返し押して、「S.F Edit?」を表示させ、ENTER/YESを押す

5 ⏮または⏭をくり返し押して、「Fade In?」または「Fade Out?」を表示させ、ENTER/YESを押す

6 ⏮または⏭をくり返し押して、フェードインまたはフェードアウトさせたい曲を選び、ENTER/YESを押す

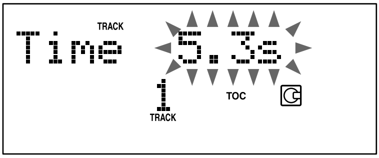
「Time 5.0s」が 表示されます。

次のページへ続く

録音後に録音レベルを変更する（つづき）

7　再生される音を聞きながら、I◀◀または▶▶Iをくり返し押して、フェードインまたはフェードアウトする時間を調節する

フェードインまたはフェードアウトされる部分がくり返し再生されます。



1秒から15秒の間（0.1秒単位）で調節できます。その曲の再生時間を超えた設定はできません。

8　ENTER/YESを押す

「S.F Edit OK?」が表示されます。

9　ENTER/YESを押す

曲の書き換えが始まります。
書き換え中は、「SF Edit:＊＊%」が表示されます。書き換えが終わると、「Complete!」が数秒間表示されます。

途中でやめる

手順4〜8の途中でMENU/NOを押す。**手順9でENTER/YESを押して書き換えが始まると、操作を途中でやめることはできません。**

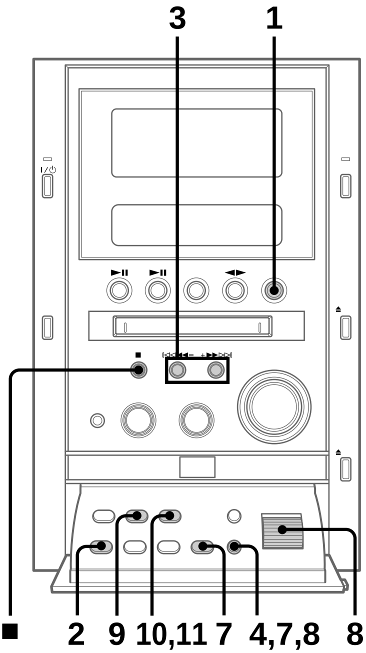
ご注意

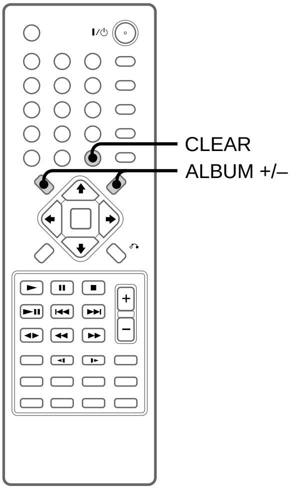
- 曲の書き換え中に本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が破損し、正しく記録されません。
- 傷や汚れのあるディスクは使用しないでください。録音情報が正しく記録されないことがあります。
- 録音レベルを何度も変更すると音質が劣化します。
- 録音レベルを変更した曲を再び元のレベルに戻しても、完全に元の録音レベルには戻りません。
- タイマーが働いているときは、録音レベルを変更できません。
- 録音レベルを変更した曲は、UNDO機能を使って元の状態に戻すことはできません。

ディスクの好きなトラックだけを録音する *（CD-TAPEシンクロ録音）*

CD　VIDEO CD　MP3

ディスクのプログラム再生機能で好きな曲を選んでから、ディスクとのシンクロ録音機能を使って選んだ曲を録音します。テープの各面に収めるように再生時間を確かめながら曲を並べていきます。





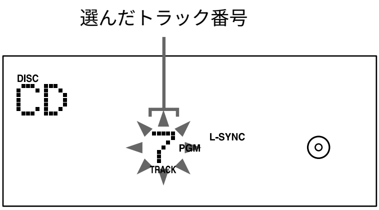
好きな曲を選ぶ

1 FUNCTION（ファンクション）**をくり返し押して、ファンクションを**DVD**に切り換える**

2 **停止中に**PLAY（プレイ） MODE（モード）**をくり返し押して、「**PGM（プログラム）**」を表示させる**

3 **⧏◁◁または▷▷⧐をくり返し押して、録音したいトラック番号を選ぶ**

MP3を録音するときは、リモコンのALBUM ＋または－をくり返し押してアルバムを選んだあと、⧏◁◁または▷▷⧐をくり返し押してトラックを選びます。

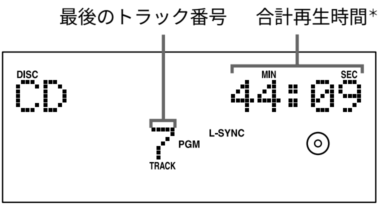


次のページへ続く

ディスクの好きなトラックだけを録音する（つづき）

4 **ENTER/YESを押す**

トラックが選んだ順にプログラムされます。
何トラック目にプログラムされたか（STEP数）が表示されたあと、最後にプログラムしたトラック番号とプログラムの合計再生時間が表示されます。
間違えてプログラムしたときは、リモコンのCLEARを押すと、押すたびに最後にプログラムしたトラックを消すことができます。



＊ MP3のときは、「−−:−−」と表示されます。

5 **手順3と4をくり返す**

録音したいトラックを選んだら、続けてテープに録音します。

テープに録音する

6 **録音用のテープを入れる**

7 **MODEをくり返し押して、「REV MODE?」を表示させ、ENTER/YESを押す**

8 **MULTI JOGを上下に回して、録音する面を選び、ENTER/YESを押す**

片面録音するときは「REV MODE ⊐」を、両面録音するときは「REV MODE ⊐⊃」（または「REV MODE ⊂⊐⊃」）を選びます。

9 **CD SYNC REC SELをくり返し押して、「CD▶TAPE」を表示させる**

10 **REC START/REC PAUSEを押す**

「Sync REC」が表示されたあと、「Press START」と「TAPE REC」が点滅します。
テープが録音一時停止に、ディスクは再生一時停止になります。

11 **「Press START」が点滅しているのを確認してからREC START/REC PAUSEを押す**

「REC MUTING」が点滅し、何も録音されないまま10秒間テープが走行したあと、録音が始まります。
選んだ曲すべての録音が終わると、ディスク、テープとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

録音途中でテープが終わってしまったときは

ディスクは再生を続け、テープは自動的に停止します。

同時にMDにも録音するには

録音用のMDを入れ、「テープに録音する」（このページ）の手順9で「CD▶MD/TAPE」を表示させます。

ちょっと一言

MULTI JOGを上下に回しても、録音したいトラックを選べます。

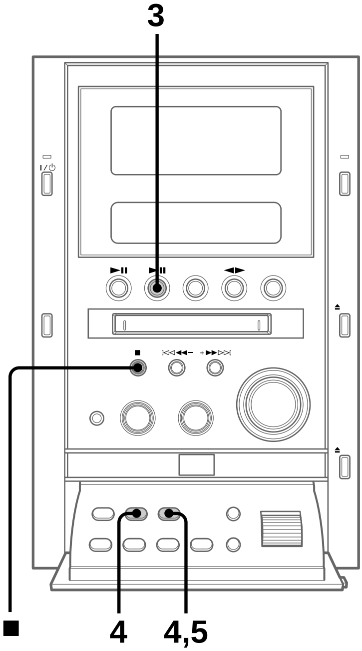
ご注意

- ビデオCDの場合、PBC再生は自動的に解除されます。
- サラウンド機能が「SURROUND ON」のとき（103ページ）は、サラウンドの効果が録音されます。
- 「TAPE No Tape」または「TAPE No Tab」が表示されたら、テープが入っていないか、またはそのテープには録音できません（168ページ）。

再生中のトラックを録音する
（1トラックシンクロ録音）

DVD　CD　VIDEO CD　MP3

DVDやCDを聞きながら、気に入ったタイトル／チャプターまたはトラックをその場でテープに録音できます。
DVDによっては録音できない場合があります。



1　録音用のテープを入れる

2　ディスクを入れる

3　DVD►IIを押す

ディスクの再生が始まります。

4　録音したいチャプターまたはトラックを聞きながら、CD SYNC REC SEL（シンクロ レコーディング セレクト）をくり返し押して、「CD►TAPE（テープ）」を表示させ、REC START/REC PAUSE（レコーディング スタート レコーディング ポーズ）を押す

テープが録音一時停止になります。

5　REC START/REC PAUSE（レコーディング スタート レコーディング ポーズ）を押す

DVDの場合、現在再生中のチャプター（チャプターがない場合はタイトル）、CDまたはビデオCD、MP3の場合は現在再生中のトラックの頭に戻り、録音が始まります。
DVDの場合はタイトル、CDまたはビデオCD、MP3の場合は録音中のトラックが終了すると、テープは自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

同時にMDにも録音するには

録音用のMDを入れ、手順4で「CD►MD/TAPE」を表示させます。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

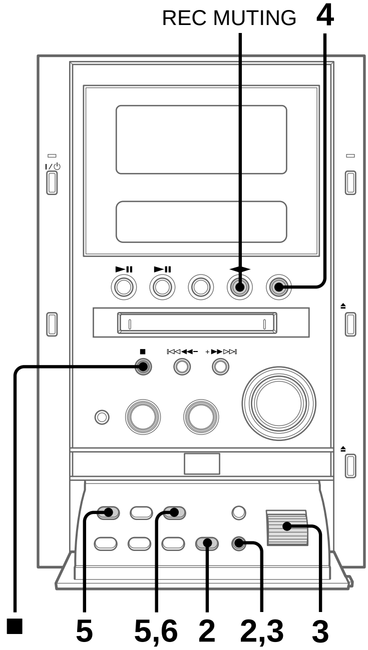
次のページへ続く

ご注意

- DVDによっては、チャプター（またはタイトル）の頭に戻らないことがあります。その場合は警告表示が出ます。
- ビデオCDのPBC再生中は、1トラックシンクロ録音できないことがあります。
- サラウンド機能が「SURROUND ON」のとき（103ページ）は、サラウンドの効果が録音されます。
- 「TAPE No Tape」または「TAPE No Tab」が表示されたら、テープが入っていないか、またはそのテープには録音できません（168ページ）。

好きなところから録音する*（マニュアル録音）*

DVDやCD、ビデオCD、MP3、MD、ラジオ、またはつないでいる別売りの機器からお好みに応じて録音ができます。例えば、CDやMDの好きな部分だけを録音することができます。



1 録音用のテープを入れる

2 MODE（モード）をくり返し押して、「REV MODE?（リバース モード）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

3 **MULTI JOG（マルチ ジョグ）を上下に回して、録音する面を選び、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す**

片面録音するときは「REV MODE ⇀」を、両面録音するときは「REV MODE ⇌」（または「REV MODE ⟲」）を選びます。

4 **FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、録音したい音源を表示させる**

- DVD：本機のディスクの音を録音する
- MD：本機のMDの音を録音する
- FMまたはAM：本機のラジオの音を録音する
- AUX（VIDEOまたはTV）：別売りの機器の音を録音する

5 **REC SEL（レコーディング セレクト）をくり返し押して、「REC TAPE（レコーディング テープ）」を表示させ、REC START/REC PAUSE（レコーディング スタート レコーディング ポーズ）を押す**

「TAPE REC」が点滅し、テープが録音一時停止になります。

6 **REC START/REC PAUSE（レコーディング スタート レコーディング ポーズ）を押してから録音したい音源の再生ボタンを押す（179ページ）**

録音が始まります。

その他の操作

こんなときは	操作
録音を止める	■を押す。
録音を一時停止する	REC START/REC PAUSEを押す。 もう一度押すと録音が再開されます。

曲と曲の間に無音部分を作る

曲と曲の間に4秒間の無音部分を作ることができます。

1 録音中または録音一時停止中にREC MUTINGを押す。
「REC MUTING」が点滅し、何も録音されないまま4秒間テープが走行したあと、録音一時停止になります。

2 REC START/REC PAUSEを押す。
再び録音が始まります。
4秒以上の無音部分を作るには、録音一時停止中に、もう一度REC MUTINGを押します。
無音部分を4秒以下にするには、「REC MUTING」が点滅中に、もう一度REC MUTINGを押します。

同時にMDにも録音するには

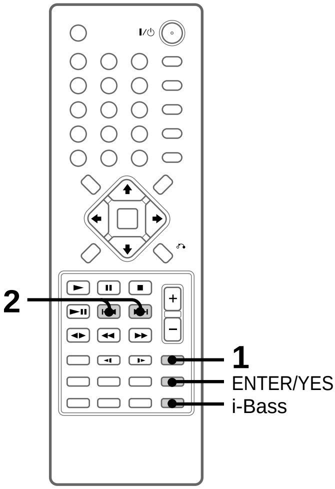
録音用のMDを入れ、手順5で「REC MD/TAPE」を表示させます。

ご注意

- MDとテープに同時に録音中は、REC MUTINGは働きません。
- サラウンド機能が「SURROUND ON」のとき（103ページ）は、サラウンドの効果が録音されます。

好みの音にする

低音を強調したり、お好みのサウンド効果が楽しめます。



低音を強調する

➡ **i-Bassをくり返し押して、「i-Bass 1」か「i-Bass 2」を選ぶ**

本体のi-Bassランプが点灯します。
「i-Bass 1」より「i-Bass 2」のほうが、低音が強調されます。

低音を強調しない

i-Bassをくり返し押して、「i-Bass OFF」を表示させる。

低音または高音を調節する

1 MODEをくり返し押して、「BASS?（低音）」または「TREBLE?（高音）」を選び、ENTER/YESを押す

2 I◀◀ または ▶▶Iをくり返し押して、好みのレベルを選び、ENTER/YESを押す

ちょっと一言

本体のBASSまたはTREBLEを回しても、低音または高音を調節できます。

サウンド効果を楽しむ

6つのプリセットイコライザーを、音楽や状況に合わせて選べます。

1 MODEをくり返し押して、「PRESET EQ?」を表示させ、ENTER/YESを押す

2 I◀◀ または ▶▶Iをくり返し押す

押すたびに、プリセット名の表示が次のように変わります。

FLAT ↔ HIP HOP ↔ TECHNO ↔ VOCAL ↔ CAFE ↔ HEAVY ↔ FLAT

3 ENTER/YESを押す

プリセットイコライザーの効果を消す

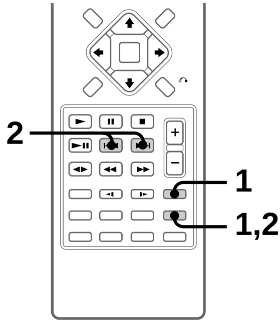
手順2で「FLAT」を表示させる。

ちょっと一言

- お買い上げ時は「FLAT」に設定されています。
- プリセットイコライザーの効果は、MDやテープには録音されません。
- 本体のMULTI JOGを上下に回しても、プリセットイコライザーを選べます。

サラウンドを楽しむ

サラウンドの機能で、マルチチャンネル信号を2チャンネルにダウンミックスした信号だけでなく、標準的な2チャンネル（ステレオ）信号も音像処理することにより、フロントスピーカーのみでもサラウンドが楽しめます。



1 MODE（モード）をくり返し押して、「SURROUND?（サラウンド）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

2 ⏮ または⏭をくり返し押し、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

押すたびに、サラウンド名の表示が次のように変わります。

SURROUND OFF

↕

SURROUND ON

次のページへ続く

音の調整

設定を解除する

手順2で「SURROUND OFF」を表示させる。

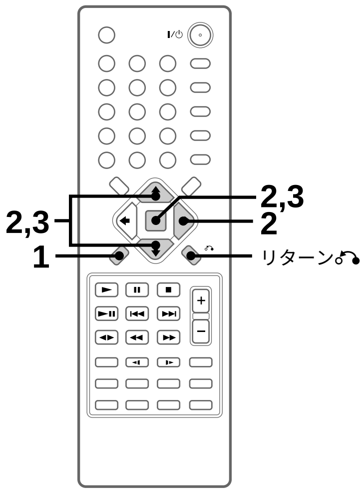
ちょっと一言

- お買い上げ時は「SURROUND OFF」に設定されています。
- スピーカーは視聴する位置から見て距離的にも環境的にも左右対称になるように設置すると、より高いサラウンド効果を得られます。設置場所が適切でないと、効果がわかりにくいことがあります。
- DIGITAL OUT（OPTICAL）出力端子から音声は出力されますが、サラウンド効果はありません。
- 本体のMULTI JOGを上下に回しても、サラウンドを切り換えることができます。

コントロールメニュー画面の使いかた

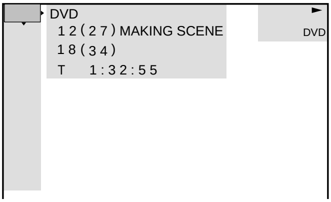
DVD CD VIDEO CD MP3 JPEG

コントロールメニュー画面を使ってDVDだけでなくビデオCD、CDなどのいろいろな再生を楽しめます。コントロールメニューの項目はディスクによって異なります。コントロールメニューのそれぞれの項目について詳しくは、「コントロールメニュー画面項目一覧」（106ページ）をご覧ください。
コントロールメニューはテレビ画面上で操作します。コントロールメニューを使う前に、テレビの電源を入れて、ファンクションをDVDに切り換えてください。

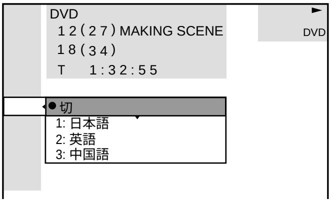


1 DVD画面表示ボタンを押す

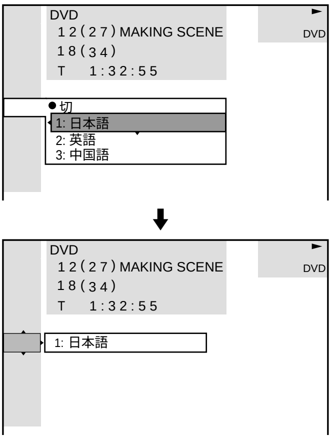
コントロールメニュー画面が表示されます。



2 ↑/↓で項目を選び、→または決定を押す



3 ↑/↓で項目を選び、決定を押す



ご注意

コントロールメニュー画面の項目には、その中で項目を選ぶ以外の操作が必要なものもあります。このような項目について詳しくは、106ページからの各項目の説明に記されている参照ページをご覧ください。

コントロールメニュー画面の設定を途中でやめる

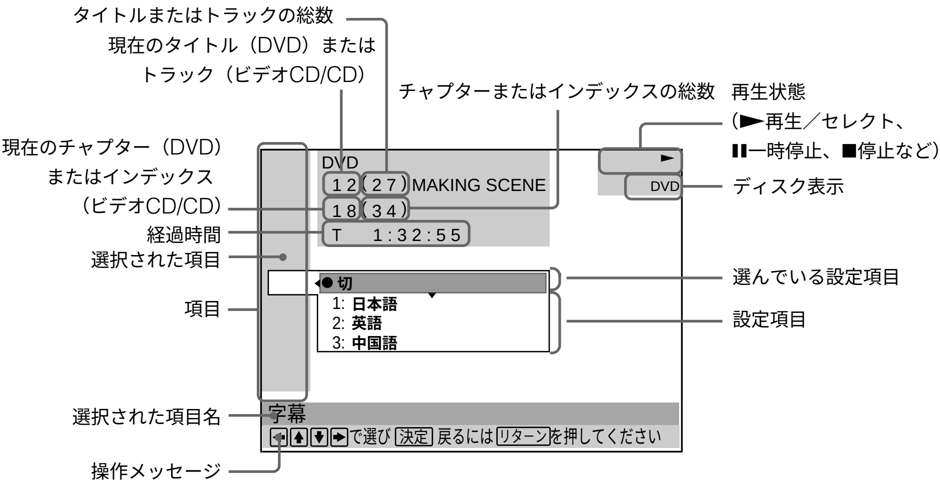
リターン↶を押す。

ちょっと一言

いくつかの項目はリモコンのボタンを押すことで表示させることができます。この場合、選んだ項目だけが表示されます。リモコンを使った操作についてはそれぞれの項目の説明をご覧ください。

コントロールメニュー画面項目一覧

DVD画面表示ボタンを押すと表示されます。詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。



	ディスク	ディスク名を表示します。
	タイトル（DVDのみ）（108ページ）／トラック（ビデオCDのみ）（108ページ）	再生するタイトル（DVD）やトラック（ビデオCD）を選びます。
	チャプター（DVDのみ）（108ページ）／インデックス（ビデオCDのみ）（108ページ）	再生するチャプター（DVD）やインデックス（ビデオCD）を選びます。
	アルバム（MP3のみ）（108ページ）	再生するアルバム（MP3）を選びます。
	トラック（CD/MP3のみ）（108ページ）	再生するトラック（CD/MP3）を選びます。
	インデックス（CDのみ）（108ページ）	インデックスを表示します。 再生するインデックス（CD）を選びます。
	時間（108ページ）	経過時間および残り時間を調べます。 タイムコードを入力して映像や曲を探します。
	音声（113ページ）	好きな言語の音声（DVD）や左右の音声（CD/ビデオCD/MP3）を切り換えます。
	字幕（DVDのみ）（114ページ）	字幕を表示します。字幕の言語を切り換えます。
	アルバム（JPEGのみ）（108ページ）	再生するアルバム（JPEG）を選びます。
	ファイル（JPEGのみ）（108ページ）	再生するファイル（JPEG）を選びます。
	日付（JPEGのみ）（129ページ）	JPEG画像の撮影日を表示します。

	アングル（DVDのみ）（115ページ）	好きなアングルに切り換えます。
	プレイモード（ビデオCD/CD/MP3/JPEG*のみ）（44、110ページ）	本機に入っているディスクの再生モード（コンティニュー／コンティニュー（アルバム）／シャッフル／シャッフル（アルバム）／プログラム）を切り換えます。
	リピート（111ページ）	ディスク全体（全タイトル／全トラック／全ファイル）または1つのタイトルやチャプター／アルバム／トラックだけをくり返し再生します。
	カスタム視聴制限（116ページ）	ディスクに、本機での再生を禁止する設定をします。

* JPEGファイルでは、ふつうの再生のみ選べます。

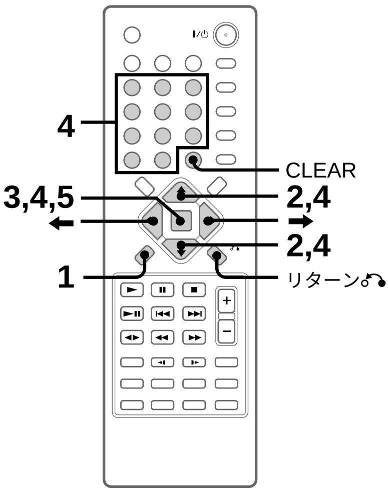
ちょっと一言

- コントロールメニュー画面表示を消すには、DVD画面表示ボタンを押します。
- ディスクによってコントロールメニューの項目が異なります。
- 「切」以外を選んでいるときに、コントロールメニューアイコンが緑に点灯します（「リピート」のみ）。
- 「アングル」では、アングルを切り換えられるときに、アイコンが緑に点灯します。

タイトルやチャプター、トラック、インデックス、アルバムを使って頭出しする

DVD CD VIDEO CD MP3 JPEG

タイトル（DVD）、チャプター（DVD）、トラック（CD、ビデオCD、MP3）、インデックス（ビデオCD）、アルバム（MP3、JPEG）、ファイル（JPEG）で映像や曲を探すことができます。
タイトル、トラック、アルバムには名前が付けられているので、コントロールメニュー画面からその名前を選んで頭出しします。またチャプターとインデックスにはディスク上で番号がつけられているので、その番号を入力して頭出しします。また、経過時間をタイムコードで入力して場面を探すこともできます（タイムサーチ）。



タイトルやトラック、アルバム、ファイルを使って頭出しする

1 **DVD画面表示ボタンを押す**

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 **↑/↓で検索項目を選ぶ**

DVDのとき
「タイトル」を選ぶ。

ビデオCDのとき
「トラック」を選ぶ。

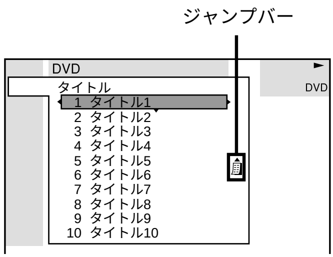
CDのとき
「トラック」を選ぶ。

MP3のとき
「アルバム」または「トラック」を選ぶ。

JPEGのとき
「アルバム」または「ファイル」を選ぶ。

3 **決定を押す**

タイトルやアルバム、トラック、ファイルのリストが表示されます。



アルバムまたはトラック、ファイルのリストが一度に表示できない場合は、ジャンプバーが表示されます。→を押してジャンプバーを選び、↑/↓でジャンプバーをスクロールして、残りのリストを表示できます。←またはリターンを押すと、アルバムまたはトラック、ファイルのリストに戻ります。

4 ↑/↓で再生したいタイトルまたはアルバム、トラック、ファイルを選び、決定を押す

選んだタイトルまたはアルバム、トラック、ファイルの再生が始まります。

チャプターやインデックスを使って頭出しする

1 DVD画面表示ボタンを押す

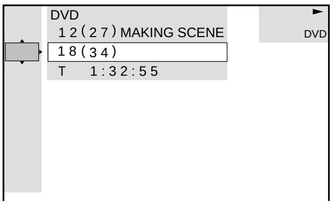
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓で検索項目を選ぶ

DVDのとき
「チャプター」を選ぶ。

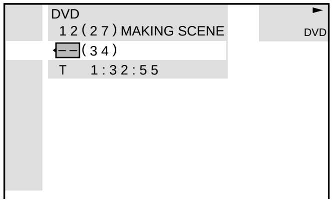
ビデオCDのとき
「インデックス」を選ぶ。

例）「チャプター」を選んだとき
「＊＊（＊＊）」が選ばれます（＊＊は任意の数字）。
カッコ内の数字はチャプターまたはインデックスの総数です。



3 決定を押す

「＊＊（＊＊）」が「ーー（＊＊）」に変わります。



4 ↑/↓または数字ボタンでチャプターまたはインデックスの番号を入力する

間違えたときは、CLEARを押して数字を消してから入力し直します。

5 決定を押す

選んだ場所の再生が始まります。

画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

選択を途中でやめる

リターン↶を押す。

次のページへ続く

タイトルやチャプター、トラック、インデックス、アルバムを使って頭出しする（つづき）

タイムコードを入力して場面を探す（タイムサーチ）

1 手順2で「時間」を選ぶ。
「T ＊＊:＊＊:＊＊」（現在のタイトルまたはトラックの経過時間）が選ばれます。

2 決定を押す。
「T ＊＊:＊＊:＊＊」が「T ーー:ーー:ーー」に変わります。

3 数字ボタンでタイムコードを入力し、決定を押す。

DVDのとき
現在のタイトルの経過時間を入力する。

CDまたはビデオCD、MP3のとき
トラックの経過時間を入力する。

例えば、始まりから2時間10分20秒過ぎた場面を探すには、2:10:20と入力します。

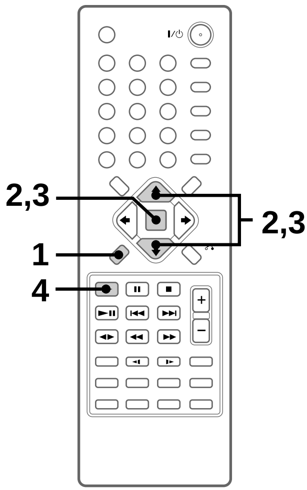
ちょっと一言
再生中に、経過時間と残り時間を切り換えることができます。詳しくは、「経過時間と残り時間を見る」（121ページ）をご覧ください。

ご注意
- タイトルやチャプター、トラックの番号はディスク上に記録されている番号と同じように表示されます。
- ビデオCDのシーンを探すことはできません。

順不同に再生する

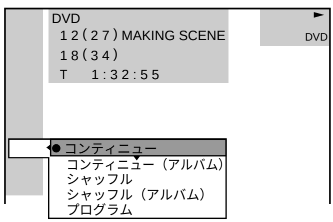
（シャッフル再生／アルバムシャッフル再生） CD VIDEO CD MP3

本機が自動的にトラックの順番を選んで、ひと通り再生します。再生する順番は、シャッフル再生をするたびに変わります。



1 **DVD画面表示ボタンを押す**
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 **↑/↓で「プレイモード」を選び、決定を押す**
「プレイモード」の設定項目が表示されます。



3 **↑/↓で「シャッフル」または「シャッフル（アルバム）」を選び、決定を押す**

シャッフル：トラック順を変えて再生します。

シャッフル（アルバム）：MP3のアルバム内でトラック順を変えて再生します。

4 **DVDの►を押す**

シャッフル再生が始まります。

ふつうの再生に戻す

手順3で「コンティニュー」または「コンティニュー（アルバム）」を選ぶ。

画面表示を消す

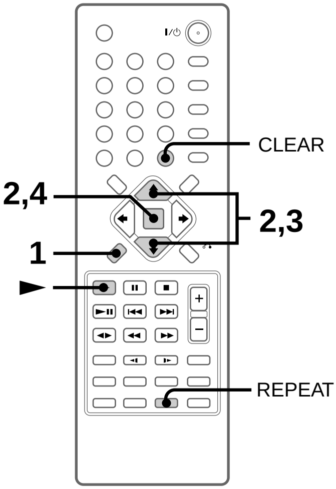
画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

くり返し再生する

（リピート再生）

DVD CD VIDEO CD MP3 JPEG

ディスク全体または1つのタイトルやチャプター、アルバム、トラックをくり返し再生します。シャッフル再生やプログラム再生をくり返すこともできます。



1 **再生中にDVD画面表示ボタンを押す**

コントロールメニュー画面が表示されます。

次のページへ続く

2 ↑/↓で「リピート」を選び、決定を押す

「リピート」の設定項目が表示されます。

リピート設定で「切」以外を選んでいるときは、アイコンが緑に点灯します。



3 ↑/↓で項目を選ぶ

下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

DVDのとき

- 切：リピート再生をオフにします。
- 全部：すべてのタイトルを5回くり返し再生します。
- タイトル：再生中のタイトルをくり返し再生します。
- チャプター：再生中のチャプターをくり返し再生します。

CDまたはビデオCD、MP3のとき（プログラム再生が「切」のとき）

- 切：リピート再生をオフにします。
- 全部：すべてのトラックまたは再生中のアルバム*を5回くり返し再生します。
- トラック：再生中のトラックをくり返し再生します。

JPEGのとき

- 切：リピート再生をオフにします。
- 全部：すべてのファイルまたは再生中のアルバム*を5回くり返し再生します。

プログラム再生またはシャッフル再生をしているとき

- 切：リピート再生をオフにします。
- 全部：プログラム再生、シャッフル再生をくり返し再生します。

＊ MP3またはJPEGをアルバム再生モードまたはアルバムシャッフル再生モード（MP3のみ）で再生中のときのみ

4 決定を押す

リピート再生が始まります。

ふつうの再生に戻す

手順3で「切」を選ぶ、またはCLEARを押す。

画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

ちょっと一言

停止中にリピート再生を設定できます。REPEATをくり返し押して項目を選び、DVDの►を押します。リピート再生が始まります。

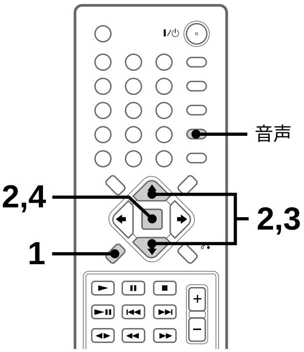
ご注意

- DVDによっては、リピート再生できない場合があります。
- ビデオCDのPBC再生では、リピート再生できません。

音声を切り換える

DVD　CD　VIDEO CD　MP3

DVDの再生中に音声の言語や音声記録方式を選べます。
また、CDやビデオCD、MP3再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。このときの音声はモノラルになります。例えば、カラオケのビデオCDなどでは、音声を切り換えてボーカルのトラックを消し、伴奏だけを聞くこともできます。

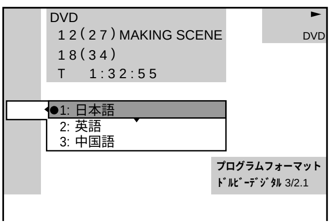


1　再生中にDVD画面表示ボタンを押す

コントロールメニュー画面が表示されます。

2　↑/↓で「音声」を選び、決定を押す

「音声」の設定項目が表示されます。



3　↑/↓で音声を選ぶ

DVDのとき

選べる言語はDVDによって異なります。
4桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」（178ページ）をご覧ください。同じ言語が2個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。

CD/ビデオCD/MP3のとき

お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。

- ステレオ：通常のステレオ再生
- 1/L：左チャンネルの音（モノラル）
- 2/R：右チャンネルの音（モノラル）

4　決定を押す

画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

ちょっと一言

音声ボタンで直接「音声」を選ぶことができます。くり返し押して設定します。

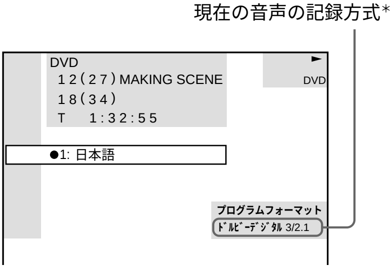
ご注意

- 複数の音声が記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。
- DVDによっては複数の言語が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- CDやビデオCD、MP3のときは、電源を切ったり、ディスクトレイを開閉すると通常のステレオ再生に戻ります。
- DVD再生中、自動的に音声が切り換わることがあります。

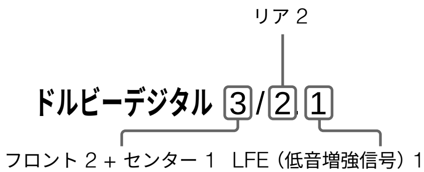
次のページへ続く

再生しているチャンネルを表示する

「音声」を選ぶと、現在再生中のDVDに記録されているチャンネル数を表示することができます。



＊「PCM」または「DTS」、「ドルビーデジタル」が表示されます。
「ドルビーデジタル」のときは音声の含まれるチャンネルが次のように数字で表示されます。
ドルビーデジタル5.1chの場合：



画面表示の例

- PCM（ステレオ）

  プログラムフォーマット
  PCM 48kHz 24bit

- ドルビーサラウンドのとき

  プログラムフォーマット
  ﾄﾞﾙﾋﾞｰﾃﾞｼﾞﾀﾙ 2/0
  ﾄﾞﾙﾋﾞｰｻﾗｳﾝﾄﾞ

- ドルビーデジタル5.1チャンネルのとき

  プログラムフォーマット
  ﾄﾞﾙﾋﾞｰﾃﾞｼﾞﾀﾙ 3/2.1

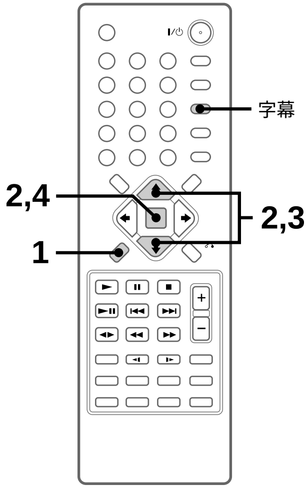
- DTSのとき

  プログラムフォーマット
  DTS 3/2.1

字幕を表示する

DVD

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり消したりできます。複数の言語で字幕が記録されているときは、再生中に字幕を切り換えることができます。例えば、字幕を表示して、語学の学習に役立てたりできます。

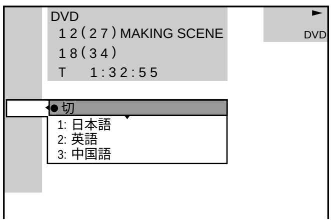


1 再生中にDVD画面表示ボタンを押す

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓で「字幕」を選び、決定を押す

「字幕」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓で言語を選ぶ

選べる言語はディスクによって異なります。
4桁の数字が表示されたときは「言語コード一覧表」（178ページ）をご覧ください。

4 決定を押す

字幕設定を解除する

手順3で「切」を選ぶ。

画面表示を消す

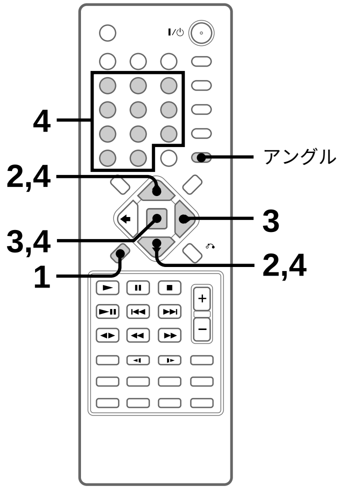
画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

ちょっと一言
字幕ボタンで直接「字幕」を選ぶことができます。くり返し押して設定します。

ご注意
ディスクによっては字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。

アングルを切り換える DVD

複数のアングルがディスクに記録されているとき、好きなアングルに切り換えながら再生することができます。
例えば、動いている電車のシーンの再生中に、電車の正面から見ていた景色を、右の窓からの景色に切り換えて見ることができます。



1 再生中にDVD画面表示ボタンを押す

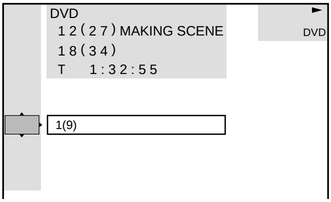
コントロールメニュー画面が表示されます。

次のページへ続く

コントロールメニューを使う

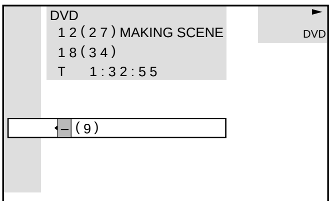
2 ↑/↓で「アングル」を選ぶ

カッコ内の数字は、ディスクに記録されているアングルの総数です。
他のアングルがディスクに記録されているときは、「アングルアイコン」が緑に点灯します。



3 →または決定を押す

アングル番号が「－」に変わります。



4 ↑/↓または数字ボタンでアングル番号を選び、決定を押す

選んだアングルに切り換わります。

画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

ちょっと一言

アングルボタンで直接「アングル」を選ぶことができます。くり返し押して設定します。

ご注意

ディスクによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

ディスクの再生を制限する

（カスタム視聴制限／視聴年齢制限）

DVD CD VIDEO CD MP3

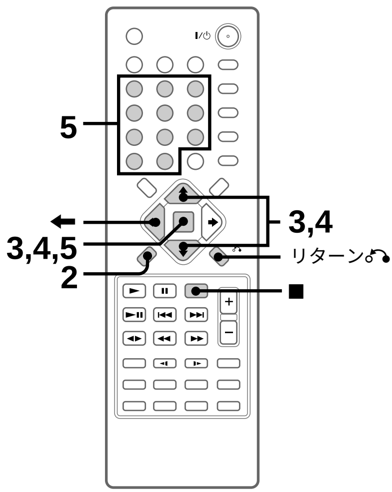
本機には、ディスクの再生を制限する次の2種類の機能があります。

- カスタム視聴制限
  本機で特定のディスクを再生できないようにする。
- 視聴年齢制限
  視聴年齢制限つきDVDの再生できるシーンを制限する。

カスタム視聴制限も視聴年齢制限も、登録した同じ暗証番号を使って設定します。

カスタム視聴制限 － 設定する

登録した同じ暗証番号を使って、25枚までのディスクにカスタム視聴制限を設定することができます。26枚目のディスクを設定すると、1番最初に設定したディスクの制限が解除されます。



1 設定したいディスクを入れる

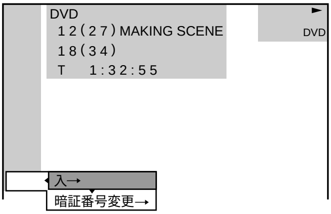
ディスクを再生しているときは、■を押して再生を止めます。

2 停止中にDVD画面表示ボタンを押す

コントロールメニュー画面が表示されます。

3 ↑/↓で「カスタム視聴制限」を選び、決定を押す

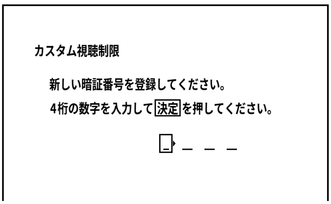
「カスタム視聴制限」が選ばれます。



4 ↑/↓で「入→」を選び、決定を押す

暗証番号が登録されていないとき

暗証番号登録の画面が表示されます。

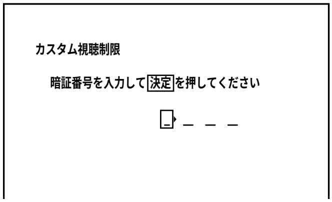


数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押します。

暗証番号確認の画面が出ます。

暗証番号がすでに登録されているとき

暗証番号入力の画面が出ます。



5 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す

「カスタム視聴制限を設定しました」と表示され、コントロールメニューの画面に戻ります。

暗証番号を間違えたときは

決定を押す前に←を押して、入力し直します。

間違えたときは

リターン↶を押して、手順3から選び直す。

画面表示を消す

リターン↶を押したあと、画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

カスタム視聴制限を解除する

1 手順4で「切→」を選び、決定を押す。
2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す。

暗証番号を変更するには

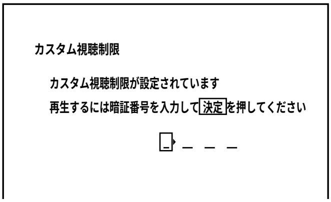
1 手順4で「暗証番号変更→」を選び、決定を押す。
  暗証番号入力の画面が表示されます。
2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す。
3 数字ボタンで新しい4桁の暗証番号を入力し、決定を押す。
4 確認のため、数字ボタンでもう一度暗証番号を入力し、決定を押す。

次のページへ続く

カスタム視聴制限 － 再生する

1　カスタム視聴制限が設定されたディスクを入れる

カスタム視聴制限の画面が表示されます。



2　数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す

再生できる状態になります。

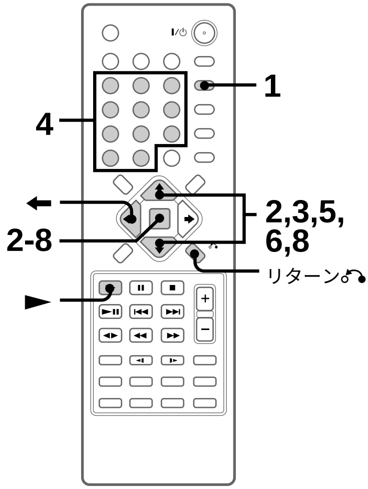
ちょっと一言

暗証番号を忘れてしまったときは、カスタム視聴制限画面で、暗証番号を入力する案内が表示されているとき、6桁の数字「199703」を数字ボタンで入力して決定を押します。画面に、新しい4桁の暗証番号を入力する案内が表示されます。

視聴年齢制限 － 設定する（DVDのみ）

DVDの中には、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって視聴を制限できるものがあります。視聴年齢制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。

制限されているシーンが再生されたとき、そのシーンをカットしたり、あらかじめ用意された別のシーンに差し替えて再生します。

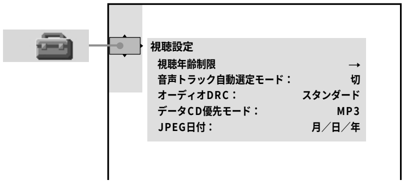


1　停止中にDVD設定ボタンを押す

設定画面が表示されます。

2　↑/↓で「視聴設定」を選び、決定を押す

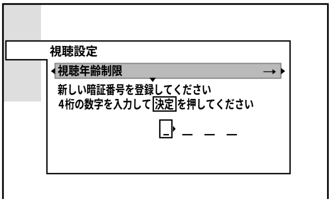
「視聴設定」画面が表示されます。



3 ↑/↓で「視聴年齢制限→」を選び、決定を押す

暗証番号が登録されていないとき

暗証番号登録の画面が表示されます。

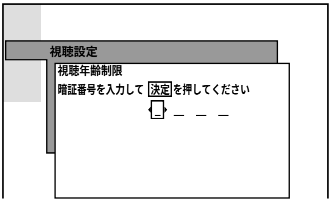


数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押します。

暗証番号確認の画面が出ます。

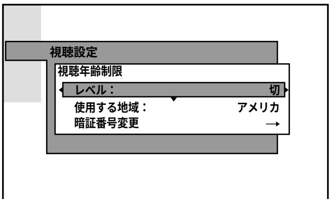
暗証番号がすでに登録されているとき

暗証番号入力の画面が出ます。



4 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す

視聴制限のレベル設定および、暗証番号の変更の画面が表示されます。



5 ↑/↓で「使用する地域」を選び、決定を押す

「使用する地域」の選択項目が表示されます。



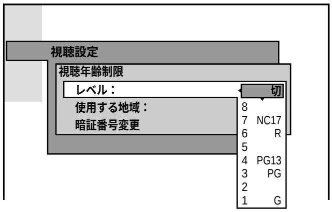
6 ↑/↓で視聴制限レベルの基準にする地域を選び、決定を押す

地域が選ばれます。

「その他→」を選んだときは、121ページの表から地域コードを選び、数字ボタンで入力します。

7 決定を押す

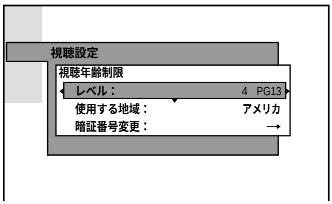
「レベル」の選択項目が表示されます。



8 ↑/↓で制限するレベルを選び、決定を押す

視聴年齢制限の設定が終了します。

レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。



間違えたときは
◀または リターン↩を押して1つ前の画面に戻り、選び直す。

画面表示を消す
DVD設定ボタンを押す。

視聴年齢制限を解除する
手順8で「レベル」を「切」にする。

暗証番号を変更する
1 手順5で↓を使って「暗証番号変更→」を選び、決定を押す。
暗証番号入力の画面が出ます。

2 もう一度手順3と同じ操作をして、新しい暗証番号を登録する。

視聴年齢制限 － 再生する

1 ディスクを入れて、DVDの▶を押す

視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。

2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す

再生が始まります。

ちょっと一言

登録した暗証番号を忘れてしまったときは、ディスクを取り出し、「視聴年齢制限 － 設定する」（118ページ）の手順1～3にしたがって操作します。暗証番号を入力する案内が表示されたら、6桁の数字「199703」を数字ボタンで入力して決定を押します。画面に、新しい4桁の暗証番号を登録する案内が表示されます。
新しい暗証番号を入力して、ディスクを本機に入れなおし、DVDの▶を押します。暗証番号入力画面が表示されるので、新しい暗証番号を入れます。

ご注意

- 視聴年齢制限機能がないDVDは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- DVDによっては、再生中に視聴年齢設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。
  リジューム再生が解除されたら、通常のレベルに戻してください。

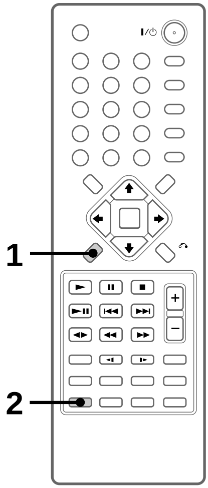
地域コード

使用する地域	コード番号
アルゼンチン	2044
イギリス	2184
イタリア	2254
インド	2248
インドネシア	2238
オーストラリア	2047
オーストリア	2046
オランダ	2376
カナダ	2079
韓国	2304
シンガポール	2501
スイス	2086
スウェーデン	2499
スペイン	2149
タイ	2528
台湾	2543
中国	2092
チリ	2090
デンマーク	2115
ドイツ	2109
日本	2276
ニュージーランド	2390
ノルウェー	2379
パキスタン	2427
フィリピン	2424
フィンランド	2165
ブラジル	2070
フランス	2174
ベルギー	2057
ポルトガル	2436
香港	2219
マレーシア	2363
メキシコ	2362
ロシア	2489

経過時間と残り時間を見る

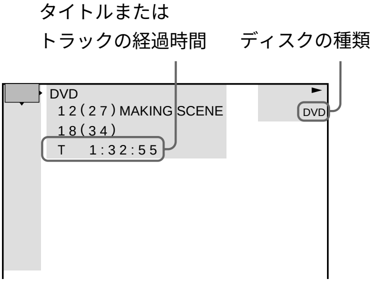
DVD　CD　VIDEO CD　MP3

再生中のタイトルやチャプター、トラックの経過時間と残り時間、ディスク全体の経過時間と残り時間を見ることができます。



1 **再生中にDVD画面表示ボタンを押す**

コントロールメニュー画面が表示されます。



次のページへ続く

2 DISPLAYを押して、時間表示を切り換える

表示や切り換えできる時間の種類はディスクによって異なります。

DVDのとき

- T　＊＊：＊＊：＊＊
  タイトルの経過時間
- T－＊＊：＊＊：＊＊
  タイトルの残り時間
- C　＊＊：＊＊：＊＊
  チャプターの経過時間
- C－＊＊：＊＊：＊＊
  チャプターの残り時間
- ＊＊：＊＊：＊＊
  メニューまたはチャプターが付いていないタイトルの経過時間

ビデオCDをPBC再生しているとき

- ＊＊：＊＊
  シーンの経過時間

ビデオCD（PBC再生中以外）／CDのとき

- T　＊＊：＊＊
  トラックの経過時間
- T－＊＊：＊＊
  トラックの残り時間
- D　＊＊：＊＊
  ディスクの経過時間
- D－＊＊：＊＊
  ディスクの残り時間

MP3のとき

- T　＊＊：＊＊
  トラックの経過時間
- T－＊＊：＊＊
  トラックの残り時間

画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

ご注意

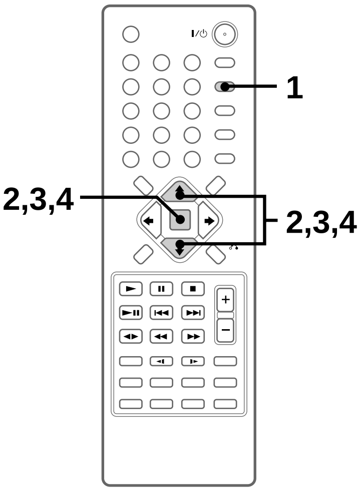
- 表示できる文字はアルファベットと数字のみです。
- ディスクによっては、テキストが全て表示されない場合があります。

設定画面を使う

DVD　CD　VIDEO CD　MP3　JPEG

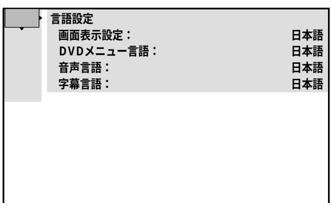
設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVDの字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。設定画面の項目について詳しくは、125ページをご覧ください。
設定画面はテレビ画面で操作します。あらかじめテレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでディスクの映像が映るようにしてください。

設定画面の使い方



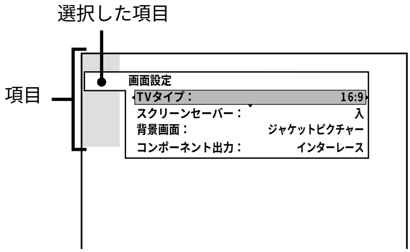
1　停止中にDVD設定ボタンを押す

設定画面が表示されます。



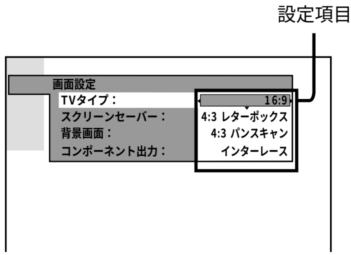
2　↑/↓で「言語設定」「画面設定」「視聴設定」の中から、設定したい項目を選び、決定を押す

選択した項目の画面が表示されます。
例）「画面設定」



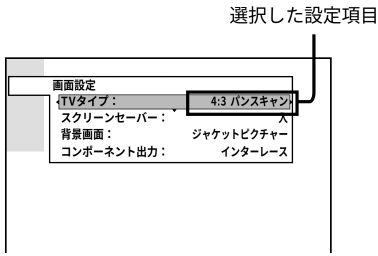
3　↑/↓で項目を選び、決定を押す

項目の設定項目が一覧表示されます。
例）「TVタイプ」の設定項目



4　↑/↓で設定項目を選び、決定を押す

設定項目が選ばれ、設定が終了します。
例）「4:3パンスキャン」



DVDの設定をする

次のページへ続く

画面表示を消す

DVD設定ボタンを押す。

ちょっと一言

手順2で「リセット」を選ぶと、視聴年齢制限を除くすべての設定画面項目（125ページ）をお買い上げ時の設定に戻すことができます。
「リセット」を選び決定を押したあと、「はい」を選び、決定を押します。リセットが完了するまで数秒かかります。
リセット中は**I**/⏻（電源）を押して、電源を切らないでください。

設定画面項目一覧表

下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

言語設定（127ページ）

画面表示言語	日本語 ENGLISH
DVDメニュー言語	日本語 英語 中国語 ドイツ語 フランス語 イタリア語 スペイン語 ポルトガル語 オランダ語 デンマーク語 スウェーデン語 フィンランド語 ノルウェー語 ロシア語 その他→
音声言語	DVDメニュー言語と同じ
字幕言語	DVDメニュー言語と同じ

画面設定（127ページ）

TVタイプ	16:9 4:3レターボックス 4:3パンスキャン
スクリーンセーバー	入 切
背景画面	ジャケットピクチャー グラフィックス 青 黒
コンポーネント出力	インターレース プログレッシブ

次のページへ続く

視聴設定（129ページ）

視聴年齢制限→（116ページ）	
音声トラック自動選定モード	切 入
オーディオDRC	切 スタンダード 最大
データCD優先モード	MP3 JPEG
JPEG日付	月／日／年 年／月／日 日／月／年 年／日／月

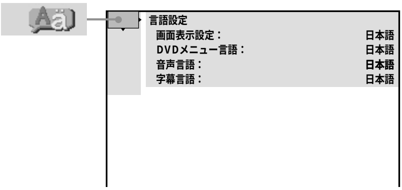
スピーカー設定（130ページ）

LFE	入 切

表示言語や音声言語の設定（言語設定）

DVD CD VIDEO CD MP3 JPEG

言語設定画面では、画面や音声の言語を設定することができます。
設定画面で「言語設定」を選びます。詳しくは「設定画面を使う」（123ページ）をご覧ください。



- **画面表示言語**

画面の表示言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。

- **DVDメニュー言語（DVDのみ）**

DVDメニューの言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。

- **音声言語（DVDのみ）**

音声の言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。

- **字幕言語（DVDのみ）**

字幕の言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。

ちょっと一言

「DVDメニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で「その他→」を選んだときは、言語コード一覧表（178ページ）から言語コードを選び入力してください。
数字ボタンで言語コードを入力します。
次からは4桁の数字の言語コードが表示されます。

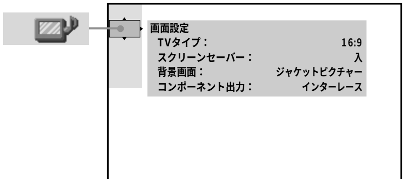
ご注意

選んだ言語がディスクに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます（「画面表示言語」を除く）。

画像に関する設定（画面設定）

DVD CD VIDEO CD MP3 JPEG

接続するテレビに合わせて設定します。
お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。
設定画面で「画面設定」を選びます。詳しくは「設定画面を使う」（123ページ）をご覧ください。



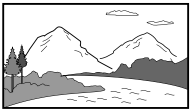
- **TVタイプ（DVDのみ）**

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の4:3画面テレビ）を設定します。

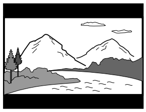
<u>16:9</u>	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき。
4:3 レターボックス	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する。
4:3 パンスキャン	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する。

次のページへ続く

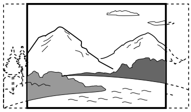
16:9



4:3 レターボックス



4:3 パンスキャン



ご注意

DVDによっては「4:3 レターボックス」あるいは「4:3 パンスキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

• スクリーンセーバー

一時停止または停止したままで15分経つか、CDやMP3、JPEG（スライドショー表示中以外）を15分以上再生すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。DVDの►を押すと、スクリーンセーバー画面は消えます。

<u>入</u>	スクリーンセーバーを使う。
切	スクリーンセーバーを使わない。

• 背景画面

停止中やCD再生中などの、画面の背景色や背景画面を設定します。

<u>ジャケットピクチャー</u>	ディスク（CD-EXTRAなど）にあらかじめ記録されているジャケットピクチャー（静止画像）を背景画面にする。ディスクにジャケットピクチャーが記録されていないときは、「グラフィックス」の画像が表示される。
グラフィックス	あらかじめ本機に記録されているグラフィックピクチャーを背景画面にする。
青	画面の背景色を「青」にする。
黒	画面の背景色を「黒」にする。

• コンポーネント出力

本機のCOMPONENT VIDEO OUT端子から出力される映像信号の方式を設定します。

<u>インターレース</u>	標準のテレビ（インターレース方式）とつなぐとき。
プログレッシブ	プログレッシブ525p方式に対応したテレビとつなぐとき。

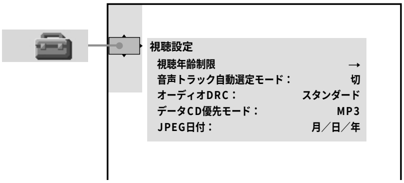
ご注意

「コンポーネント出力」を「プログレッシブ」に設定すると、S VIDEO OUT端子やVIDEO OUT端子から映像は出力されなくなります。プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビとつないでいるときに「プログレッシブ」に設定すると、映像が出なくなります。映像が出ないときは、本体のDEMO/DISPLAYと⏮を同時に押してください。設定が自動的に「インターレース」に切り換わります。

視聴に関する設定
（視聴設定）

DVD CD VIDEO CD MP3 JPEG

視聴年齢制限などを設定します。
お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。
設定画面で「視聴設定」を選びます。詳しくは「設定画面を使う」（123ページ）をご覧ください。



• 視聴年齢制限→（DVDのみ）
暗証番号を登録して、視聴年齢制限のあるDVDの再生を制限する設定をします。詳しくは「ディスクの再生を制限する（カスタム視聴制限／視聴年齢制限）」（116ページ）をご覧ください。

• 音声トラック自動選定モード（DVDのみ）
複数の音声記録方式が用意されているDVDを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声記録方式（PCM、DTS、ドルビーデジタル）を優先して再生することができます。

切	優先しない。
入	優先する。

ご注意
- この設定を「入」にすると、言語が切り換わることがあります。これは「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」（127ページ）より優先されるためです。
- PCM、DTS、ドルビーデジタルのチャンネル数が同じ場合、PCM、DTS、ドルビーデジタルの順で優先されます。
- DVDによっては優先する音声があらかじめ決められていることがあります。この場合「入」に設定しても、チャンネル数の多い音声記録方式が優先されないことがあります。

• オーディオDRC（Dynamic Range Compression）
サウンドトラックのダイナミックレンジを狭くします。夜遅く、小さな音量で映画を見たいときに便利です。

切	ダイナミックレンジの圧縮はありません。
スタンダード	レコーディングエンジニアが意図したようなダイナミックレンジでサウンドトラックを再現します。
最大	ダイナミックレンジを極端に狭くします。

ご注意
オーディオDRCはソースがドルビーデジタルのときのみ有効です。

• データCD優先モード（MP3、JPEGのみ）
MP3ファイルとJPEGファイルが混在するデータCD（CD-ROM/CD-R/CD-RW）ディスクを再生する際、どちらのファイルを優先して認識するか設定します。

MP3	MP3ファイルが存在する場合「MP3ディスク」として認識します。MP3ファイルが存在せず、JPEGファイルが存在する場合は「JPEGディスク」として認識します。
JPEG	JPEGファイルが存在する場合「JPEGディスク」として認識します。JPEGファイルが存在せず、MP3ファイルが存在する場合は、「MP3ディスク」として認識します。

ご注意
マルチセッションで書き込んだデータCDの場合、最終セッションおよび最終セッションからリンクを張ったセッションが再生対象になります。

次のページへ続く

• JPEG日付

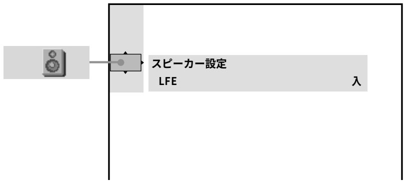
JPEG日付の表示順序を切り換えます。お買い上げ時の設定は「月／日／年」です。
JPEGファイルでExif*タグに撮影した日付の情報が記録されている場合、再生中にDVD画面表示ボタンを押すと、その日付情報を見ることができます。

* Exchangeable Image File Formatは日本電子工業振興協会が制定したデジタルカメラ用画像ファイルフォーマット規格です。

スピーカーに関する設定（スピーカー設定）

DVD CD VIDEO CD MP3

ディスクに記録されているLFE（低音増強信号）チャンネルを再生することで、重低音を強調できます。
お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。
設定画面で「スピーカー設定」を選びます。
詳しくは「設定画面を使う」（123ページ）をご覧ください。



• LFE

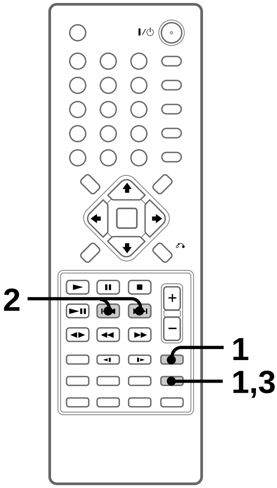
入	LFEチャンネルを再生します。
切	LFEチャンネルを再生しません。

ご注意

DVDを録音中に雑音が多い場合は、「LFE」を「切」に設定してください。

表示窓の明るさを変える

電源が入っている状態のときと、電源が切れている状態のときの、それぞれの表示窓の明るさを変えることができます。



電源が入っている状態のとき表示窓を暗くする

1 **電源が入っている状態で、MODE（モード）をくり返し押して、「DIMMER?（ディマー）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す**

2 **⏮ または⏭をくり返し押して、「DIMMER 1（ディマー）」か「DIMMER 2（ディマー）」、「DIMMER 3（ディマー）」のいずれかを選ぶ**

「DIMMER 1」、「DIMMER 2」、「DIMMER 3」の順に暗くなります。

3 **ENTER/YES（エンター/イエス）を押す**

表示窓を明るくする

手順2で「DIMMER OFF」を選ぶ。

電源が切れている状態のとき表示窓を明るくする

1 **電源が切れている状態で、MODE（モード）をくり返し押して、「OFF-LIGHT（オフ ライト）」を表示させる**

2 **⏮ または⏭をくり返し押して、「OFF-LIGHT 1（オフ ライト）」か「OFF-LIGHT 2（オフ ライト）」、「OFF-LIGHT 3（オフ ライト）」のいずれかを選ぶ**

「OFF-LIGHT 1」、「OFF-LIGHT 2」、「OFF-LIGHT 3」の順に明るくなります。

3 **ENTER/YES（エンター/イエス）を押す**

表示窓を暗くする

手順2で「OFF－LIGHT OFF」を選ぶ。

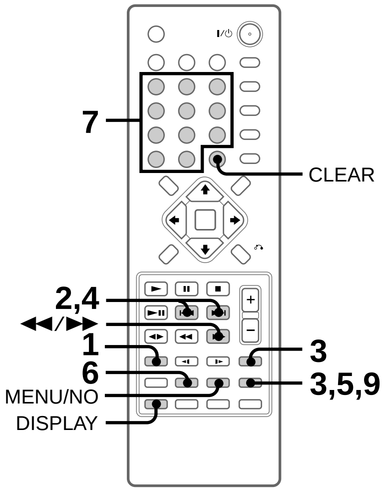
ご注意

低消費電力待機モード（16ページ）のときは、表示窓の明るさは自動的に「OFF-LIGHT OFF」（消灯）になります。

記憶させたラジオ局に名前を付ける

最大10文字まで名前を付けられます。名前はプリセット受信したときに表示されます。

プリセット方法については、「ラジオ局を本機に記憶させる」（16ページ）をご覧ください。



1 TUNER（チューナー）/BAND（バンド）**をくり返し押して、「FM」か「AM」を選ぶ**

2 PRESET（プリセット） **＋またはーをくり返し押して、名前を付けたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ**

3 MODE（モード）**をくり返し押して「**FM TITLE（タイトル）?**」または「**AM TITLE（タイトル）?**」を表示させ、**ENTER（エンター）/YES（イエス）**を押す**

ラジオ局名の候補が表示されます。

4 ⏮または⏭をくり返し押して、希望のラジオ局名を選ぶ

候補の中に希望のラジオ局名があるときは

1 ⏮または⏭をくり返し押して、希望のラジオ局名を選ぶ。

2 手順9に進む。

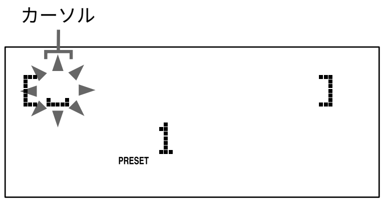
候補の中に希望のラジオ局名がないときは

1 ⏮または⏭をくり返し押して、「USER Title」を選ぶ。

2 手順5に進む。

5 ENTER（エンター）/YES（イエス）**を押す**

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。



すでに局名が付いているときは、付いている局名が表示されます。

6 NAME EDIT/SELECTを押して、文字の種類を選ぶ

押すたびに次のように変わります。
「Selected AB」（アルファベット大文字）＊
→「Selected ab」（アルファベット小文字）＊
→「Selected ア」（カタカナ）＊＊
→「Selected 12」（数字）
→「Selected AB」（アルファベット大文字）＊

＊ 数字ボタンの1をくり返し押すと、以下の記号を表示できます。
´ –/,. ():!?
また、記号が表示されているときに⏮または⏭をくり返し押すと、さらに以下の記号を表示できます。
&+<>_=“;#$%@＊`

＊＊通常の五十音に加え、小文字のアイウエオヤユヨツを表示できます。また、>10ボタンをくり返し押すと、濁点や半濁点など（゛ ゜ –,.）を表示できます。ただし、濁点（゛）は「ウ」、「カ／サ／タ／ハ行」、半濁点（゜）は「ハ行」の文字のあとにのみ入力できます。

7 入力したい文字に対応するアルファベット／数字／カタカナ入力ボタンを押す

アルファベット／カタカナを選んだとき

1 入力したい文字があるボタン（ABC、DEFまたはア（行）、カ（行）など）をくり返し押して、希望の文字を表示させる。
⏮または⏭をくり返し押しても、文字を切り換えることができます。

2 ⏩を押す。
入力した文字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

数字を選んだとき

押したボタンの数字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

スペース（空き）を入力するには

1 NAME EDIT/SELECTを押して、「Selected AB」または「Selected ab」を選ぶ。

2 10/0を押す。
スペース（空き）が入力され、カーソルが次の位置で点滅します。

8 手順6と7をくり返して、名前を付ける

文字を変更するには

⏪または⏩をくり返し押して、変更したい文字を点滅させ、CLEARを押して文字を消してから手順6と7をくり返す。

9 ENTER/YESを押す

「Complete!」が表示され、局名が本機に記憶されます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

受信中にプリセット番号と周波数を確認する

名前を付けたラジオ局をプリセット受信すると、付けた局名が表示されます。
プリセット番号と周波数を確認するには、DISPLAYを押します。再び局名を表示するには、もう一度DISPLAYを押します。

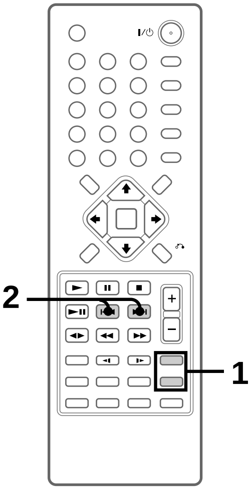
付けた局名を消す

1 手順1～5を行う。
2 CLEARをくり返し押して、名前を消す。
3 ENTER/YESを押す。

ちょっと一言
本体のMULTI JOGを上下に回しても、ラジオ局名または「USER Title」を選べます。

音楽を聞きながら眠る
（スリープタイマー）

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分単位で設定できます。



1 MODE（モード）をくり返し押して、「SLEEP?（スリープ）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

2 ⏮ または⏭を押す

押すたびに時間が次のように変わり、しばらくすると元の表示に戻ります。表示された時間がたつと、電源が切れます。

→ SLEEP OFF（スリープ解除）→ AUTO
10分 ← … ← 80分 ← 90分

残り時間を確認する
MODEをくり返し押して、「SLEEP?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
「AUTO」設定時は表示されません。

途中で時間を変える
1 MODEをくり返し押して、「SLEEP?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
2 ⏮ または⏭をくり返し押して、時間を選び直す。

スリープタイマーを解除する
1 MODEをくり返し押して、「SLEEP?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
2 ⏮ または⏭をくり返し押して、「SLEEP OFF」を表示させる。

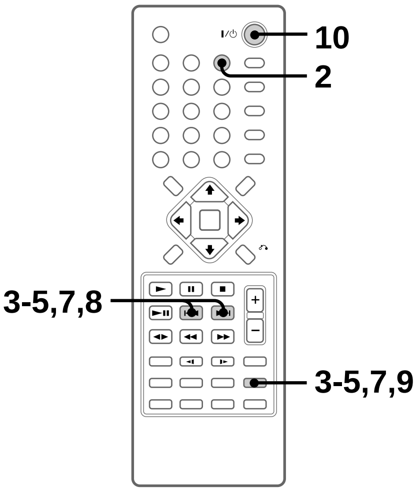
「AUTO（オート）」を選んだときは
再生中のディスクやMD、テープが終了すると、自動的に電源が切れます。ただし、100分たつとディスクやMD、テープの再生中でも自動的に電源が切れます。

ちょっと一言
スリープタイマーは、時計合わせをしていなくても使用できます。

ご注意
MDやテープにシンクロ録音するときは、スリープタイマーは設定しないでください。

目覚ましとして使う
（ウィークリータイマー）

指定した曜日、時刻に自動的に電源が入り、切れるように設定できます。ウィークリータイマー録音（137ページ）と合わせて、3つの異なる設定をすることができます。あらかじめ時計を合わせておきます（14ページ）。



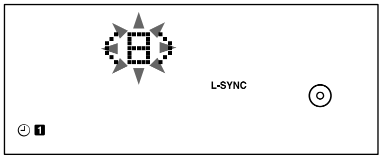
1 **CDなどの音源を準備する**

- DVDやCD：ディスクを入れる。好きなトラックから再生したいときはプログラムする（43ページ）。
- MD：MDを入れる。好きな曲から再生したいときはプログラムする（55ページ）。
- テープ：カセットテープを入れる。
- ラジオ：プリセット受信する（33ページ）。
- 別売りの機器：別売りの機器をつなぐ（143ページ）。

2 **TIMERをくり返し押して、「TIMER 1」か「TIMER 2」、「TIMER 3」のいずれかを選ぶ**

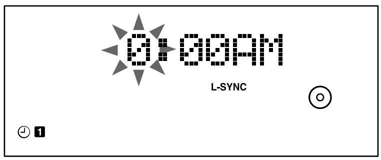
3 **⏮または⏭をくり返し押して、「PLAY」を表示させ、ENTER/YESを押す**

「曜日」が点滅します。
連続した曜日を設定するときは、「～」を選びます。
（例）月曜から土曜まで毎日：
（月）～（土）



4 **⏮または⏭をくり返し押して、「曜日」を合わせ、ENTER/YESを押す**

「ON TIME」が表示されたあと、「時」が点滅します。
（正午は0：00PM、真夜中は0：00AMです。）



5 **開始時刻を合わせる**

⏮または⏭をくり返し押して、「時」を合わせ、ENTER/YESを押す。
「分」が点滅します。
⏮または⏭をくり返し押して、「分」を合わせ、ENTER/YESを押す。
「OFF TIME」が表示されたあと、再び「時」が点滅します。

次のページへ続く

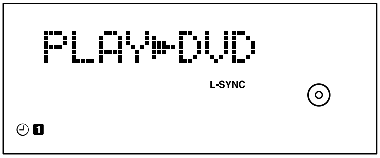
6　終了時刻を合わせる

手順5と同じ操作をして「時」、「分」を合わせると、次に音源が表示されます。

7　|◀◀ または▶▶|をくり返し押して、音源を選び、ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

押すたびに次のように変わります。

→ MD → DVD → TUNER
AUX ← TAPE ←



8　|◀◀ または▶▶|をくり返し押して、タイマー開始時の音量を設定する

9　ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

曜日設定、開始時刻、終了時刻、音源、音量の順に表示され、元の表示に戻ります。

10　電源を切る

その他の操作

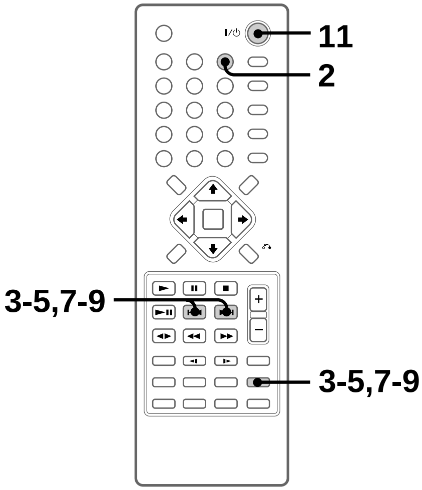
こんなときは	操作
設定を確認する	**1** TIMERをくり返し押して、「TIMER 1」か「TIMER 2」、「TIMER 3」の中から確認したい設定を選ぶ。 **2** |◀◀ または▶▶|をくり返し押して、「PLAY」を表示させる。 しばらくすると、登録した内容が順に表示され、元の表示に戻ります。
設定を変更する	手順1からやり直す。
タイマーを止める	**1** TIMERをくり返し押して、「TIMER 1」か「TIMER 2」、「TIMER 3」の中から働かせたくない設定を選ぶ。 **2** |◀◀ または▶▶|をくり返し押して「OFF」を表示させ、ENTER/YESを押す。

ご注意

- ウィークリータイマー設定では受信するラジオ局を選べません。手順7で「TUNER」を選んだときは、タイマー動作前に受信していたラジオ局が受信されます。
- ウィークリータイマーが働いているときにスリープタイマーを使用した場合は、スリープタイマーが優先されます。
- 録音タイマーと同じ時刻に動くように設定した場合は、録音タイマーが優先されます。
- 「TIMER 1」、「TIMER 2」、「TIMER 3」を同時に使用した場合は、数字の小さい順に優先されます。
- 電源は開始時刻の約15秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- 手順1で別売りの機器を選んだときは、本機でウィークリータイマーを設定したあと、つないだ別売りの機器でもタイマーが同じ時刻に働くように設定してください。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

タイマーを使って録音する
（ウィークリータイマー録音）

本機のラジオや、AUX IN端子につないだ外部機器からタイマー録音ができます。ウィークリータイマー（135ページ）と合わせて、3つの異なる設定をすることができます。
あらかじめラジオ局を記憶させ（16ページ）、時計を合わせておきます（14ページ）。



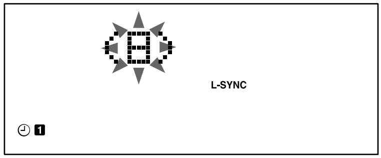
1　録音したい音源を準備する

- ラジオ：プリセット受信する（33ページ）
- 別売りの機器：別売りの機器をつなぐ（143ページ）。

2　TIMER（タイマー）をくり返し押して、「TIMER（タイマー） 1」か「TIMER（タイマー） 2」、「TIMER（タイマー） 3」のいずれかを選ぶ

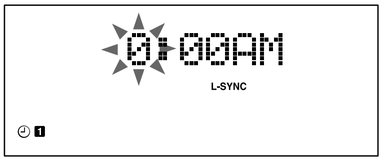
3　⏮または⏭をくり返し押して「REC（レコーディング）」を表示させ、ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

「曜日」が点滅します。
連続した曜日を設定するときは、「～」を選びます。
（例）月曜から土曜まで毎日：
（月）～（土）



4　⏮または⏭をくり返し押して、「曜日」を合わせ、ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

「ON TIME」が表示されたあと、「時」が点滅します。
（正午は0:00PM、真夜中は0:00AMです。）



5　開始時刻を合わせる

⏮または⏭をくり返し押して、「時」を合わせ、ENTER/YESを押す。
「分」が点滅します。
⏮または⏭をくり返し押して、「分」を合わせ、ENTER/YESを押す。
「OFF TIME」が表示されたあと、再び「曜日」または「時」が点滅します。

次のページへ続く

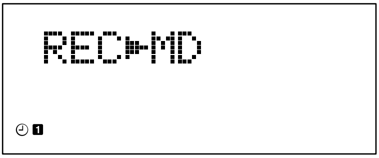
6 終了時刻を合わせる

手順4と5と同じ操作をして（「曜日」）「時」、「分」を合わせると、次に音源が表示されます。

7 ⏮または⏭をくり返し押して、録音する音源を選び、ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

8 ⏮または⏭を押して、「REC▶MD（レコーディング）」か「REC▶TAPE（レコーディング テープ）」のいずれかを選び、ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

（例）MDを選んだとき



9 MDに録音するときは⏮または⏭をくり返し押して、録音モード（LP2など）を選び、ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

プリセットした内容が表示されて、元の表示に戻ります。

10 録音用のMDまたはテープを入れる

録音済みのMDの場合、録音済みの曲のあとに録音されます。
テープは上の面から録音されます。録音したい面を上にして入れてください。

11 電源を切る

その他の操作

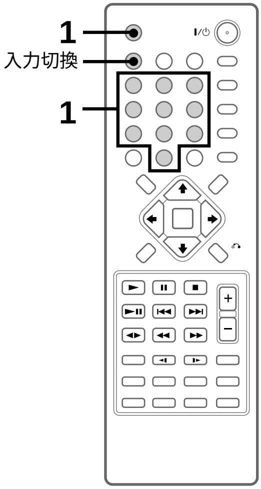
こんなときは	操作
設定を確認する	**1** TIMERをくり返し押して、「TIMER 1」か「TIMER 2」、「TIMER 3」の中から確認したい設定を選ぶ。 **2** ⏮または⏭をくり返し押して「REC」を表示させる。 しばらくすると、登録した内容が順に表示され、元の表示に戻ります。
設定を変更する	手順1からやり直す。
タイマー録音を止める	**1** TIMERをくり返し押して、「TIMER 1」か「TIMER 2」、「TIMER 3」の中から働かせたくない設定を選ぶ。 **2** ⏮または⏭をくり返し押して「OFF」を表示させ、ENTER/YESを押す。

ご注意

- ウィークリータイマー録音設定では録音するラジオ局を選べません。手順7で「TUNER」を選んだときは、タイマー動作前に受信していたラジオ局が録音されます。
- 録音タイマーが働いているときにスリープタイマーを使用した場合は、スリープタイマーが優先されます。
- ウィークリータイマーと同じ時刻に動くように設定した場合は、録音タイマーが優先されます。
- 「TIMER 1」、「TIMER 2」、「TIMER 3」を同時に使用した場合は、数字の小さい順に優先されます。
- ウィークリータイマーの音源をテープにしているとき、同時に録音タイマーを設定すると、テープに録音されることがあります。
- 電源は開始時刻の約40秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまで、「Welcome」と「VOLUME」が交互に表示されますが、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- 開始時刻の約40秒前にすでに電源が入っていると、録音タイマーが働かず録音されません。
- 録音中、ボリュームは最小になります。
- MDに録音するときに、グループ機能を働かせてタイマー録音を設定した場合、グループを指定していなければ、新しいグループを作って録音します。
- 別売りの機器から録音するときは、本機でウィークリータイマー録音を設定したあと、つないだ別売りの機器でもタイマーが同じ時刻に働くように設定してください。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

付属のリモコンでテレビを操作する

リモコン信号をお使いのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビの電源などを操作できます。



1 **テレビ電源ボタンを押したまま、数字ボタンでテレビのメーカー番号（2桁）を入力する。**

2 **入力したあとテレビ電源ボタンを離す。**

次のページへ続く

その他の機能

付属のリモコンでテレビを操作する（つづき）

メーカー番号

メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してテレビが操作できるものを選んでください。

メーカー名	メーカー番号
アイワ	01（お買い上げ時の設定）、17
ソニー	01（お買い上げ時の設定）、12
三洋電機	07、15
シャープ	08、16
東芝	03
日本ビクター	06
パイオニア	10
日立製作所	04
富士通ゼネラル	11
フナイ	14
松下電器	02、13
三菱電機	05
NEC	09
SAMSUNG	18

以下のボタンでテレビの操作ができます。

押すボタン	できること
テレビ電源	テレビの電源を入／切する。
入力切換	テレビの入力を切り換える。

ご注意

- テレビによってはメーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。また、本来の動作とは異なった動作をすることもあります。
- メーカー番号を入力すると、それまでのメーカー番号は消えます。
- リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー番号が自動的にお買い上げ時の設定に戻ることがあります。その場合は、メーカー番号をもう一度合わせ直してください。

使用できる機器一覧

▶ DIGITAL OUT（OPTICAL）**出力端子へ**
デジタル接続ケーブル（角型、別売り）を使って、デジタル入力端子のあるMDデッキまたはDATデッキなどを接続できます。CDまたはDVDの音声がリニアPCMの場合は、リニアPCM出力されます。
DVDの音声がドルビーデジタルまたはDTSの場合は、音声情報がビットストリーム出力されます。また、ドルビーデジタルまたはDTSデコーダー付AVアンプのデジタル入力端子と接続して、アンプの機能を使った5.1ch（チャンネル）の音声を楽しむことができます。
ビデオCDやMP3、MDなどのディスクやテープ、ラジオ、AUX IN端子につないだ機器の音声は出力されません。

▶ AUX IN**入力端子へ**
オーディオ接続コード（別売り）を使って、カセットデッキやレコードプレーヤーなどを接続できます。

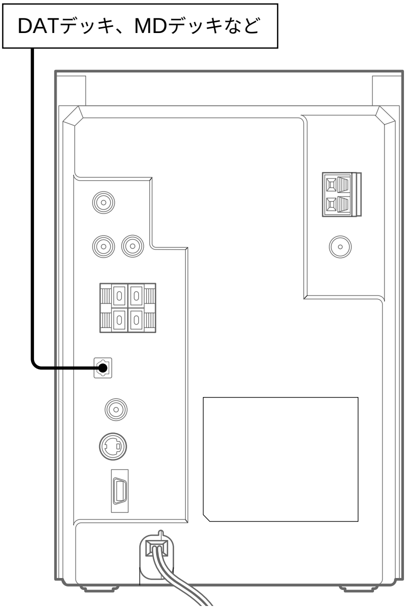
▶ SUB WOOFER**端子へ**
オーディオ接続コード（別売り）を使って、サブウーファーを接続できます。

ちょっと一言
5.1chドルビーデジタル音声または5.1ch DTS音声を出力するには、「音声を切り換える」（113ページ）をご覧ください。

ご注意
- コピーが禁止されているディスクの場合、本機のMDデッキや本機につないだデジタル機器を使ってデジタル録音をすることはできません。また、つなぐ機器によって再生できない場合があります。
- 「音声」を「1/L」または「2/R」に設定しても（113ページ）、CDのリニアPCM出力はステレオ出力になります。
- DVDのリニアPCM出力は、再生するディスクにかかわらず48kHzのサンプリング周波数で出力されます。
- ドルビーデジタルまたはDTSに対応していない光デジタル入力端子につないでドルビーデジタルまたはDTSのビットストリームを出力すると、つないだ機器から雑音が出る場合があります。

本機からデジタル機器に録音する

CDまたはDVDの音声がリニアPCMの場合、デジタル接続ケーブル（角型、別売り）を使って、DIGITAL OUT（OPTICAL）出力端子と別売りのデジタル機器の光デジタル入力端子を接続することによって、本機からDATデッキやMDデッキなどへデジタル録音できます。
つなぐデジタル機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



1 デジタル接続ケーブル（角型、別売り）をつなぐ

2 FUNCTIONをくり返し押して、「DVD」を表示させる

次のページへ続く

3 DAT**デッキなど、つないだデジタル機器の録音を始める**

4 DVD**►II を押して、再生を始める**

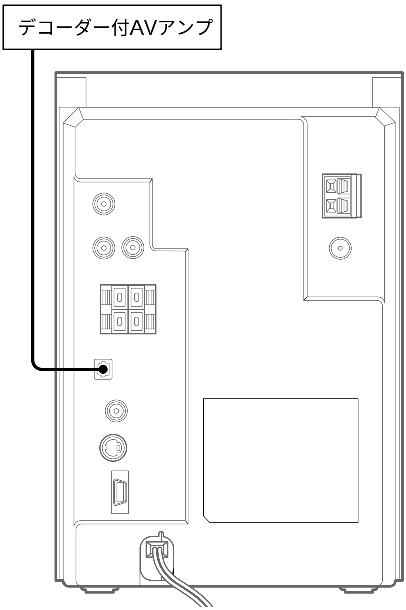
ご注意

- 高速CD-MDシンクロ録音はできません。
- 次の場合、デジタル録音をすることはできません。
  - －コピーが禁止されているDVD
  - －DVDのドルビーデジタルまたはDTSのビットストリーム出力
  - －音楽用フォーマットで記録されたCD-R/CD-RW*

* つないだデジタル機器で再生はできます。

別売りのアンプをつないで5.1chを楽しむ

デジタル接続ケーブル（角型、別売り）を使って、DIGITAL OUT（OPTICAL）出力端子と別売りのドルビーデジタルまたはDTSデコーダー付AVアンプの光デジタル入力端子を接続することによって、アンプの機能を使った5.1ch（チャンネル）の音声を楽しむことができます。アンプに6台のスピーカーをつないでください。
スピーカーの配置については、つなぐアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。



ちょっと一言

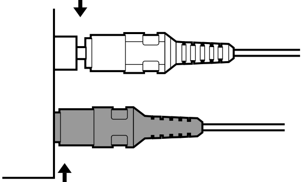
この接続でお勧めのサラウンド効果は、アンプによる5.1chドルビーデジタル音声（176ページ）やアンプによる5.1ch DTS音声（177ページ）です。本機のサラウンド効果はお楽しみいただけません。

カセットデッキ、レコードプレーヤーなどをつなぐ

オーディオ接続コード（別売り）を使ってつなぎます。つないだ機器のアナログ音声はMDへアナログ録音されます。
つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

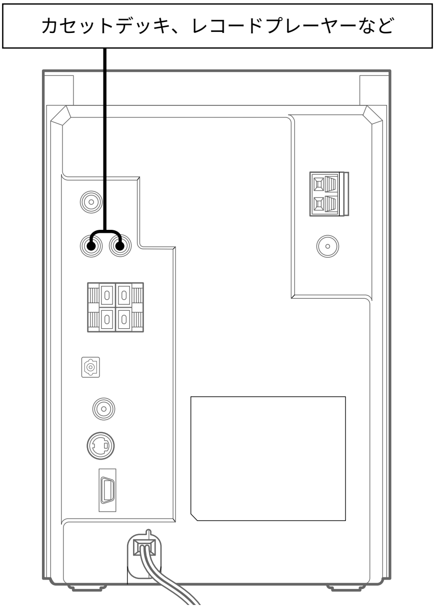
オーディオ接続コード（別売り）の差し込みかた

オーディオ接続コード（別売り）を使って他のAV機器をつなぐとき、コードのプラグは奥までしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まれていないと音が出ません。



別売りのカセットデッキやレコードプレーヤーなどをつなぐ

本機のAUX IN入力端子に接続します。



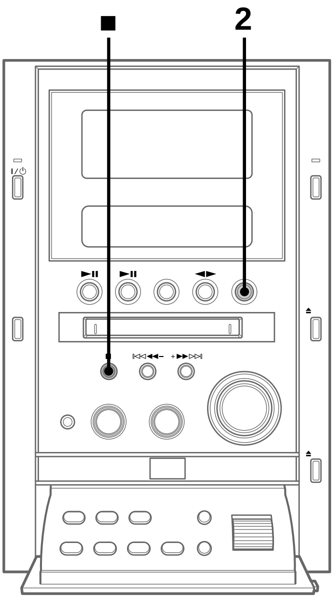
ちょっと一言

イコライザーアンプが内蔵されていないレコードプレーヤーを接続するときは、本機とプレーヤーの間に、イコライザー（市販）をつないでください。
イコライザーアンプが内蔵されているかどうかは、お使いになっているプレーヤーの製造元へお問い合わせください。

次のページへ続く

カセットデッキ、レコードプレーヤーなどをつなぐ（つづき）

つないだ機器の音を聞く



1　アナログ機器側の準備をする

2　FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、「AUX」を表示させる

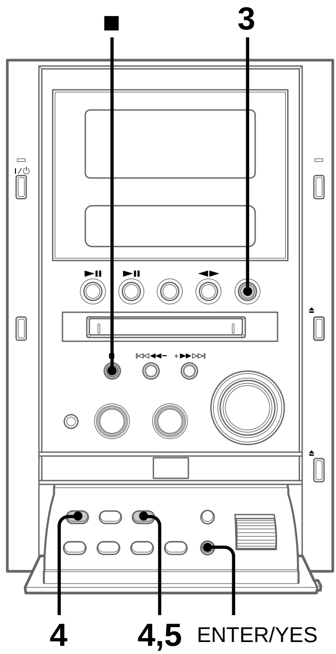
つないだアナログ機器の音が聞こえます。

ちょっと一言

手順2の「AUX」表示をつないだ機器に合わせて変えることができます。
手順2で「AUX」を表示させたあと、■を長く押すと、次のように表示が変わります。

AUX → VIDEO → TV →（AUXに戻る）

つないだ機器の音を録音する



1　アナログ機器側の準備をする

2　録音用のMDまたはテープを入れる

3　FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、「AUX」を表示させる

4　REC SEL（レコーディング セレクト）をくり返し押して、「REC MD（レコーディング）」か「REC TAPE（レコーディング テープ）」、「REC MD/TAPE（レコーディング テープ）」のいずれかを表示させ、REC START/（レコーディング スタート）REC PAUSE（レコーディング ポーズ）を押す

本機のMD（またはテープ）が録音一時停止になります。

5 REC START/REC PAUSE（レコーディング スタート レコーディング ポーズ）を押す

6 録音したい音源の再生を始める

録音を止める

■を押す。

電源コンセントを抜く前に

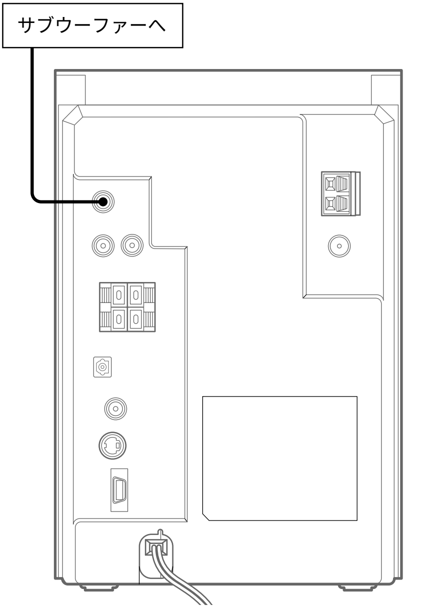
MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「TOC Writing」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ちょっと一言

MDへの録音中に、曲番を付けたいところでENTER/YESを押すと、押したところに曲番が付きます。

サブウーファーをつなぐ

市販のオーディオ接続コードを使ってつなぎます。



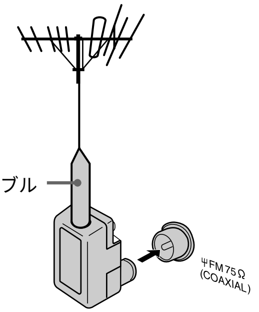
別売りの機器を使う

市販の外部アンテナをつなぐ

付属のアンテナでうまく受信できないときにつなぎます。

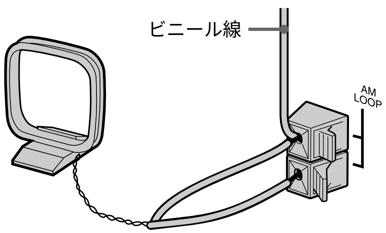
FMアンテナをつなぐ

市販のFM屋外アンテナをつなぎます。



AMアンテナをつなぐ

市販の6〜15mのビニール線を、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。付属のAMループアンテナはつないだままにしておきます。



使用上のご注意

設置時のご注意

- オーディオ機器は、密閉した場所に置いて使用しないで、温度上昇を防ぐために風通しの良い所でお使いください。
- スピーカーの近くに磁気を発生するもの（健康器具、玩具など）を置くと、相互作用でテレビ画面に色むらが起こりやすくなります。設置場所にご注意ください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本体およびスピーカーなどを置くときは、変色、染みなどが残ることがあります。

使用時の放熱について

- 使用中、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側板、底板、通風孔はかなり熱くなります。このような時は、キャビネットなどに触れないようにしてください。火傷などのけがの原因になります。
  また動作中の温度上昇を避ける為に空冷ファンを搭載している機器では、ファンの通風孔付近を塞いで使用すると、機内の温度が上昇して故障の原因になります。
- 電源を切っているにもかかわらず、本機の天板があたたかくなることがありますが故障ではありません。電源コードがコンセントに差し込まれている限り、電源を切っているときでも本機の一部には電流が流れています。それらは、リモコンでの操作の待ち受けや、タイマー動作などのために使われています。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型（JEITA*）のため、テレビのそばで使うことができますが、テレビの種類により色むらが起こる場合があります。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15〜30分後に再びスイッチを入れてください。それでも色むらが残る場合は、スピーカーをさらにテレビから離してください。

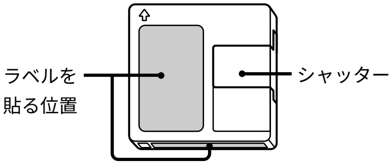
* 電子情報技術産業協会の略称です。

移動時のご注意

- 必ずDVDやCDなどのディスクや、MD、テープを取り出してください。中に入れたまま動かすと、取り出せなくなることがあります。
- 移動する前に、電源が切れ、すべての動作が終了していることを必ず確認してください。

MDの取り扱いかた

- シャッターを無理に開けようとすると、壊れることがあります。シャッターが開いてしまった場合は、内部のディスクに直接触れずに、すぐに閉めてください。
- ディスクに付属のラベルはシャッターの周りなど所定以外の場所には貼らないでください。必ずラベル用のくぼみに貼ってください。くぼみの形はディスクによって異なります。



- 定期的にカートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた布で拭き取ってください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。

ディスクの取り扱いかた

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 本機でお使いいただけるDVDやCDは、円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となります。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- 中古ディスクやレンタルディスクで、シールなどののりがはみ出したり、付着しているディスクは使用しないでください。プレーヤー内部にディスクが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

CD-R/CD-RW再生時のご注意

CD-R/CD-RWドライブで録音されたディスクには、傷や汚れ、また録音状態や録音機の特性等が原因で、再生できないものがあります。また、すべての録音終了時に録音の終わりを記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので、使わないでください。

カセットテープを入れる前に

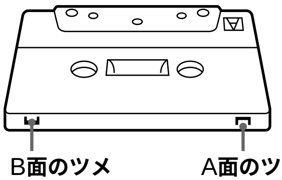
テープのたるみをとってください。たるんでいるとテープが巻き込まれて使えなくなることがあります。

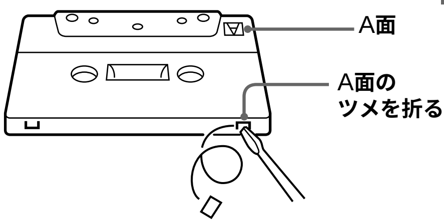
長時間テープの使用は避けてください

90分を超える長時間テープは、テープ自体が薄く伸びやすい性質となっています。
そのため機械に巻き込まれ、本機の故障の原因となる場合があります。ご使用をお避けください。

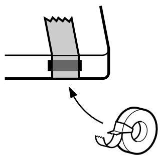
テープの録音内容を消したくないときは

消したくない面の誤消去防止ツメを折ります。





ツメを折っても、折ったツメの部分だけ穴をふさげば再び録音できます。



ヘッドのお手入れ

ヘッドはおよそ10時間使うごとにクリーニングしてください。
汚れがひどくなると、音が悪い、音が小さい、音がとぎれる、前の音が消えないで残る、録音ができない、などの症状が出ます。
また、特に大切な録音をする前や古いテープを使用した後には、かならずクリーニングしてください。
別売りのクリーニングカセット（乾式）C-1KN、または、クリーニングカセット（湿式）CHK-1をお使いください。詳しくはそれぞれのクリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。

ヘッドを消磁する

ヘッドやテープのあたる金属部分は、20〜30時間使うごとに別売りのカセットタイプのヘッド消磁器で消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の取扱説明書をご覧ください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

DVDメニューやタイトルメニュー、ビデオCDのメニュー、本機の設定画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

MDのシステム上の制約

MDではいくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間に達していなくても、「Disc Full!」（ディスク フル）が表示される

255曲録音されると、それ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音するか、別のMDを使ってください。

曲数（最大255曲まで）にも録音時間にも余裕があるのに「Disc Full!」（ディスク フル）が表示される

曲中にエンファシス情報などの入り切りが多く行われたり、録音や編集をくり返し行うと、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full!」が表示されます。

編集時に「Group Full!」（グループ フル）が表示される

- グループ機能が働いているときに編集操作を行うと、「Group Full!」と表示されることがあります。この場合、グループ管理に必要な文字数が不足しています。ディスク名やグループ名などの不要な文字を削除してください。
- グループ機能が働いていないときでも、MOVE、DIVIDEなどの編集操作を行うと、グループ管理情報が更新されるため、「Group Full!」と表示されることがあります。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒*以下の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても、録音できる残り時間が増えないことがあります。

* ステレオ録音時。（モノラル、LP2ステレオ録音時は約24秒、LP4ステレオ録音時は約48秒）

曲をつなげない

編集を行ってできた曲はつなぐことができない場合があります。

ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間と一致しない

通常、録音は約2秒*を最小単位としてディスクに記録します。2秒*に満たない場合でも、実際には2秒*分のスペースを使います。このため、実際に録音できる時間は少なくなります。また、MDに傷があるとその部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

* ステレオ録音時。（モノラル、LP2ステレオ録音時は約4秒、LP4ステレオ録音時は約8秒）

編集した曲を再生しながら早送り、巻戻しすると音が途切れる

再生しながら早送り、巻戻しするときは通常より高速で再生します。このため、短い曲がディスクの上に分散していると探すのに時間がかかり、音が途切れることがあります。

曲番が曲の頭に付かない

レベルシンクロ録音中でも、次のときは曲番が曲の頭に付かないことがあります。

- 曲の間が短くて一定レベル以下になるのが2秒未満のとき
- 曲の途中でも2秒以上一定レベル以下になるとき
- 4秒*以下の曲を録音したとき

* ステレオ、モノラル、LP2ステレオ録音時。（LP4ステレオ録音時は8秒以下）

余分な曲が作られる

CDの曲間が長い場合、余分な曲が作られることがあります。

録音したトラック数が異なる

CDに短い曲が含まれる場合、CDとMDで曲数が異なることがあります。

デジタルオーディオをコピーするときのルール — シリアルコピーマネージメントシステム

デジタルオーディオでは、音声信号をデジタルでやりとりします。コンパクトディスク（CD）、ミニディスク（MD）、デジタルオーディオテープ（DAT）、衛星デジタル音楽放送などがこれに当たります。これらは音楽を手軽に、劣化の少ない状態でコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。それが「シリアルコピーマネージメントシステム」です。
本機の設計はこのシステムに準拠しています。概要は以下の通りです。

原則1

デジタル録音したものから、さらに他のデジタル録音機器（MDやDATデッキなど）へのデジタル録音はできない。

原則2

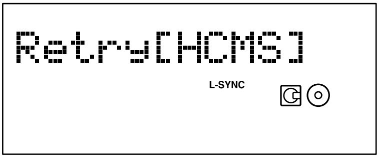
アナログ録音したものは、他のデジタル録音機器へ1度だけデジタル録音できる。

ご注意

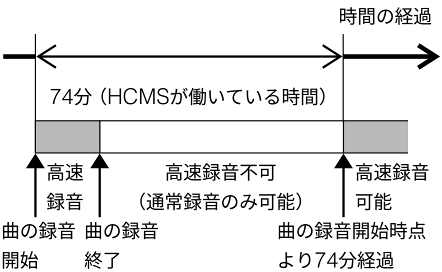
- 機器のアナログ入出力端子同士を接続してアナログ録音するときは、上記の原則にあたりません。
- 著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）について

ある曲を高速CD-MDシンクロ録音すると、録音を始めた時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）では、CDの曲ごとに固有なデータ（ISRC：International Standard Recording Code）をもとに、録音しようとしている曲が74分以内に録音されているかどうかを判定します。
録音しようとしている曲が74分以内に録音されていると、以下のように表示されます。



すでに高速CD-MDシンクロ録音された曲を再び高速録音した場合、自動的に通常速度のCD-MDシンクロ録音に切り換わり、録音を継続します。



高速シンクロ録音を曲の途中で止めたり、曲の録音中にMDの残り時間がなくなると

その曲はMDに記録されません。この場合、HCMSによって録音は禁止されないので、すぐに高速シンクロ録音で録音し直すことができます。

高速シンクロ録音中に本機の電源を切ったり、スリープタイマーで電源が切れると

その曲はMDに記録されません。この場合、HCMSによって録音は禁止されないので、すぐに高速シンクロ録音で録音し直すことができます。

高速シンクロ録音中に本機の電源コードを抜くと

電源が切れるまでに録音された部分がMDに記録されます。この場合、HCMSによってその曲は録音されたものと見なされ、録音開始時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。

本機のCDプレーヤーで作ったプログラムを高速録音するときは

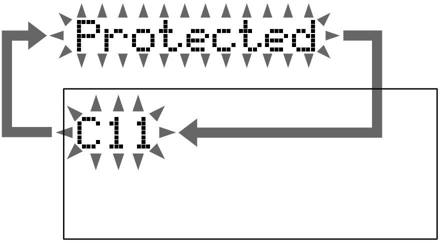
HCMSは曲の録音の可否を1曲ごとに判定するため、同一の曲が74分以内にプログラムされていると、その曲は通常速度のCD-MDシンクロ録音で録音されます。
たとえば、CDの1→2→3→2曲目の順番でプログラムされている場合は、プログラムの3曲目まで正常に録音されたあと、「Retry [HCMS]」が表示され、プログラムの4曲目（CDの2曲目）は通常速度のCD-MDシンクロ録音で録音されます。

ご注意
通常速度のCD-MDシンクロ録音時には、HCMSは働きません。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、以下の手順にしたがって点検してください。

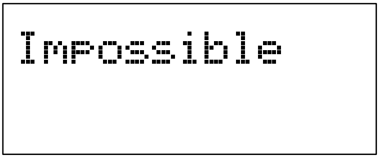
表示窓に3桁の表示とメッセージが交互に出ている



はい ➡ 自己診断表示機能（163ページ）へ

いいえ ⬇

表示窓にメッセージが出ている



はい ➡ メッセージ一覧（165ページ）へ

いいえ ⬇

次ページからの表を読んで、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、
お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにお問い合わせください。

次のページへ続く

共通

症状	原因と対応のしかた
電源を切っても表示窓がくり返し点灯、点滅したり、レベルメーターが振れる	デモ用の表示になっている。 → 電源を切った状態でDEMOを押す。
「－－：－－」が表示される	電源コードを抜いた、または停電などにより、時計の設定が解除されている。 → 時計を設定し直す（14ページ）。
音が出ない	ボリュームが小さい。 → VOLUMEを右へ回して大きくする。
	ヘッドホンを差したままになっている。 → ヘッドホンを抜く。
	•スピーカーが正しく接続されていない。 •スピーカーコードのビニール部分がスピーカー端子に食い込んでいる。 → スピーカーコードを正しく接続し直す（11ページ）。
	高速シンクロ録音中である。 → 高速シンクロ録音中は音が出ない。
	消音機能が働いている。 → MUTINGを押して、消音機能を解除する。
音がおかしい	スピーカーコードの＋/－が正しく接続されていない。 → スピーカーコードを正しく接続し直す（11ページ）。
	左右のスピーカーの高さ、距離が極端に違う。 → 高さ、距離をできるだけ対称にする。
	ひとつのスピーカー端子に2台以上のスピーカーをつないでいる。 → ひとつのスピーカー端子につなぐのは、付属のスピーカー1台にする。
	付属のスピーカー以外のスピーカーをつないでいる。 → 付属のスピーカーをつなぐ。
雑音が多い	テレビやビデオなど、ノイズを出す機器の近くに設置している。 → 離れたところに設置する。
	冷蔵庫など、ノイズを出す機器と同じ電源コンセントにつないでいる。 → 別の電源コンセントにつなぐ。 → 電源ラインのノイズフィルター（市販）を使用する。
タイマーが設定できない	•時計が設定されていない。 •停電などにより、時計の設定が解除された。 → 時計を設定し直す（14ページ）。

症状	原因と対応のしかた
タイマーが働かない	電源を切る前にタイマーが働くように設定していなかった。 ➔ TIMERを押して、表示窓に「⏲」を点灯させる（135、137ページ）。
	誤った時間が設定されている。 ➔ 設定内容を確認し、正しい時間を設定する（134～139ページ）。
	スリープタイマーが働いている。 ➔ スリープタイマーを解除する（134ページ）。
リモコンで操作できない	リモコンと本体の間に障害物がある。 ➔ 障害物を取り除く。
	リモコンと本体の距離が離れすぎている。 ➔ 近寄って操作する。
	リモコンの発光部が本体の方を向いていない。 ➔ リモコンを本体に向ける。
	リモコンの乾電池が消耗している。 ➔ 乾電池（単3）を交換する。
	本体の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。 ➔ 本体と蛍光灯を離して設置する。

DVD、CD、ビデオCD、MP3、JPEG

症状	原因と対応のしかた
ディスクトレイが閉まらない	ディスクがトレイの中央に入っていない。 ➔ トレイの中央にディスクを入れ直す。
	ディスクトレイを無理に押し込もうとした。 ➔ トレイは必ず⏏DVDを押して閉める。手で押し込もうとすると、故障の原因になります。
ディスクが出てこない	シールなどからのりがはみ出したり、のりが付着したディスクを入れたため、ディスクが内部に貼り付いている、または貼り付いたディスクが内部に落ちて挟まっている。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
	ディスクを入れたまま、本機を移動するなどの振動を与えたため、ディスクが内部に挟まった。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

次のページへ続く

症状	原因と対応のしかた
再生が始まらない	ディスクが入っていない。 ➔ ディスクトレイを開けて、ディスクが入っているか確認する。
	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。 ➔ 汚れを拭き取る（147ページ）。
	ディスクの傷がひどい。 ➔ ディスクを交換する。
	再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。 ➔ ディスクを交換する。
	ディスクがずれて入っている。 ➔ ディスクを正しく入れ直す。
	ディスクが裏返しに入っている。 ➔ 印刷面を上にして、トレイに入れ直す。
	本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。 ➔ ディスクを取り出してディスクの水分を拭き取り、本機の電源を入れたまま数時間待つ。
	ディスクが再生状態になっていない。 ➔ DVD►IIを押し、再生状態にする。
	本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。 ➔ 地域番号に「All」または「2」が含まれているDVDのみ再生できます。
	カスタム視聴制限が働いている。 ➔ カスタム視聴制限を解除する（117ページ）。
MP3が再生できない	ISO9660レベル1、レベル2、Jolietに準拠して記録されていない。 ➔ 準拠しているディスクを使用する。
	MP3（MPEG1 Audio Layer3）形式で記録されていない。 ➔ 本機はMP3PROで記録されたファイルには対応していません。
	MP3ファイルに拡張子が付いていない。 ➔ 記録した機器で拡張子「.MP3」を付ける。
	MP3ファイル以外に拡張子「.MP3」を付けている。 ➔ MP3形式のファイルを使用する。
	設定画面の「視聴設定」の「データCD優先モード」で「JPEG」が選ばれている。 ➔ ディスクを取り出して、「データCD優先モード」で「MP3」を選ぶ（129ページ）。
	ディレクトリレベルが8を超えている。 ➔ サポートされるディレクトリの深さは、ROOTディレクトリを含めて8までです。

症状	原因と対応のしかた
JPEGが再生できない	ISO9660レベル1、レベル2、Jolietに準拠して記録されていない。 → 準拠しているディスクを使用する。
	JPEGファイルに拡張子が付いていない。 → 記録した機器で拡張子「.JPG」または「.JPEG」を付ける。
	JPEGファイル以外に拡張子「.JPG」または「.JPEG」を付けている。 → JPEG形式のファイルを使用する。
	設定画面の「視聴設定」の「データCD優先モード」で「MP3」が選ばれている。 → ディスクを取り出して、「データCD優先モード」で「JPEG」を選ぶ（129ページ）。
	ディレクトリレベルが8を超えている。 → サポートされるディレクトリの深さは、ROOTディレクトリを含めて8までです。
MP3のアルバム／トラック名やJPEGのアルバム／ファイル名が正しく表示されない	名前にアルファベットと数字以外の文字が使われている。 → 本機ではアルファベットと数字以外の文字は正しく表示されません。
音とびがする	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。 → 汚れを拭き取る（147ページ）。
	ディスクの傷がひどい。 → ディスクを交換する。
	再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。 → ディスクを交換する。
	本機に振動が加わっている。 → 振動のない場所（安定した台の上など）に設置してみる。 → スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。 低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。
再生がディスクの最初から始まらない	プログラム再生、またはシャッフル再生になっている。 → PLAY MODEをくり返し押して、ふつうの再生に戻す。
	リジューム再生になっている。 → 停止中に、■を押してから再生を始める（47ページ）。
	自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面が表示されるディスクが入っている。 → メニューに従って、再生を進める。

次のページへ続く

DVDのみ

症状	原因と対応のしかた
DVDが再生できない	再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。 ➔「再生できないディスクについて」（8ページ）をご覧ください。
DVD-RWが再生できない	VRモードで記録されている。 ➔ VRモードで記録されたDVD-RWは再生できません。
再生が自動的に始まる	自動的に再生が始まるDVDが入っている。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
再生が自動的に止まる	オートポーズ信号が記録されているDVDを再生している。 ➔ オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
ストップ、スキャン、スロー、リピート再生、シャッフル再生、プログラム再生などの操作ができない	操作を禁止しているDVDを再生している。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
希望する言語で画面表示されない	設定画面の「言語設定」の「画面表示言語」で希望する言語が選ばれていない。 ➔「画面表示言語」で希望の言語を選ぶ（127ページ）。
音声言語を変更できない	再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない、または音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
字幕を変更できない	再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない、または字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
字幕を消すことができない	字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
アングルを変更して見ることができない	再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。 ➔ コントロールメニュー画面のアングルアイコンが緑に点灯している場面で、アングルを切り換える（115ページ）。
	アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

症状	原因と対応のしかた
映像が出ない	ファンクションが「DVD」になっていない。 → FUNCTIONをくり返し押して、「DVD」に切り換える。
	映像接続コードのプラグがしっかり差しこまれていない。 → 映像接続コードをしっかり接続し直す。
	映像接続コードが断線している。 → 新しい映像接続コードと交換する。
	テレビの入力端子を間違えている。 → 映像接続コードを正しく接続し直す（12ページ）。
	テレビの電源が入っていない。 → 電源を入れる。
	テレビの入力切り換えで本機の映像が映るようにしていない。 → テレビの取扱説明書を見て、入力を切り換える。
	プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビとつないでいるときに、設定画面の「画面設定」の「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」を選んでいる。 → 本体のDEMO/DISPLAYと⏮を同時に押す。「コンポーネント出力」設定が「インターレース」に戻ります。
	プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、設定画面の「画面設定」の「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」を選ぶと映像が乱れることがある。 →「コンポーネント出力」を「インターレース」にする（128ページ）。
	「画面設定」の「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」が選択されているときは、VIDEO OUT端子、S VIDEO OUT端子からは出力されない。 → D端子ケーブル（別売り）を使ってつなぐ。
DVDを録音中に雑音が多い	設定画面の「スピーカー設定」の「LFE」が「入」になっていると、DVDを録音中に雑音が多くなることがある。 →「LFE」を「切」にする（130ページ）。
映像が乱れる	ディスクに汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。 → 汚れを拭き取る（147ページ）。
	ディスクの傷がひどい。 → ディスクを交換する。
	本機の映像出力を、ビデオデッキを経由してテレビにつないでいると、一部のDVDプログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性がある。 → 本機をテレビに直接つなぐ。それでも画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続してください（12ページ）。

次のページへ続く

症状	原因と対応のしかた
設定画面の「画面設定」の「TVタイプ」で設定した画像の形で再生できない	画像の形が固定されているDVDを再生している。 ➔ ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
	本機をS映像入力端子と直接つないでいない。 ➔ 本機をテレビに直接つなぐ。
	画像の形を変更できないテレビをつないでいる。 ➔ テレビに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
再生中に電源が切れる	一時停止またはDVDトップメニュー、DVDメニューを表示したままで1時間経った。 ➔ 一時停止またはDVDトップメニュー、DVDメニューを表示したままで1時間経つと、自動的に電源が切れます。

チューナー（ラジオ）

症状	原因と対応のしかた
雑音が入る（「STEREO」が点滅する）／受信できない	放送局のバンド（FM/AM）、周波数が合っていない。 ➔ バンドと周波数を正しく設定する（16ページ）。
	アンテナが正しく接続されていない。 ➔ 正しく接続し直す（11、12ページ）。
	●アンテナが受信状態のよい場所に設置されていない。 ●電波が弱い。 ➔ 受信状態のよい場所（窓の外など）や方向を探し、設置し直す（13ページ）。 鉄筋、鉄骨造りのマンションなどの場合、付属の簡易アンテナでは十分に受信できない場合があります。窓の外に設置しても受信状態がよくならない場合は、市販の外部アンテナをつなぐことをお勧めします。
	アンテナの一部分を折りたたむ、束ねる、巻き取るなどしている。 ➔ 付属の簡易アンテナは全面で受信しているため、余分に感じる部分もそのまま垂らしておく（13ページ）。 ➔ 付属のFM簡易アンテナの先は、テープなどで壁にとめる（13ページ）。
	アンテナの一部分をスピーカーコードといっしょに束ねている。 ➔ スピーカーコードからできるだけ離す。
	付属のAMアンテナのアンテナ線がプラスチックスタンドからはずれている。 ➔ お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。
	電気器具の影響を受けている。 ➔ 電気器具の電源を切ってみる。
	パワーマネージ機能で「DVD POWER ON」に設定されている。 ➔「DVD POWER OFF」にする（35ページ）。

症状	原因と対応のしかた
ステレオにならない	モノラル受信の設定になっている。 ➔ MODEをくり返し押して「FM MODE?」を表示させ、ENTER/YESを押したあと、⏮または⏭をくり返し押して、表示窓に「AUTO STEREO」を表示させる。
	受信状態が悪い。 ➔ 症状「雑音が入る（「STEREO」が点滅する）／受信できない」を参照し、アンテナの状態を確認する。
MDに録音中、ザーザーという雑音が周期的に入る	アンテナの設置位置が適切でない。 ➔ 雑音が消える位置までアンテナを動かす。

MD

症状	原因と対応のしかた
ディスクが入らない	ディスクの向きが違う。 ➔ 矢印の書いてある面を上にして、矢印の向きに挿入する。
操作を受け付けない	MDが汚れている、または破損している。 ➔ 新しいMDと交換する。
	「TOC」または「TOC Writing」が点滅し、TOCを書き込み中である。 ➔ 「TOC」または「TOC Writing」が消灯してから操作し直す。
再生が始まらない	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）、傷がひどい。 ➔ ディスクを交換する。
	ディスクに何も記録されていない。 ➔ 録音されているディスクと交換する。
	本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。 ➔ ディスクを本機に入れ、本機の電源を入れたまま数時間待つ。
	MDが再生状態になっていない。 ➔ MD▶❚❚を押し、再生状態にする。
音とびがする	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）、傷がひどい。 ➔ ディスクを交換する。
	本機に振動が加わっている。 ➔ 振動のない場所（安定した台の上など）に設置してみる。 ➔ スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。 低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。
	本機内部とディスクの温度差がはげしい。 ➔ ディスクを本機に入れ、電源を入れたまま10〜20分待つ。

次のページへ続く

症状	原因と対応のしかた
再生が1曲目から始まらない	プログラム再生、またはシャッフル再生になっている。 ➜ PLAY MODEをくり返し押して、ふつうの再生に戻す。
「OVER」が表示される	再生一時停止中、▶▶を押し続け、ディスクの最後まで達した。 ➜ ◀◀を押し続ける、または⏮ を押して再生位置を戻す。
MDに録音したり編集を行ったのに、その情報が記録されていない	MDの録音や編集後、MDを取り出さないで電源コードを抜いた。 ➜ MDの録音や編集情報は、MDを取り出すときに記録されるため、録音や編集後は必ずMDを取り出してください（59、79ページ）。
録音できない	MDが誤消去防止状態になっている（「C11」と「Protected」が交互に表示されている）。 ➜ ディスクを取り出し、録音可能状態にする（59ページ）。
	別売りの機器が正しく接続されていない。 ➜ 別売りの機器を正しく接続し直す（141、142、143ページ）。
	音源がMDになっている ➜ 他の音源に切り換える。
	市販の再生専用のMDが入っている。 ➜ 録音用MDと交換する。
	MDの残り時間が足りない。 ➜ MD編集のERASE機能を使っていらない曲を消す（86ページ）か、別のMDと交換する。
	録音中に停電があった、または電源コードが抜かれた。 ➜ 初めから録音し直す。
高速CD-MDシンクロ録音ができず通常速度の録音に切り換わってしまう	CDの読み取りエラーが起こっている（69ページ）。 ➜ ディスクを交換する。 ➜ 設置場所を変える。
	同じ曲を続けて高速CD-MDシンクロ録音しようとしている。 ➜ 75分経過後に高速CD-MDシンクロ録音し直す（69ページ）。
LP4ステレオで録音すると音がもれる	片方のチャンネルだけに音楽や音声が録音されているCD、テープ、または別売り機器の音をLP4ステレオ録音したときは、音が録音されていないチャンネルにも音がもれることがある。 ➜ ステレオ録音またはLP2ステレオ録音する。

テープ

症状	原因と対応のしかた
再生音や録音した音が小さい	ヘッドが汚れている。 ➔ ヘッドのお手入れをする（148ページ）。
	ヘッドが磁化している。 ➔ ヘッドを消磁する（148ページ）。
前の録音が完全に消えない	ヘッドが磁化している。 ➔ ヘッドを消磁する（148ページ）。
音がとぎれる	内部のピンチローラーなどが汚れている。 ➔ 市販のクリーニングカセットを使って、お手入れする。
雑音が多い	ヘッドが磁化している。 ➔ ヘッドを消磁する（148ページ）。
録音できない	テープが入っていない。 ➔ テープを入れる。
	テープのツメが折れている。 ➔ ツメの部分だけ穴をふさぐ（147ページ）。
	テープが最後まで巻きとられている。 ➔ テープを巻き戻す。

別売り機器

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	本機が正しい状態になっていない。 ➔ 共通「音が出ない」を参照し、本機の状態を確認する。
	別売りの機器が正しく接続されていない。 ➔ 以下の点を確認しながら正しく接続し直す（141、142、143、145ページ）。 • 接続コード／ケーブルが正しい位置に接続されているか。 • 接続コード／ケーブルのコネクターがしっかり奥まで差し込まれているか。 • デジタル接続ケーブルが接続されているか。
	つないだ機器の電源が入っていない。 ➔ 電源を入れる。
	つないだ機器での再生が始まっていない。 ➔ つないだ機器の取扱説明書を見て、再生を始める。
レコードプレーヤーからの音が小さい	レコードプレーヤーを直接つないでいる。 ➔ つないでいるレコードプレーヤーに、イコライザーが内蔵されているか確認する。内蔵されていないときは、本機とプレーヤーの間に、イコライザー（市販）をつなぐ。

次のページへ続く

症状	原因と対応のしかた
音が歪む	アナログ入力端子につないだ機器からのアナログ録音中に、規定以上の大きな信号が入ってきた。 ➔ 本機へ入力される音を小さくする。

これらの処置をしても正常に動作しないときは—リセット

1 電源コードを抜く。

2 電源コードを入れる。

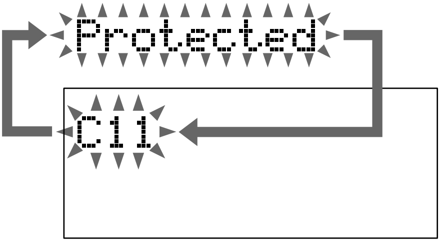
3 本体のDEMO/DISPLAYと■、ENTER/YESを同時に押す。

DVD以外の設定がリセットされてお買い上げ時の状態に戻ります。ラジオ局のプリセットや時計合わせ、タイマー設定をやり直してください。

DVDでは「設定画面を使う」（123ページ）の手順2で「リセット」を選び決定を押したあと、「はい」を選び、決定を押します。リセットが完了するまで数秒かかります。リセット中は**I/⏻**（電源）を押して、電源を切らないでください。

自己診断表示機能 *（3桁または5桁の表示とメッセージが交互に出たら）*

本機には自己診断表示機能がついています。これは、本機が正しく動作していないとき、表示窓に3桁または5桁の表示とメッセージを交互に表示してお知らせする機能です。
表示によって、本機の状態がわかるようになっています。以下の表をご覧になり、表示に合った対応をしてください。2、3度くり返しても正常に戻らないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

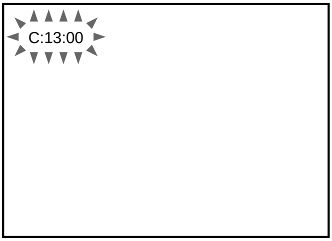


表示番号/メッセージ	原因と対応のしかた
C11 / Protected	ディスクが誤消去防止状態になっている。 ➔ ディスクを取り出し、録音可能状態にする（59ページ）。
C13 / REC Error	正しく録音できなかった。 ➔ 振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直す（「故障かな？と思ったら」のMDの項目にある「音とびがする」（159ページ）をご覧ください）。
	ディスクにひどい汚れ（油膜、指のあとなど）や傷がある、またはディスクが規格外である。 ➔ ディスクを交換して、録音をやり直す。
C13 / Read Error	ディスク情報を正しく読み取れなかった。 ➔ ディスクを入れ直す。
C14 / Toc Error	ディスク情報を正しく読み取れなかった。 ➔ 他のディスクを入れてみる。 ➔ ディスク上の内容をすべて削除してよいときは、MD編集のAll Erase機能を使って記録されている内容をすべて削除する（87ページ）。
C41 / Cannot Copy	録音しようとした音源が市販の音楽ソフトのコピーになっている。またはCD-Rを録音しようとしている。 ➔ シリアルコピーマネージメントシステムにより、コピーできない（149ページ）。また、CD-Rは録音できない。
E0001 / MEMORY NG	本機を動作させるために必要な内部情報に問題が生じた。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
E0101 / LASER NG	光ピックアップに問題が生じた。 ➔ 故障の可能性があります。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
E0201 / LOADING NG	ローディングに問題が生じた。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

次のページへ続く

自己診断表示機能（つづき）

DVDでは自己診断機能が働くと、テレビ画面および表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号（例：C13 00）が表示されます。その際は次のように対応してください。



サービス番号の最初の3桁	原因と対応のしかた
C13	DVDのディスクが汚れている。 ➔ 柔らかい布でディスクを拭く。
C31	DVDのディスクが正しく入っていない。 ➔ ディスクを正しく入れ直す。
EXX (XXは任意の数)	異常を未然に防ぐため自己診断表示機能が働いた。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例：E61 10

メッセージ一覧

使用中、状況によって英語のメッセージを表示します。意味は以下の通りです。

DVD、CD、ビデオCD、MP3、JPEG

メッセージ	原因と対応のしかた
Cannot Play	本機で再生できないディスクまたは本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。 ➔ ー
Data Error	JPEGファイルの形式が本機に対応していない。 ➔ ー
DVD Open	ディスクトレイを開けている。 ➔ ー
No Disc	ディスクが挿入されていない。 ➔ ー
Password	カスタム視聴制限／視聴年齢制限が働いている。 ➔ カスタム視聴制限／視聴年齢制限を解除する（117、120ページ）。
Play Limit	MP3ファイルの形式が本機に対応していない。 ➔ ー
Push STOP!	DVD動作中に無効なボタンを押した。 ➔ ■を押して再生を停止させてから、もう一度操作をする。
Reading	ディスクの情報を読み取っている。 ➔ 表示が消えるまでしばらくお待ちください。 表示が消えるまで、本機に振動を与えないでください。正しく情報が読み取れなくなります。
Step Full!	26曲（STEP）以上プログラムしようとした。 ➔ 26曲以上はプログラムできない。

MD

メッセージ	原因と対応のしかた
Assign None	すべての曲がグループ登録されている。 ➔ ー
Auto Cut	録音中、無音状態が約30秒以上続いたため、オートカット機能が働き、無音部分（曲間）を約3秒に短縮したあと、録音一時停止状態になった。 ➔ 録音を始めたいところでMD►❚❚を押し、録音を再開する。 曲間をつめたくないときは、スマートスペース機能を解除して録音し直す（77ページ）。

次のページへ続く

メッセージ	原因と対応のしかた
Blank Disc	挿入されたMDには何も録音されていない、またはMD編集のERASE機能を使って録音内容がすべて削除されている。 ➔ ー
Cannot Edit	市販の再生専用MDが入っている。 ➔ 再生専用MDは編集できない。
	プログラム再生、またはシャッフル再生になっている。 ➔ PLAY MODEをくり返し押して、ふつうの再生に戻す。
	MDLP録音されている。 ➔ MDLP録音した曲の録音レベルは変更できない。
Cannot REC	市販の再生専用MDが入っている。 ➔ 再生専用MDへは録音できない。
	ファンクションがMDになっている。 ➔ ファンクションを押し、録音源（MD以外）を選ぶ。
Cannot SYNC!	録音可能時間が残り少なく、シンクロ録音できない。 ➔ 新しいディスクと交換する。
Complete!	MD編集作業が、正常に終了した。 ➔ ー
Disc Full!	録音可能時間が残り少なく、録音できない。 ➔ 新しいディスクと交換する。
Group Full!	グループ数の上限を越えて新たにグループを作成しようとした。または、グループ管理情報の更新に必要な文字数が不足している。 ➔ 不要な文字（ディスク名または曲名）を消す。
Impossible	MD編集操作で、不可能な編集内容が指定された。 ➔ 編集操作をやり直す。
	つなごうとした（Combineしようとした）曲が、MDのシステム上の制約で、つなげない状態になっている。 ➔ 指定のとおりに編集することはできません。 MDでは、ひとつの曲が連続で録音されるわけではありません。ディスク上の空いている場所を探しながら、効率よく録音されていきます。この録音方式により、MDは手軽に録音、編集がくり返せるのです。しかし、録音や編集を何度もくり返したMDでは、ひとつの曲がディスクのあちらこちらに、少しづつ記録されている状態ができてしまうことがあります。そのような状態で記録されてしまった曲は、MDのシステム上の制約により、他の曲とつなぐことができません。
Incomplete!	本体の振動やディスクの傷、汚れなどにより、録音後の録音レベルの変更やフェードイン・フェードアウトの操作が正しく行われなかった。 ➔ 本体を振動のない場所に置く、または傷や汚れのないディスクを使用する。

メッセージ	原因と対応のしかた
Initialize	長い間電源を入れていなかったため、初期化を行っている。 ➔ ー
MD Eject	ディスクを排出中。 ➔ ー
Name Full!	入力可能な文字数（約1,700文字、カナ文字のみで約800文字）がすでに記録されている。 ➔ 不要な曲名などを削除してから、入力し直す。
No Change	録音後に録音レベルを変更するときに、録音レベルを変更しないでENTER/YESを押したため、書き換えをせずに終了した。 ➔ ー
No Disc	ディスクが挿入されていない。 ➔ ー
OVER	再生一時停止中、▶▶を押し続け、ディスクの最後まで達した。 ➔ ◀◀を押し続ける、またはI◀◀を押して再生位置を戻す。
Reading	ディスクの情報を読み取っている。 ➔ 表示が消えるまでしばらくお待ちください。 表示が消えるまで、本機に振動を与えないでください。正しく情報が読み取れなくなります。
—Rehearsal—	MD編集A-B EraseまたはDIVIDEの操作中、曲を分ける場所の指定終了後、確認のために再生中。 ➔ 再生される内容を聞き、分ける部分を確認する（88、91ページ）。
Retry	CDの読み取りエラーが起こり、CDのデータを再度読み取っている。 ➔ ー
Retry [HCMS]	同じ曲を続けて高速CD-MDシンクロ録音しようとしている。 ➔ 75分経過後に高速CD-MDシンクロ録音し直す（69ページ）。 ➔ 通常速度のシンクロ録音で録音し直す（65ページ）。
S.F Edit!	S.F EDIT（録音後の録音レベルの変更、フェードイン・フェードアウト）を実行中に他の操作をしようとした。 ➔ S.F EDITの実行中は他の操作はできない。
S.F Edit NOW	S.F EDIT（録音後の録音レベルの変更、フェードイン・フェードアウト）の実行中にI/⏻（電源）を押した。 ➔ S.F EDITの実行中に電源を切ると、書き換えが正常に終了しない。 書き換え終了後に電源を切る。それでも書き換え中に電源を切るときは、メッセージ表示中にもう一度I/⏻（電源）を押す。
Smart Space	録音中、約3秒以上、約30秒未満の無音状態が続いたため、スマートスペース機能が働き、無音部分が約3秒に短縮された。 ➔ 曲間をつめたくないときは、スマートスペース機能を解除する（77ページ）。
Step Full!	25トラックがすでにプログラムされている。 ➔ 不要な曲を消してから、プログラムし直す（55ページ）。

次のページへ続く

メッセージ	原因と対応のしかた
Text Protect	CDテキストの中にMDへ録音できない情報が入っている。 → NAME EDIT/SELECTを押したあとENTER/YESを押すと、録音している曲の曲名が記録できます。
TOC Writing	録音、編集された情報を、ディスクに書き込んでいる。 → 表示が消えるまでしばらくお待ちください。 表示が消えるまで、本機に振動を与えないでください。正しく情報が書き込めなくなります。
Track End	MD編集DIVIDEの操作中、曲を分ける位置の調整中に曲の最後まで達した。 → ⏮を押して、位置を変える（91ページ）。
Tr Protect	消去を禁止されている曲を消そうとした。 → ー

テープ

メッセージ	原因と対応のしかた
TAPE No Tape	テープが入っていない。 → テープを入れる。
TAPE No Tab	誤消去防止ツメが折れているため、録音できない。 → A、B両面のツメの部分だけ穴をふさぐ（147ページ）。

タイマー

メッセージ	原因と対応のしかた
OFF TIME NG	ウィークリータイマー設定で、終了時刻と開始時刻を同じに設定した。 → 終了時刻を設定し直す。

共通

メッセージ	原因と対応のしかた
Not in Use	使用できないボタンを押した。 → ー

ラジオ局名一覧

本機には、国内の以下のラジオ局の名前があらかじめ登録されています。

ホッカイドウ（北海道）

FM (TV)		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
80.4	AIR-G’	900	HBC　ラジオ
82.5	NORTH　WAVE	1269	
		1287	
		1404	
		1449	
		639	STV　ラジオ
		909	
		1071	
		1440	

トウホク（東北）

FM (TV)		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1	FM　イワテ	684	IBC　イワテ
77.1	Date　fm	918	YBC　ヤマガタ
80.0	FM　アオモリ	936	ABS　アキタ
80.4	FM　ヤマガタ	1098	ラジオ フクシマ
81.8	フクシマ　FM	1233	RAB　アオモリ
82.8	FM　アキタ	1260	TBC　トウホク

次のページへ

次のページへ続く

カントウコウシンエツ（関東甲信越）

FM (TV)		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1	Inter　FM	765	YBS　ヤマナシ
76.4	RadioBerry	810	AFN
77.1	ホウソウダイガク	954	TBS　ラジオ
78.8		1098	SBC　シンエツ
77.5	FM　ニイガタ	1116	BSN　ニイガタ
86.5		1134	ブンカホウソウ
78.0	bayfm	1197	IBS　イバラキ
78.6	FM-FUJI	1242	ニッポンホウソウ
83.0		1422	ラジオニホン
79.0	FM　Port	1530	CRT　トチギ
79.5	NACK5		
79.7	FM　ナガノ		
80.0	TOKYO　FM		
81.3	J-WAVE		
84.7	FM　ヨコハマ		
86.3	FM　グンマ		

チュウブ（中部）

FM (TV)		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1	FM　フクイ	738	KNB　キタニホン
77.8	ZIP-FM	864	FBC　フクイ
78.9	FM　ミエ	1053	チュウブニホン
79.2	K-MIX	1107	MRO　ホクリク
79.5	RADIOi	1332	トウカイラジオ
80.5	HELLO　FIVE	1404	SBS　シズオカ
80.7	FM　AICHI	1431	GBS　ギフ
82.7	FM　トヤマ		

次のページへ

キンキ（近畿）

FM (TV)		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.5	FM　COCOLO	558	AM KOBE
77.0	E-Radio	1008	ABC　アサヒ
77.6	Kiss-FM	1143	KBS　キョウト
89.9		1179	MBS　マイニチ
80.2	FM802	1314	ラジオ オオサカ
85.1	fm　osaka	1431	WBS　ワカヤマ
89.4	*α-STATION		

* MDに録音した場合、「α」の文字は空白表示されます（MD規格外の文字です）。

チュウゴク（中国）

FM (TV)		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.8	FM　オカヤマ	765	KRY　ヤマグチ
77.4	V-air	900	BSS　サンイン
78.8		1350	RCC　チュウゴク
86.6		1494	RSK　サンヨウ
78.2	HFM		
79.2	FM　ヤマグチ		

シコク（四国）

FM (TV)		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
78.6	FM　カガワ	900	RKC　コウチ
79.7	FM　エヒメ	1116	RNB　ナンカイ
80.7	FM　トクシマ	1269	JRT　シコク
81.6	FM　コウチ	1449	RNC　ニシニホン

次のページへ

次のページへ続く

キュウシュウ（九州）

FM (TV)		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1 82.7	LOVE FM761	648	AFN
		738	RBC　リュウキュウ
77.0 78.7	CROSS　FM	864	ラジオ オキナワ
		936	MRT　ミヤザキ
77.4	FMナカキュウシュウ	1098	OBS　オオイタ
77.9	FM　　サガ	1107	MBC　ミナミニホン
79.5	SMILE-FM	1197	RKK　クマモト
79.8	ミューFM	1233	NBC　ナガサキ
80.0 80.7	FM　　フクオカ	1278	RKB　マイニチ
		1413	キュウシュウアサヒ
83.2	FM　　ミヤザキ	1458	ラジオ サガ
87.3	FM　　オキナワ		
88.0	FM　　OITA		
89.1	AFN		

一覧表のラジオ局名以外にNHKが選べます。
好きなラジオ局名を登録することもできます。
詳しくは、「記憶させたラジオ局に名前を付ける」（132ページ）をご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「アイワご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：XR-MJ3DVD
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 自己診断機能の状況：
- 故障したときに再生していたディスク：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

主な仕様

本体（CX-LMJ3DVD）

アンプ部

実用最大出力	20W＋20W（JEITA＊ 6Ω負荷）
入力端子	アナログ入力：1.0V、47kΩ
出力端子	PHONES端子：ステレオミニジャック、16Ω以上 SUB WOOFER端子：1.2V
デジタルオプチカル	出力レベル：－18dBm 発光波長：660nm
モニター出力端子（映像）	ピンジャック、1.0Vp-p、75Ω、不平衡、負極性
モニター出力端子（S映像）	4ピンミニDIN、 輝度信号1.0Vp-p、75Ω、不平衡、負極性 色信号0.286Vp-p、75Ω、不平衡
モニター出力端子（D2映像）	D端子 Y：1.0Vp-p、75Ω、不平衡、負極性 CB/B-Y、CR/R-Y：0.7Vp-p、75Ω、不平衡

DVDプレーヤー部

形式	CD/DVDプレーヤー
信号方式	JEITA＊標準、NTSCカラー方式
周波数特性	DVD：2Hz～22kHz CD：2Hz～20kHz

MDデッキ部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
周波数特性	5Hz～20kHz

カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
周波数特性	ソニーTYPE Iカセット 60Hz～10kHz、±3dB

チューナー部

受信周波数	FM：76～108MHz AM：531～1,602kHz
アンテナ端子	FM：75Ω不平衡型 AM：外部アンテナ端子

スピーカーシステム（SX-LMJ3）

型式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	ウーファー（低音用）13cmコーン型 トゥイーター（高音用）2.5cmソフトドーム インピーダンス：6Ω

その他

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	65W　通常動作時（JEITA＊） 約0.3W　スタンバイ（低消費電力待機モード）時
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き、最大突起部含む）	
	アンプ／CDプレーヤー／MDデッキ／カセットデッキ／チューナー部：168×252×299.5mm
	スピーカーシステム部：168×252×211mm
質量	アンプ／CDプレーヤー／MDデッキ／カセットデッキ／チューナー部：6.5kg
	スピーカーシステム部：2.2kg（1台）
付属品	リモートコマンダー（1）
	単3形乾電池（2）
	スピーカーコード（2）
	映像接続ケーブル（1）
	FM用簡易アンテナ（1）
	AMループアンテナ（1）
	取扱説明書（1）
	安全のために（1）
	アイワご相談窓口のご案内（1）
	保証書（1）
	テクニカルインフォメーションセンターのご案内（1）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

＊ JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

用語解説

アルバム
MP3音声やJPEG画像を記録しているデータCDの中の単位の1つ。

インターレース（飛び越し走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方式。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

インデックス（CD）／ビデオインデックス（ビデオCD）
再生したい部分を見つけやすいように、1つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたもの。インデックスが記録されていないディスクもある。

視聴年齢制限（116ページ）
地域ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDの機能。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがある。

シーン
PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのこと。

タイトル
DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたる。

地域番号（リージョンコード）（6ページ）
著作権保護を目的に設けられた制度。販売地域によって、DVDプレーヤーやDVDディスクには地域番号が割り当てられていて、プレーヤー本体やディスクのパッケージに、それぞれの地域番号が表示されている。プレーヤーとディスクの地域番号が一致していると再生できる。表示のあるディスクは、どのプレーヤーでも再生できる。なお、地域番号の表示がないDVDでも、地域制限されている場合がある。

チャプター
DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されます。チャプターが記録されていないディスクもある。

トラック
ビデオCDやCD、MP3、MDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）。トラック順に付けられた番号をトラック番号という。

ドルビーサラウンド（プロロジック）
ドルビーラボラトリーズ社がサラウンド音声のために開発した音声信号の処理技術。入力信号にサラウンド信号があるとき、プロロジック処理をして、フロント、センター、リアに信号を出力する。リアチャンネルはモノラルになる。

次のページへ続く

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。ドルビーデジタルシネマ音声方式のような高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

ビデオCD
動画の記録されているCD。
ビデオCDでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG1」（エムペグ1）を使うことにより、映像情報を平均約140分の1に圧縮している。これにより、12cmのディスクに最大74分までの動画を記録できる。
また、音声情報についても、人間には基本的には聴こえない音声を圧縮して記録し、従来の音楽用CDと比較すると、音声情報も約6分の1に圧縮している。
ビデオCDには、動画や音声の再生だけが可能なバージョン1.1と、高精細の静止画の再生やPBC（プレイバックコントロール）機能を持ったバージョン2.0がある。

ファイル
JPEG画像を記録しているデータCDの中の単位の1つ。

プレイバックコントロール（PBC）（ビデオCD）
ディスクのタイプによって、次の2種類の再生ができる。
- PBC対応でないビデオCD（バージョン1.1）
  音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生する。
- PBC対応ビデオCD（バージョン2.0）
  PBC対応でない場合に加え、テレビ画面に表示されるメニュー画面（選択画面）を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生する（PBC再生、51ページ）。また、高精細の静止画も再生できる。

プログレッシブ（順次走査）（128ページ）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方式。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成するため、静止画や文字、横線の多い場面などで高品質な映像を再現できる。
本機は525プログレッシブ（525p）方式に対応しています。

マルチアングル
DVDの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記録されていること。

マルチランゲージ
DVDの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕が複数の言語で記録されていること。

D映像信号

D端子付きデジタルテレビと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D端子には対応する信号フォーマットによって次の種類がある。

- D1端子：525i（480i）の信号に対応
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

本機はD2端子に対応しています。

＊ iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DVD

CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスク。

片面1層で4.7GB（Gigaギガ Byteバイト）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。

画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」（エムペグ2）を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。

またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

DTS

デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

言語コード一覧表

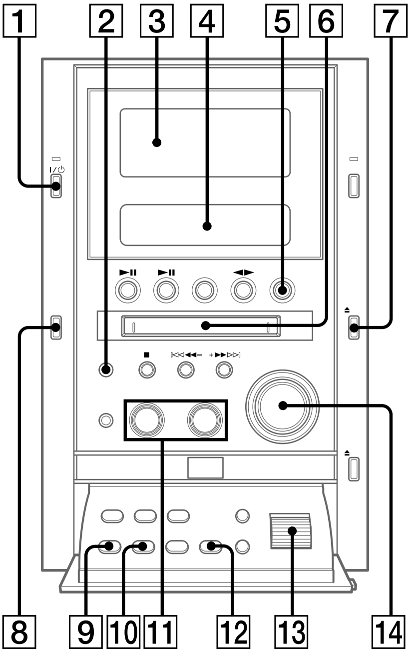
詳しくは113、115、127ページをご覧ください。

言語名表記はISO639:1988（E/F）に準拠

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Byelorussian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan)Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1502	Serbo-Croatian
1503	Singhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

各部のなまえ

本機



1 **I/⏻（電源）スイッチ**

本機の電源を入／切します。
このスイッチのI/⏻（電源）ランプは低消費電力待機モードのときに点灯します。

2 **リモコン受光部**

リモコンを使うときは、ここに向けて操作します。

3 **表示窓**

DVDやCD、ビデオCD、MP3、JPEG、MDの再生や録音の状態、ディスク名やトラック名などが表示されます。ラジオ受信中は、ラジオ局名や周波数などが表示されます。

4 **レベルメーター**

5 FUNCTION（ファンクション）**ボタン**

音源の切り替えに使います。
このボタンを押すたびに次のように音源が切り換わります。

→ MD → DVD → FMまたはAM → TAPE → AUX →（MDへ戻る）

6 MD**スロット**

7 ⏏MD**（取り出し）ボタン**

8 DISPLAY（ディスプレイ）**ボタン**

表示窓に表示される内容（ディスク名／トラック名／ラジオ局名、音量など）を切り換えます。

DEMO（デモ）**ボタン**

デモ用の表示を切り換えるボタンとして働きます。

9 PLAY（プレイ） MODE（モード）**ボタン**

CDやビデオCD、MP3、MDの再生のしかた（ふつうの再生／シャッフル再生／プログラム再生）を切り換えます。

10 REPEAT（リピート）**ボタン**

DVDやCD、ビデオCD、MP3、JPEG、MDの再生のしかたを1曲くり返し、全曲くり返しから選べます。

11 BASS（バス）**つまみ**
TREBLE（トレブル）**つまみ**

低音、高音の調節に使います。

12 MODE（モード）**ボタン**

表示窓やタイマーの設定、音の調整、ラジオ局に名前を付けるときなどに使います。

13 MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）**ダイヤル**

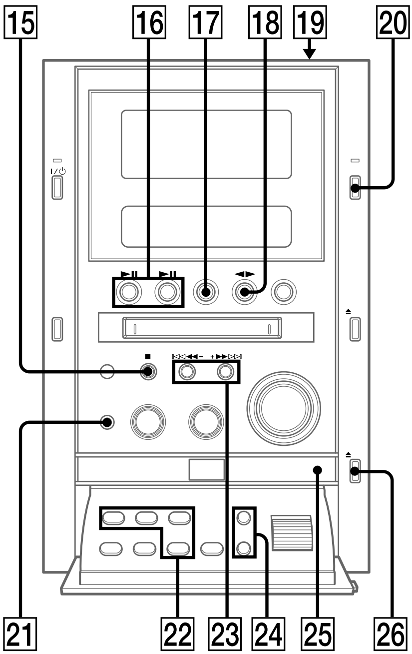
DVDとMDファンクションでは、リモコンの⏮/⏭ボタンとして働きます。ディスクがMP3、JPEGのときはALBUM +/−ボタン、MDでグループ機能が働いているときはGROUP +/−ボタンとして働きます。
ラジオを選択しているときは、リモコンのPRESET +/−ボタンとして働きます。

14 VOLUME（ボリューム）**つまみ**

音量調節に使います。

その他

次のページへ続く



15 **■（停止）ボタン**

16 DVD**►II（再生／一時停止）ボタン**

MD**►II（再生／一時停止）ボタン**

チューナー　バンド
17 TUNER BAND**ボタン**

ラジオのFM/AM切り換えに使います。
他の音源を聞いているときに押すと、音源がラジオに切り換わってラジオ放送を聞けます。

テープ
18 TAPE**◄►（再生）ボタン**

レコーディングミューティング
REC MUTING**ボタン**

録音中に無音を録音するときに使います。

プッシュ　イジェクト
19 ≜PUSH EJECT

テープの取り出しに使います。

アイバス
20 i-Bass**ボタン**

低音を強調したいときに使います。
このボタンのi-Bassランプは低音を強調する設定のときに点灯します。

ホーンズ
21 PHONES**端子**

ヘッドホン（別売り）はここへつなぎます。

22 **録音用ボタン**

レコーディング セレクト
REC SEL**ボタン**

マニュアル録音で録音する先を選ぶときに使います。

シンクロ レコーディング セレクト
CD SYNC REC SEL**ボタン**

シンクロ録音の種類を選ぶときに使います。

レコーディング スタート レコーディング　ポーズ
REC START/REC PAUSE**ボタン**

録音を設定するときや開始するときに使います。

レコーディングモード
REC MODE**ボタン**

録音モード（ステレオ録音／ステレオ2倍録音／ステレオ4倍録音／モノラル録音）の切り換えに使います。

23 |◁◁/▷▷| **（頭出し）ボタン**

DVDの再生中は、次のタイトル（またはチャプター）、前のタイトル（またはチャプター）の頭出しボタンとして働きます。
CD、MDの再生中は、次のトラック、前のトラックの頭出しボタンとして働きます。

◄◄/►►（早送り）ボタン

DVDの再生中は、タイトル（またはチャプター）の好きなところを探すボタンとして働きます。
CD、MDの再生中は、曲中の好きなところを探すボタンとして働きます。
テープの再生中は、早送り／巻き戻しボタンとして働きます。

チューニング
TUNING +/–**ボタン**

ラジオ受信中は、周波数を合わせるボタンとして働きます。

メニュー　ノー
24 MENU/NO**ボタン**

途中で設定をやめるときに使います。

エンター　イエス
ENTER/YES**ボタン**

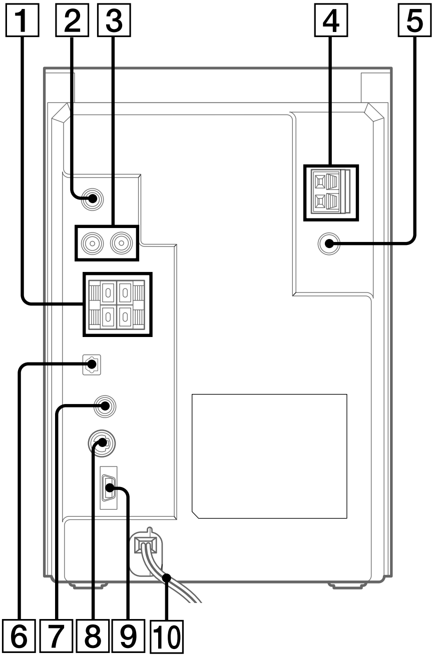
選んだ項目や編集内容を確定するときに使います。録音中に手動で曲番を付けるときにも使います（76ページ）。

25 **ディスクトレイ**

右にある≜DVDボタンを押して開閉します。

26 ≜DVD**（ディスクトレイ開／閉）ボタン**

本機後面



1 **SPEAKERS（スピーカー）端子**

付属のスピーカーをつなぎます。（11ページ）

2 **SUB（サブ） WOOFER（ウーファー）出力端子**

別売りのSUB WOOFERスピーカーにつなぎます。

3 **AUX IN入力端子**

別売りのオーディオ接続コードを使ってビデオデッキやレコードプレーヤーなどをつなぎます。

4 **AMアンテナ端子**

付属のAMループアンテナをつなぎます。（11ページ）
付属のアンテナではうまく受信できないときは、市販のビニール線もつないでください。（146ページ）

5 **FMアンテナ端子**

付属のFM用簡易アンテナをつなぎます。（12ページ）
付属のアンテナではうまく受信できないときは、市販の外部アンテナをつないでください。（146ページ）

6 **DIGITAL（デジタル） OUT（アウト）（OPTICAL）出力端子**

別売りのデジタル機器やドルビーデジタルまたはDTSデコーター付AVアンプなどの光デジタル音声入力端子につなぎます。（141、142ページ）

7 **VIDEO（ビデオ） OUT（アウト）出力端子**

映像出力端子です。テレビの映像入力端子につなぎます。（12ページ）

8 **S VIDEO（ビデオ） OUT（アウト）出力端子**

S映像出力端子です。別売りのS映像コードを使って、S映像入力端子付きのテレビを接続します。（12ページ）

9 **COMPONENT（コンポーネント） VIDEO（ビデオ） OUT（アウト）出力端子**

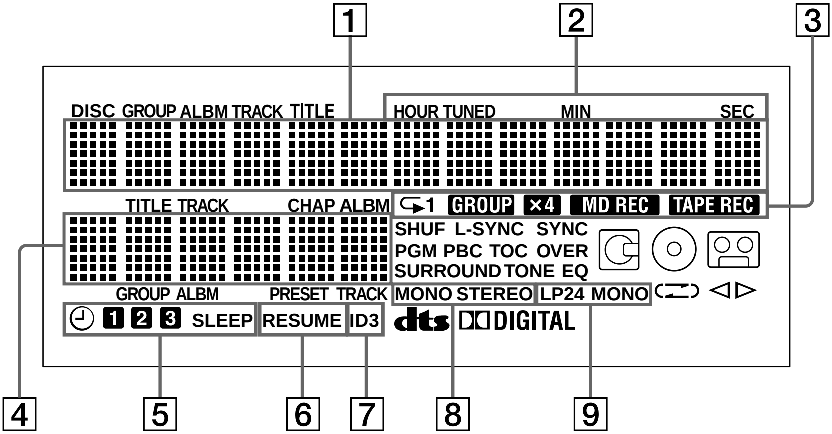
D2映像出力端子です。別売りのD端子ケーブルを使って、D映像入力端子付きのテレビを接続します。（12ページ）

10 **電源コード**

壁の電源コンセントにつなぎます。

次のページへ続く

表示窓



1 **上段表示**

DISPLAYボタンで切り換えます。
ディスク名／アルバム名／トラック名／ラジオ局名などを表示します。

2 **経過時間表示**

ディスク全体、または1つのタイトルやチャプター、アルバム、トラック（曲）の経過時間や残り時間を表示するときに時間（HOUR）、分（MIN）、秒（SEC）が点灯します。

チューナー受信表示

ラジオ局を受信したときに「TUNED」と表示されます。

3 **リピート表示**

リピート再生中に「↪」または「↪1」が表示されます。

グループ表示

グループ機能が働いているときに点灯します。

録音表示

MDへ録音中は「MD REC」、テープへ録音中は「TAPE REC」、4倍速録音中は「×4」が点灯します。

4 **下段表示**

DISPLAYボタンで切り換えます。
時計、タイトルやチャプター、アルバム、トラック、グループ番号などを表示します。

5 **タイマー表示**

タイマーをセットすると「◷」と、タイマーの種類が表示されます。

6 **リジューム表示**

ディスクの再生中に■ボタンを押して再生を止めたときに表示されます。「RESUME」が表示されているときは、リジューム再生できます。

7 **ID3表示**

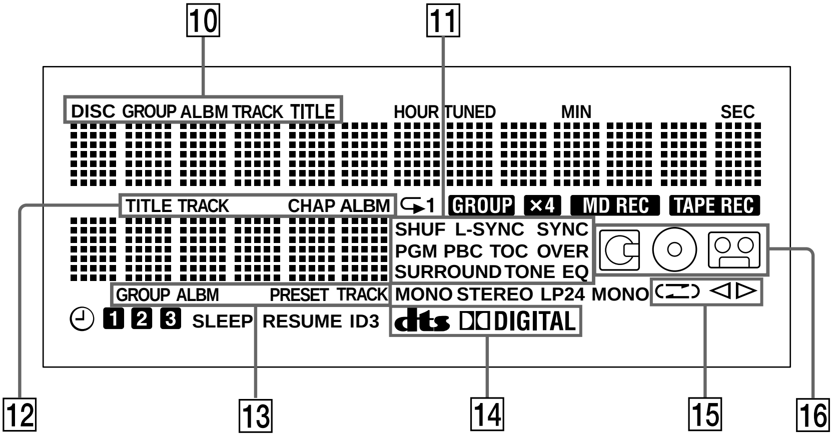
MP3ファイルにID3タグが付いているときに点灯します。

8 **チューナー受信表示**

FM放送をステレオで受信のときは「STEREO」、モノラル設定時は「MONO」が表示されます。

9 **録音モード表示**

LP2ステレオ録音を選んだときは「LP2」、LP4ステレオ録音を選んだときは「LP4」、モノラル録音を選んだときは「MONO」が表示されます。ステレオ録音を選んだときは、「LP2」、「LP4」、「MONO」が消灯します。



10 DISC（ディスク）表示

DVDやCD、ビデオCD、MP3に関する情報が表示されているときに点灯します。

GROUP（グループ）表示

MDでグループ機能が働いているときなど、グループに関する情報が表示されているときに点灯します。

ALBM（アルバム）表示

MP3やJPEGのアルバム名が表示されているときに点灯します。

TRACK（トラック）表示

トラック（曲）名が表示されているときに点灯します。

TITLE（タイトル）表示

DVDでタイトルに関する情報が表示されているときに点灯します。

11 SHUF（シャッフル）表示

シャッフル再生またはアルバムシャッフル再生中に表示されます。

L-SYNC（レベル シンクロ）録音表示

録音中、自動的に曲番を付けるときに表示されます。

SYNC（シンクロ）録音表示

シンクロ録音中に表示されます。

PGM（プログラム）表示

プログラム再生中に表示されます。

PBC（プレイバックコントロール）表示

ビデオCDでPBC（プレイバックコントロール）機能を使っているときに表示されます。

TOC（トック）表示

MDに録音や編集を行うと表示されます。

OVER（オーバー）表示

録音レベル調整時に、「OVER」が表示されないように調節します。

SURROUND（サラウンド）表示

サラウンド効果がかかっているときに点灯します。

TONE（トーン）表示

低音や高音を調節しているときに点灯します。

EQ（イコライザー）表示

プリセットイコライザー効果がかかっているときに点灯します。

その他

次のページへ続く

タイトル
12 TITLE**表示**

DVDでタイトルに関する情報が表示されているときに点灯します。

トラック
TRACK**表示**

トラック（曲）に関する情報が表示されているときに点灯します。

チャプター
CHAP**表示**

DVDでチャプターに関する情報が表示されているときに点灯します。

アルバム
ALBM**表示**

MP3またはJPEGで再生モードがアルバム再生モードまたはアルバムシャッフル再生モードのときなどに点灯します。

グループ
13 GROUP**表示**

MDでグループ機能が働いているときなど、グループに関する情報が表示されているときに点灯します。

アルバム
ALBM**表示**

MP3またはJPEGで再生モードがアルバム再生モードまたはアルバムシャッフル再生モードのときなど、アルバムに関する情報が表示されているときに点灯します。

プリセット
PRESET**表示**

ラジオのプリセット番号が表示されているときに点灯します。

トラック
TRACK**表示**

トラック（曲）に関する情報が表示されているときに点灯します。

14 dts**表示**

DTSで記録されたディスクのときに表示されます。

ドルビーデジタル
DD Digital**表示**

ドルビーデジタル（サラウンド、またはマルチチャンネル）で記録されたディスクのときに表示されます。

15 **リバースモード表示**

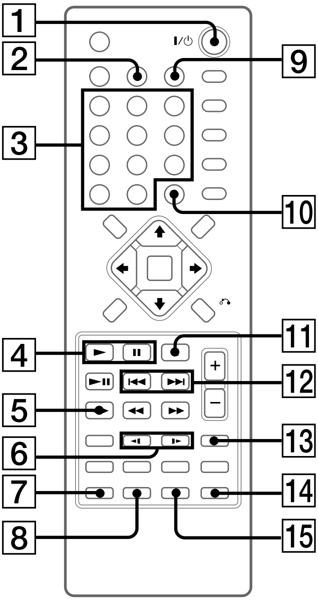
テープで片面再生／録音するときは⇄、両面再生／録音するときは⇄)、両面をくり返し再生するときは(⇄)が表示されます。また、テープの上の面を再生／録音するときは▷、反対面を再生／録音するときは◁が表示されます。

16 MD/CD/**テープ表示**

本機にMD/CD/テープが入っているときに表示されます。

リモコン

付属のリモコンで、本体と同様に操作できます。



ご注意

リモコンには暗い所で光るボタンがあります。暗い所でリモコンを使う前に、必ずしばらくの間、蛍光灯などの光源に表面を向けてください。

1 **I/⏻（電源）スイッチ**

2 CLOCK（クロック）**ボタン**

時計を合わせるときに使います（14ページ）。

3 **アルファベット／数字／カタカナ入力ボタン**

DVDやCD、MDのトラック（曲）番号を選んだりラジオ局のプリセット番号が選べます。文字入力画面では対応する文字／数字が入力されます。

4 DVD**操作用ボタン**

►（再生／セレクト）ボタン

II（一時停止）ボタン

5 TAPE（テープ）**◄►（再生）ボタン**

6 **スロー◄I/I►ボタン**

7 DISPLAY（ディスプレイ）**ボタン**

表示窓に表示される内容（ディスク名／トラック（曲）名／ラジオ局名、音量など）を切り換えます。

8 PLAY MODE（プレイ モード）**ボタン**

CDやビデオCD、MP3、MDの再生のしかた（ふつうの再生／シャッフル再生／プログラム再生）を切り換えます。

9 TIMER（タイマー）**ボタン**

タイマーの設定や確認に使います（135、137ページ）。

10 CLEAR（クリアー）**ボタン**

MDまたはラジオ局に名前を付けるとき、間違えた文字を消したり、プログラム設定中に曲を消すときに使います。

11 **■（停止）ボタン**

12 **I◄◄/►►I（頭出し）ボタン**

DVDの再生中は、次のタイトル（またはチャプター）、前のタイトル（またはチャプター）の頭出しボタンとして働きます。
CD、MDの再生中は、次の曲、前の曲の頭出しボタンとして働きます。
また、時刻合わせや、プログラム再生の設定、録音レベルの調節、入力する文字を選ぶときなどにも使います。

PRESET（プリセット） **+/−ボタン**

ラジオ局のプリセット番号を選ぶのに使います。

13 MODE（モード）**ボタン**

表示窓やタイマーの設定、音の調整、ラジオ局に名前を付けるときなどに使います。

SOUND（サウンド）**ボタン**

サウンド効果などを選ぶときに使います。

14 i-Bass（アイバス）**ボタン**

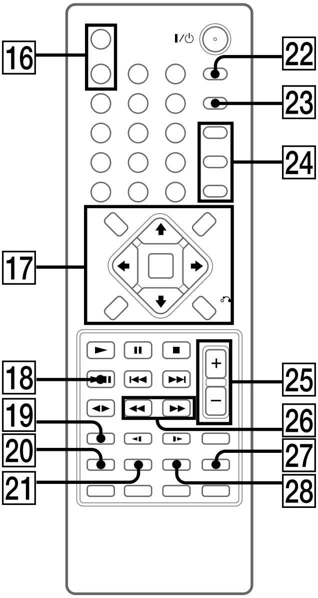
低音を強調したいときに使います（102ページ）。

15 REPEAT（リピート）**ボタン**

DVDやCD、ビデオCD、MP3、JPEG、MDの再生のしかたを1曲くり返し、全曲くり返しから選べます。

次のページへ続く

各部のなまえ（つづき）



16 **テレビ操作用ボタン**

お手持ちのテレビを操作します。

テレビ電源ボタン

お手持ちのテレビの電源ON/OFFに使います。

入力切換ボタン

お手持ちのテレビの入力を切り換えます。

17 **↑/↓/←/→/決定ボタン**

画面に表示されている項目を選んで決定します。

DVDトップメニューボタン

DVDのトップメニューを出します。

DVDメニューボタン

DVDのメニューを出します。

DVD画面表示ボタン

DVDのコントロールメニュー画面を出します。

リターン↶ボタン

ひとつ前の選択画面に戻ります。

GROUP（グループ） +/−ボタン

MDのグループを選ぶときに使います。

ALBUM（アルバム） +/−ボタン

MP3やJPEGのアルバムを選ぶときに使います。

18 **MD►❚❚（再生／一時停止）ボタン**

19 **TUNER（チューナー）/BAND（バンド）ボタン**

FM/AMの切り換えに使います。

他の音源を聞いているときに押すと、音源がラジオに切り換わってラジオ放送を聞けます。

20 **FUNCTION（ファンクション）ボタン**

音源の切り換えに使います。押すたびに次のように音源が切り換わります。

→ MD → DVD → FMまたはAM → TAPE → AUX →

21 **NAME（ネーム） EDIT（エディット）/SELECT（セレクト）ボタン**

MDまたはラジオ局に名前を付けるときに押すと文字入力画面になります。文字入力画面では、入力する文字の種類を選べます。

22 **MUTING（ミューティング）ボタン**

消音状態にしたいときに使います。

23 **DVD設定ボタン**

DVDの設定画面の項目を設定したり、調整するときに使います。

24 **字幕ボタン**

DVDの字幕を切り換えます。

音声ボタン

DVDやビデオCDの音声を切り換えます。

アングルボタン

DVDのアングルを切り換えます。

25 音量＋/－ボタン

音量調節に使います。

26 ◀◀/▶▶（早送り）ボタン

DVDの再生中は、タイトル（またはチャプター）の好きなところを探すボタンとして働きます。
MD再生または一時停止中、またはCD再生または一時停止中に、曲中の希望の場所を探すのに使います。テープでは、早送りまたは巻き戻しをします。

TUNING（チューニング） ＋/－ボタン

ラジオ受信中は、周波数を合わせるのに使います。

27 ENTER（エンター）/YES（イエス）ボタン

選んだ項目や編集内容を確定するときに使います。録音中に手動で曲番を付けるときにも使います。

28 MENU（メニュー）/NO（ノー）ボタン

MDの設定をしたり、途中で設定をやめる時に使います。

索引

五十音順

待機時消費電力0.3W
主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません
システムの本体キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません

アイワ商品の修理、お取扱い方法、お買い物相談、その他アイワに関するお問い合わせ

アイワホームページ　● http://www.jp.aiwa.com/

アイワホームページは､アイワの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「サポート情報」や「よくあるご質問（FAQ）」に関しては､ホームページをご活用ください。

アイワお客様ご相談センター

● **ナビダイヤル**…………………… **0570-00-4680**
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。）

● **携帯電話・PHSでのご利用は**……… **0466-31-4833**
（ナビダイヤルがご利用になれない場合はこちらをご利用ください。）

受付時間：月～金曜日 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*修理に関するお問い合わせはFAXでもお受けしております。

● **FAX** ……………………………………… **0466-31-4250**

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in Malaysia